

建築研究資料

Building Research Data

No. 108

December 2007

住宅・住環境の安全・安心に関する 継続的な意識調査および分析

Continuous survey and analysis concerning residents' attitude on
safety performance of their houses and living environments

布田健、樋野公宏、萩原一郎、山口修由、眞方山美穂、小島隆矢、
立花直美、島田貴仁、吉村英祐、寺内義典、若林直子

Ken Nunota, Kimihiro Hino, Ichiro Hagiwara, Yoshinobu Yamaguchi,
Miho Makatayama, Takaya Kojima, Naomi Tachibana, Takahito Shimada,
Hidemasa Yoshimura, Yoshinori Terauchi, Naoko Wakabayashi

独立行政法人 建築研究所

Published by

Building Research Institute

Independent Administrative Institution, Japan

はしがき

現在、わが国において、「安全で安心な建築・都市」が広く国民に求められていることは論を俟ちません。各種調査から住宅・住環境に対する国民の期待について調べてみても、事故・犯罪等への対策、すなわち日常的な安全・安心に関わる項目が多くなっています。加えて、国土交通省重点施策においても「ユニバーサルデザインの考え方に基づく国土交通政策の構築」「安心で暮らしやすい社会の実現」など、安全・安心に関連するキーワードが並んでいます。

これら建築・都市に関わる安全・安心性能向上に向けた研究・開発として、(独)建築研究所では、第2期中期計画の重点研究課題の一つとして「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発（平成18～20年度）」をスタートさせました。

本建築研究資料は、その一環として実施された安心・安全に関する意識調査の結果をとりまとめたものです。これまでの同テーマに関する住宅・住意識においては、居住地域や建物種別ごとに、また防災・防犯・日常生活事故などの分野ごとに細分化して検討されるものがほとんどでした。それに対して、ここに報告する調査は、主に事故・犯罪、バリアフリーなどの日常災害を対象とした安心・安全に関する内容の意識調査を全国規模で実施し、日常生活での事故や災害等の項目に対して人々が実際に感じている「不安度」、「安全－危険度」の違い、安心・安全に関する対策・行動等について、分野横断的な検討を行っている点が大きな特徴となっています。

この意識調査は、3カ年の研究プロジェクト期間中に毎年実施を計画しているものです。継続的な調査を行うことで、安心・安全に対する人々の意識や考え方をより多面的に明らかにするとともに、社会的な事件・事故が及ぼす人々の意識の変化等を把握することが、この調査の目的の一つとなっています。

本建築研究資料が、今後の安全・安心性能向上にむけた各方面の取り組みの一助となれば幸いです。

平成19年11月

独立行政法人建築研究所

理事長 山内泰之

住宅・住環境の安全・安心に関する継続的な意識調査および分析

布田健¹⁾、樋野公宏²⁾、萩原一郎³⁾、山口修由⁴⁾、眞方山美穂¹⁾、小島隆矢⁵⁾、
立花直美⁶⁾、島田貴仁⁷⁾、吉村英祐⁸⁾、寺内義典⁹⁾、若林直子¹⁰⁾

概要

建築研究所では、「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発（平成18～20年度）」を重点研究課題とし、「防犯」「建築内事故の防止」「歩行空間の安全性」「ユニバーサルデザイン及び分野横断的課題」というテーマを設けて各種研究・開発を行っている。本調査はこの一環として実施された全国規模の基礎調査であり、今後3年間継続的に行う「安全・安心に関わる意識調査」の第一弾にあたる。調査項目、調査票は、過去の調査と上記テーマごとの分科会の意向をふまえて設計している。

本資料はこの調査の報告であり、調査結果は第2章に示した。内訳は以下のとおりである。

2-1は「調査結果の概要」として、「回答者属性」、事件事象などに関するさまざまな「評価・認識」、各種取組みに対する意見や対策実行状況などの「意見・態度・行動」に分けて、各々の集計結果を示した。「意見・態度・行動」では次のような結果も示された。

- ◆ 「不安度」の高い人で、防犯活動など各種取組みへの参加意向が高く、実際に参加している人は少ない。むしろ、居住環境を肯定的に評価していて、地域などへの関心度が高い人で、参加意向や経験値が高い。

2-2は、「安全-危険、安心、不安の違いに関する検討」であり、関連する項目を抽出して、多変量解析の手法を取り入れた分析を行った。主な結果を以下に示す

- ◆ 「不安度」は主観的に"自分の"不安を、「安全-危険度」は客観的に"環境の"安全性を、それぞれ評価しているという傾向がある。
- ◆ 「安全-危険」「安心」「不安」はそれぞれに相関が高いが、「危険」と認識しているのに「不安を感じない」、「不安」も「安心」も感じる（または感じない）なども少なくない。三者は両立する評価項目でもある。

2-3では、「地域への不安内容に関する検討」として、地域の不安に関する自由記述意見をカテゴライズして集計した。また、どのような人がどのような不安を抱えているかの傾向を探るため、自由記述意見と個人属性との対応分析も行った。主な結果を以下に示す。

- ◆ 「犯罪」に関する記述が最多。「コミュニティ（近隣関係、地域性等）」「人（居住者、来訪者のマナー、人口構成等）」に関する記述の多さ、内容の多様さも注目に値するという結果だった。
- ◆ 不安内容は、女性、若い男性、子どもと同居者、単身者などで特徴的だった。

1) 建築生産研究グループ主任研究員、2) 住宅・都市研究グループ研究員、3) 防火研究グループ上席研究員、4) 材料研究グループ主任研究員、5) 早稲田大学人間科学学術院准教授（当時、建築生産研究グループ主任研究員）、6) 武蔵野美術大学 教授、7) 警察庁科学警察研究所犯罪行動科学部 主任研究官、8) 大阪工業大学工学部 教授（当時、大阪大学工学部 教授）、9) 国土舘大学理工学部 准教授、10) (有)生活環境工房あくと

Continuous survey and analysis concerning residents' attitude on safety performance of their houses and living environments

Ken Nunota¹⁾, Kimihiro Hino²⁾, Ichiro Hagiwara³⁾, Yoshinobu Yamaguchi⁴⁾,
Miho Makatayama¹⁾, Takaya Kojima⁵⁾, Naomi Tachibana⁶⁾, Takahito Shimada⁷⁾,
Hidemasa Yoshimura⁸⁾, Yoshinori Terauchi⁹⁾, Naoko Wakabayashi¹⁰⁾

Abstract

There is "Development of technology that makes house and living environment safe" in one of the research topics of Building Research Institute. We have executed the nationwide fundamental investigation as a part of the topic. The investigation designed referring to the past research etc.

The points of the result of this investigation is as follows.

The outline of the total result in each question was shown in 2-1. For instance, the following results are included.

- ◆ The person that the participation intention to community activities like the anticrime activity etc. is high in the person who thinks the living environment to be uneasy is little. The participation intention of the person who affirmatively evaluates the living environment, and is being interested in the living environment to regional activities is high.

In 2-2, a detailed analysis of safety and uneasiness are described. The main result is as follows.

- ◆ Standard ("huan-do") by which my uneasiness is subjectively evaluated and "Safety-risk" have standard ("anzen-kiken-do") by which the safety of the environment is objectively evaluated.
- ◆ It is not a little not to feel uneasiness though it is recognized it is dangerous, and to feel uneasiness and safety (Or, neither uneasiness nor safety is felt).

In 2-3, we have divided the opinion freely written about uneasiness in the living environment by the contents, and we have totaled that. And, to search for the tendency what uneasiness what kind of person to was holding, we have done the correspondence analysis of the opinion freely written and an individual attribute. The main result is as follows.

- ◆ There were the most a lot of people who wrote "Crime" in the opinion freely written. Moreover, there were a lot of people who wrote "Vicinity relation and region, etc." and "Person (resident and manners, etc.)", and the written content was various.
- ◆ The content thought to be uneasy person etc. and feature all alone. the woman, a young man, the child, and those who cohabited.

¹⁾ Dept. of production engineering, ²⁾ Dept. of housing and urban planning,
³⁾ Dept. of Fire Engineering, ⁴⁾ Dept. of Building Materials and Components,
⁵⁾ Associate Prof. Faculty of human sciences, Waseda Univ.(former Dept. of production
engineering, BRI), ⁶⁾Musashino Art University, ⁷⁾ National Research Institute of Police
Science, ⁸⁾Osaka Institute of Technology (former Osaka University) , ⁹⁾ Kokushikan
University, ¹⁰⁾ Living Environment studio act

住宅・住環境の安全・安心に関する継続的な意識調査および分析

目 次

1章 調査の目的と概要	1
1-1. 調査目的	1
1-2. 調査概要	1
1-2-1. 調査概要	1
1-2-2. 調査項目	2
1-2-3. 調査票	6
2章 調査結果	7
2-1. 調査結果の概要	7
2-1-1. 回答者属性（フェイス項目）	7
2-1-2. 「認識・評価」	14
2-1-3. 「意見・態度・行動」	24
2-2. 「不安」「安心」「安全-危険」の違いに関する検討	31
2-2-1. 「不安度」と「安全-危険度」	31
2-2-2. 「不安」「安心」「安全」に関する分析	35
2-2-3. 不安、安心、安全に関する因果関係の検討	46
2-3. 地域への不安内容（自由記述）に関する検討	49
2-3-1. アフターコーディングの実施	49
2-3-2. 個人属性との対応分析	51
3章 まとめと今後の課題	53
付録1 H18年度外部委員会名簿	55
付録2 調査画面（インターネット調査における調査票）	57

付録（CD）

- ・調査画面（インターネット調査における調査票）
- ・地域・年齢層（5才階級）とのクロス集計結果（Part1）
- ・性別・年齢層（5才階級）とのクロス集計結果（Part2）

1章 調査の目的と概要

1-1. 調査目的

本調査は、建築研究所重点研究課題「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発」の一環として実施する基礎調査である。住宅・住環境の安全・安心に関わる生活者のニーズ・意識を把握することを目的に全国規模のアンケート調査を実施し、住宅・住環境への安全度や安心度、満足度、意見・態度等について統計的分析を行う。

1-2. 調査概要

1-2-1. 調査概要

調査はWeb上で回答するインターネット調査であり、調査会社を通じて実施した。

対象者は、日本全国に居住する25～54才の調査モニター登録者であり、性別、年齢層（5才階級、6属性）、居住地域（首都圏+近畿圏・その他、2属性）が各々均等になるよう抽出し、計2,508人を割り付けた（割付は発信時だけに実施）。

- ◆ 性別（2属性）
 - ◆ 年齢層（5才階級、6属性）
 - ◆ 地域（首都圏+近畿・その他、2属性）
- } 24属性
(100人強 / 属性)

今回、インターネット調査という手法を選択したのは、このような全国規模の調査を一定の品質で行う必要があったからである。インターネット調査は、特定地域に偏ることなく全国から対象者を均等にサンプリングすること、年齢や性別等が均等になるよう調整することなどにとくに優れており、コストパフォーマンスや納期の面でも、質問紙調査など他の手法の追従を許さない。

なお、居住地域を「首都圏+近畿」と「その他」を均等割付にした理由は、以下のとおりである。

- ◆ 調査モニターの居住地分布は「首都圏+近畿」で60%。実態*より都市居住者割合が高いので、若干是正をしたい。

*総務省統計局の人口推計データでは、「首都圏+近畿」と「その他」の人口比率は46:53。

- ◆ 居住地域だけを考えると、北海道、東北、関東等の地域別に、人口動態に合わせた割付をする方法が考えられる。しかし、性年代の割付もあるので、地域別割付にすると各セルの人数が非常に少なくなり現実的でない。

また、年齢層を20代後半～50代前半とした理由は、主に以下のとおりである。

- ◆ テーマが住宅・住環境なので、回答者にはこのテーマへの関心、および生活経験がある程度ある方がよい。この意味で、25才未満を調査対象者から外した。
- ◆ 50代後半以降を外したのは、調査モニター登録者自体が少ないため。

調査時期は2007年3月9日(金)～3月13日(火)、有効回答は2,508人である。

表1-1 回答者の内訳

	年齢	首都圏	近畿圏	その他	合計
男性	25～29	70	35	104	209人
	30～34	71	36	102	209人
	35～39	65	37	107	209人
	40～44	82	37	90	209人
	45～49	69	30	110	209人
	50～54	70	34	105	209人
女性	25～29	57	31	121	209人
	30～34	62	31	116	209人
	35～39	66	38	105	209人
	40～44	68	27	114	209人
	45～49	53	44	112	209人
	50～54	54	41	114	209人
合計		787	421	1,300	2,508人
		31%	17%	52%	100%

*首都圏：東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県

*近畿圏：大阪府・京都府・兵庫県・和歌山県・奈良県・滋賀県

参考までに、調査会社による配布回収の手順の概要を下記に示す。実際には調査会社ごとに、また提供されるサービス内容ごとに若干異なるが、今回はほぼ一般的な手順といえる。

- ◆ 「アンケート発信リスト」の作成
 - *全調査モニターの中から条件にあった人を抽出、さらにそのなかから回収目標数を満たすために必要と思われる数（性別・年齢別などの回収実績に基づいて算出）に絞る。
- ◆ リストに基づきアンケート依頼をメールで送付
 - *依頼した人がログインする Web サイトにのみ、当該アンケートへの入口ボタンが表示されるよう設定。
- ◆ 回収状況のチェック、修正
 - *メール発信の翌日から回収状況をチェック、予想より少なかった場合は、アンケート回答を促す催促メールを発信したり、「アンケート発信リスト」を追加で増やしたりする。
- ◆ アンケートの打ち切り（終了）
 - *有効回答率を想定し、納品予定の回収目標数にプラスアルファをした数を超えた時点でアンケートを打ち切る（属性ごとにチェック）。本調査の場合、性別・年齢層の各セルごとに220～230人程度、計2702人を回収した。
- ◆ 対象者外のカット
 - *調査モニターの登録間違いや引越し等も考えられるので、データをチェックし、対象者外の人がいればカットする。
- ◆ 納品データの抽出
 - *上記有効回収票から回収目標数の分だけ無作為に回答者を抽出し、納品データとする。本調査の場合、性別・年齢層ごとに209人を無作為抽出し、居住地域については成り行き（このような扱いを「発信時のみ割付」と称する）として、計2508名分の納品データを得ている。

なお、今回、発信したアンケート数を表1-2に示す。

表1-2 アンケート発信数

	年齢	首都圏+近畿圏	その他	合計
男性	25～29	600	600	1,200 人
	30～34	415	415	830 人
	35～39	415	415	830 人
	40～44	363	363	726 人
	45～49	363	363	726 人
	50～54	363	363	726 人
女性	25～29	525	525	1,050 人
	30～34	415	415	830 人
	35～39	415	415	830 人
	40～44	363	363	726 人
	45～49	363	363	726 人
	50～54	363	363	726 人
合計		4,963	4,963	9,926 人

単純に、納品データ数2508を発信数9,926で除すと25.3%、あるいはアンケート打ち切り時点の回収票数2702を発信数で除すと27.2%となる。しかし、一般的に、インターネット調査において、これらの数値は「回収率」としては報告されないようである。その理由は下記のようなものである。

- 調査終了まで配信に気づかない人が相当数の未回収票となる。回収率は調査依頼のアタック数を分母とすべきだが、これらの未回収票は「アタックされた」とはいえない。従って、単純に「配信数＝アタック数」としては扱えない。
- 回答しようとしたが調査が終了されていた、という人が相当数の未回収票となる。これらの未回収票は、締め切り前であれば有効回収票となっていたはずであり、曜日・時間帯などの点で十分に余裕のある調査実施期間を設けていれば、有効回収票との差異は小さいと考えられる。従って、これらを未回収票として扱って、回収バイアスの指標となる回収率を計算することには問題がある。

1-2-2. 調査項目

過去の調査、および「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発に関する検討委員会」における各分科会の意向をふまえて調査項目を設計した。

主な項目を次ページ（表1-3）に示す。

表 1-3 主な調査項目

		分野共通の項目	安全安心に直接関わる項目
フェイス項目	個人属性	(年齢)、(性別)、(職業)、世帯属性、家族人数、子育て経験…	-
	生活実態	居住年数、居住地タイプ(都会・田舎・郊外)、地域性、住居形態、住居構造、築年数…	事故や災害にあった経験 (交通事故、転倒転落、路上犯罪、車上狙い等、空き巣強盗、救急医療、地震、放火、火災、風水害、健康被害、近隣トラブル、夜道…)
認識・評価	個別評価	[住居] 収納、高齢者配慮、日当たり採光、騒音、眺め、視線、デザイン、強度…/生活感がある、便利である、清潔感がある… [地域] 騒音振動、自然、人の良さ、交通の便、子育て、救急医療、支援制度…/快適である、静かである、便利である…	事件事故の多さの認識 (交通事故、転倒転落事故、路上犯罪、火災…※) 不安度 (交通事故、転倒転落事故、路上犯罪、火災…※) 安全-危険度 (交通事故、転倒転落事故、路上犯罪、火災…※) 安全-危険に関する自由記述等 (場所×誰にとって×何が危険安全か等) (バリアフリー、公園の遊具について) ※)一部項目で、子ども・高齢者ではどうかを再質問
	総合評価	総合不満度、総合魅力度/好ましい、住みよい、愛着がある	総合不安度、不安の理由/安全である、安心できる
意見・態度・行動	関心意見	総合関心度、地域活動参加意向(清掃活動、地域行事、自治会会合…)	防災防犯に関する地域活動参加意向(訓練、住民パトロール、地域安全マップづくり…) 交通安全や防犯への取組みへの意見(ハンパなど、住民パトロール、オートロック、防犯カメラ、Web上での地域安全情報提供…) 犯罪対策に関する意見(犯罪不安は過剰反応か、防犯より社会構造改善…)
	知識行動	地域活動参加経験(清掃活動、地域行事、自治会会合…)	知識(最寄の交番、災害時の避難場所等…) 防災防犯に関わる地域活動参加経験(訓練、住民パトロール、地域安全マップづくり…) 異常時の対応の想定(助けに応じてすぐ対応、異常時には助けを求める) 対策(家族・近所話し合い、耐震補強、インターホン、保険、在宅施錠、不在時の声かけ、備蓄物資…) 対策内容の自由記述(転倒転落、防犯防災等)

* 「不安度」「安全-危険度」「総合不満度」などの「度」は「度合い」の意味。「大いに感じる」～「まったく感じない」など、順序尺度の設定に使用した。

* 「事件事故の多さの認識 (Q13)」「不安度 (Q7)」「安全-危険度 (Q9)」の3 カテゴリーでは、交通事故や転倒転落等についてのみ、子どもや高齢者ではどうかを別途聞いている。

* 「総合不満度 (Q3)」「総合魅力度 (Q4)」「総合不安度 (Q6)」「総合関心度 (Q5)」は、住居と居住地域の各々についてそれぞれ同じ4段階で聞いている。

* 「安全である」「安心できる」は、「便利である」「快適である」「くつろげる」「好ましい」「愛着がある」等と同様に、住居と居住地域の各々についてそれぞれ同じ両側5段階で聞いている。(Q1, Q2)

特筆すべきなのは、同じ項目（たとえば「交通事故」）に関して、以下の4つの認識・評価、経験を聞けるよう設計した点である（表 1-3 の右列「安全安心に直接関わる項目」における「フェイス項目」と「認識・評価」、太字部分が該当）。

- ◆ 自分や家族がそのような事態になることへの不安の度合い「不安度 (Q7)」
- ◆ 居住地域や住居のそのような事態に対する安全性の評価「安全-危険度 (Q9)」
- ◆ 最近、自宅周辺でそのような事態が多いと認識しているか「事件事故の多さの認識 (Q13)」
- ◆ 今までに自分や家族がそのような事態になったことがあるか否か「事故や災害にあった経験 (Q14)」

ただし、項目によっては、そのように認識または評価することはありえないものもあり、同じワーディングが使えず、あえて別の設問で聞くようにしたものや、

その項目を省略したものもある。

たとえば、表 1-4 【例2】の「急病やケガ、夜間の診療に対応する病院・体制」がこれに該当する。具体的には次のような対応を行った。

- ◆ 「～についての不安」であれば聞けるが、「お住まいの地域は、～に対して、安全-危険」では聞けない。そこで、安全-危険度ではなく「整っているか否か」の客観評価を別の設問 (Q1) で聞くこととした。
- ◆ 事件事故ではないので「(最近、自宅周辺で) 多い～少ない」は評価できない。そこで、「事件事故の多さの認識」は省いた。
- ◆ 経験は「急病やケガ、夜間などにすぐに診療が受けられなかった」という事態の経験の有無を聞く、というようにワーディングを適宜変更した。

表 1-4 「安全安心に直接関わる項目」の設計意図

	【例1】交通事故	【例2】急病やケガ、夜間（の診療に対応する病院・体制）	
<u>不安度</u> 4段階	自分や家族が、お住まいの地域で～にあうことへの不安 [大いに感じる—まったく感じない]	～についての不安 [大いに感じる—まったく感じない]	… 20項目(Q7)
<u>安全-危険度</u> 5段階	お住まいの地域は、～に対して、[安全-危険(Q9)]	～が整っている [そう思う—そう思わない(Q1)]	… 17項目(Q9) 3項目(Q1)
<u>事件事故の多さの認識</u> 4段階	～ [(最近、自宅周辺で) 多い～少ない]		… 7項目(Q13)
<u>事故災害の経験</u> 名義尺度	～で大けがをした [自分だけ、家族だけ、自分も家族も...]	～などにすぐに診療が受けられなかった [自分だけ、家族だけ、自分も家族も...]	… 17項目(Q14)

このように設計したのは、表 1-5 に示した 20 項目である（日常生活事故、防犯、防災など、従来は異なる調査であつかわれるような項目を横並びで検討できるようにしているのも、本調査の特徴である）。

なお、「不安度」と「安全-危険度」のワーディング等はほぼ合わせたが、*印のセルのみ、次のように敢えて変えている。

- ◆ Q1 は安全-危険度評価ではなく、客観評価。
 - ✓ 救急医療に対応する病院・体制が整っている（両側 5 段階）
 - ✓ 近所づきあいが良好な地域である（両側 5 段階）
 - ✓ いざというときに頼りになる人が多い地域だと思う（両側 5 段階）
- ◆ Q9' は若干読み替えた項目。
 - ✓ 「地震で自宅損壊」は「地震に対する“地域”の安全-危険度」

表 1-5 「不安度」「安全-危険度」等の対象項目と該当する問

20 項目	不安度 (4 段階)	安全-危険度 (5 段階)	事件事故の多さ (4 段階)	事故災害の経験 (名義尺度)
交通事故	Q7	Q9	Q13	Q14
歩行時転倒転落	Q7	Q9	Q13	Q14
自宅内転倒転落	Q7	Q9		Q14
路上犯罪	Q7	Q9	Q13	Q14
車上ねらい等	Q7	Q9	Q13	Q14
空き巣強盗	Q7	Q9	Q13	Q14
破損落書き	Q7	Q9		Q14
救急医療	Q7	Q1*		Q14
地震で自宅損壊	Q7	Q9'*		Q14
地震で被災	Q7	Q9'*		Q14
不審火や放火	Q7	Q9	Q13	Q14
出火して火災	Q7	Q9		Q14
火災で被災	Q7	Q9	Q13'	Q14
風水害	Q7	Q9		Q14
地盤災害	Q7	Q9		Q14
災害避難	Q7	Q9		
健康被害	Q7	Q9		Q14
近隣トラブル	Q7	Q1*		Q14
近隣扶助	Q7	Q1*		
夜道	Q7	Q9		

1-2-3. 調査票

作成した調査票は、巻末の付録2（付属のCDにも収録）に示すとおりである。図1-1は、その調査画面の一例である。

なお、Webアンケートの特性を活かし、設問の分岐や選択肢のランダム表示を行った箇所がある。

設問の分岐は、次の2箇所である。

☆同居している家族に関する設問4問（下記）は、単身者319人に対しては非表示とした。

◆ Q18 防災防犯対策に関する設問

- ・「防災に関する家族の話し合い」の経験
- ・「自宅防犯に関する家族の話し合い」の経験
- ・「大地震時の家族連絡方法」を決めているか
- ・「大地震時の家族で落ち合う場所」を決めているか

☆ある選択肢を選んだ人にだけ自由記述等をしてもらった（子設問。以下は主なもの）。

- ◆ Q6-SQ1 地域に対する不安がある人限定で、その内容（自由記述）
- ◆ Q6-SQ2 住居に対する不安がある人限定で、その内容（自由記述）
- ◆ Q16-SQ1 公園の遊具が壊れているのをみたことがある人限定で「管理事務所などに連絡したか」（Yes-Noと自由記述）
- ◆ Q28-SQ1 集合住宅在住者限定で、オートロックシステムと防犯カメラの状況

選択肢のランダム表示は、以下の設問で、順序効果を防ぐために適宜実施した。

- ◆ Q1 地域の評価（一部順序を固定）
- ◆ Q2 住居の評価（一部順序を固定）
- ◆ Q19 日ごろの安全対策（一部順序を固定）

Q7. あなたは、現在の生活で、次のような不安や心配を感じますか。あなた自身が感じる不安感や心配の程度をお答えください。（それぞれ1つだけ）

横方向に回答してください →	大いに不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない
自分や家族が、お住まいの地域で交通事故にあうことへの不安	→ ○	○	○	○
自分や家族が、お住まいの地域を歩行時に転倒・転落などの事故でケガをすることへの不安	→ ○	○	○	○
自分や家族が、自宅内で転倒・転落などの事故にあつてケガをすることへの不安	→ ○	○	○	○
自分や家族が、お住まいの地域で路上犯罪（ひったくり・恐喝・ちかんなど）にあうことへの不安	→ ○	○	○	○
自家用車やオートバイを狙った犯罪（自動車盗、車上ねらいなど）にあうことへの不安	→ ○	○	○	○
自宅が空き巣・強盗などの被害にあうことへの不安	→ ○	○	○	○
自宅が破損や落書き、いたずらなどの被害にあうことへの不安	→ ○	○	○	○
急病やケガ、夜間の診療に対応する病院・体制についての不安	→ ○	○	○	○
大きな地震で、自宅が壊れることへの不安	→ ○	○	○	○
大きな地震で、自分や家族が被害をうけることへの不安	→ ○	○	○	○
横方向に回答してください →	大いに不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない
自宅や自宅周辺でおこる不審火や放火についての不安	→ ○	○	○	○
自宅から出火して火災になることへの不安	→ ○	○	○	○
自宅や自宅周辺の火災で自分や家族が被害をうけることへ	→ ○	○	○	○

図1-1 調査画面の例

2章 調査結果

2-1-1. 回答者属性（フェイス項目）

1) 個人属性

既婚率は68%である。

2-1. 調査結果の概要

全項目（自由記述設問を除く）と性別・年齢層（5才階級）とのクロス集計結果を、付属のCDに収録した。

主な結果は本項で示すとおりである。

世帯属性は「親子の世帯」が半数以上（53%）でもっとも多い。同居している子どもの年齢が小学生以下という世帯は32%で、「親子の世帯」の半数弱を占める。また、65歳以上と同居している世帯は20%で、三世代以上の同居世帯に多い。

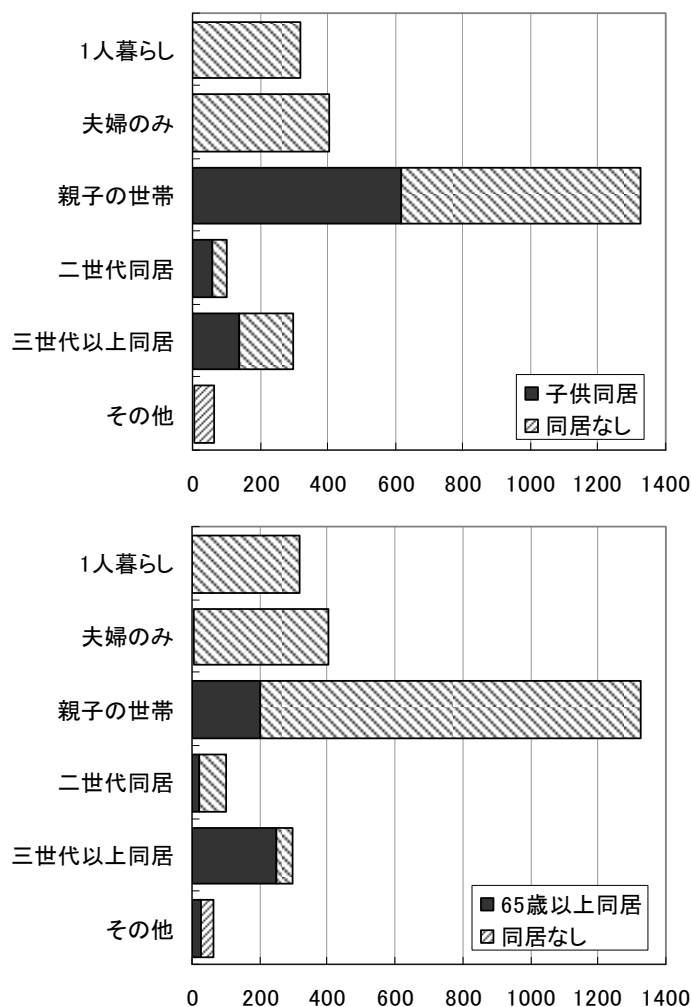


図2-1 世帯属性

職業は、会社員が4割（男性が主）、専業主婦が2割（女性が100%）と多い。「平日自宅にいるか否か」と関連が大きく、専業主婦と無職で「平日自宅にいる率」が高く、会社員などで低い。

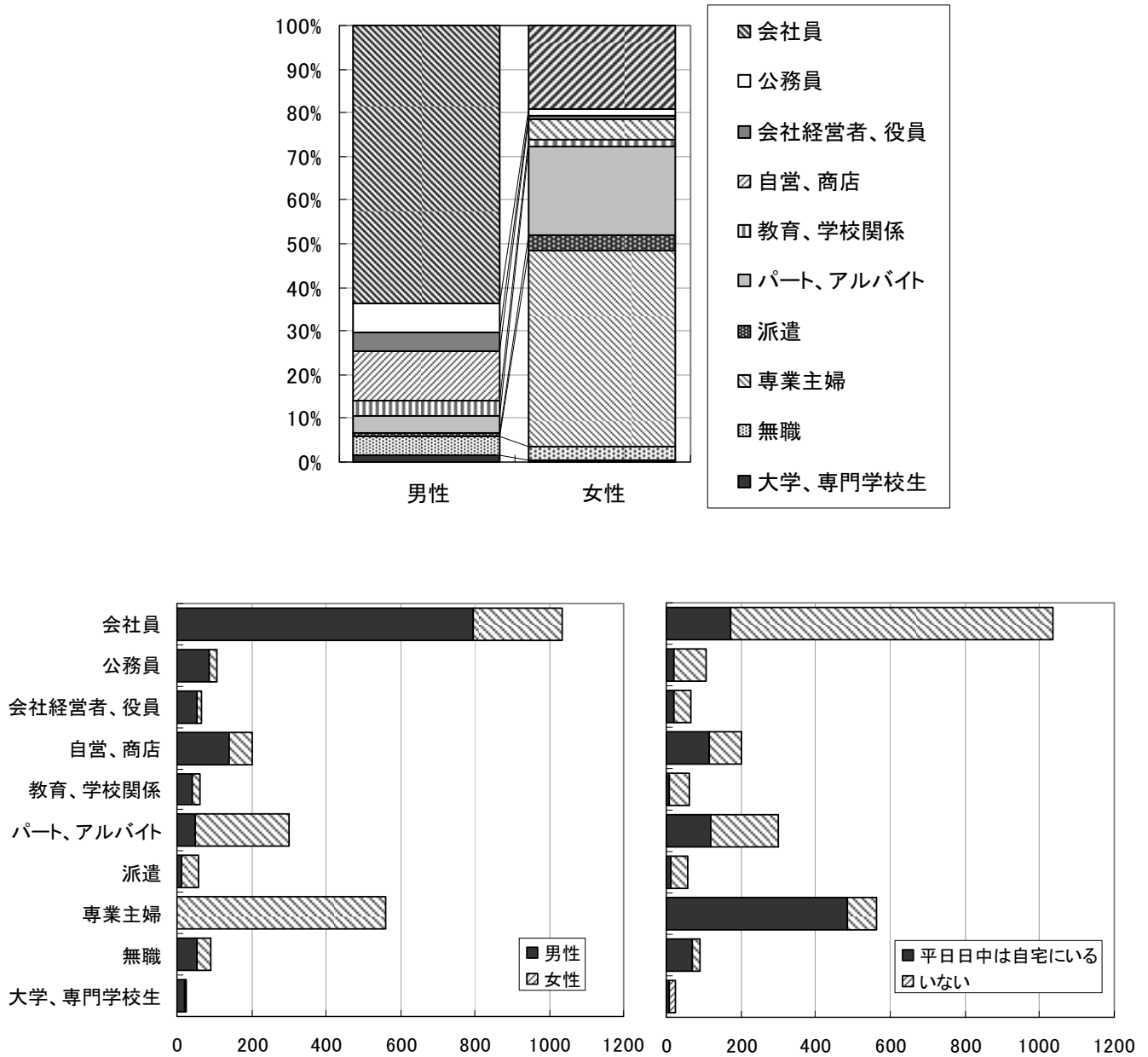


図2-2 職業

年齢は、さまざまな項目に関連している。以下に、年齢があがるにしたがって経験値があがる主なものを示す。

- ◆ 子育て経験は30代でぐんと上がり、40代前半まで単調増加（子育て中または子育て経験ありは全体の52%）。

- ◆ 介護経験は全体的に少ないが（介護中または経験ありは全体の12%）、50代前半で少し多くなる。
- ◆ 近所の人に合う機会は40代後半まで徐々に多くなる。子育て経験の増加傾向と似ている。
- ◆ 一戸建て住宅および持ち家は30代後半と40代前半では差がないものの、他の世代では徐々に高くなっている。

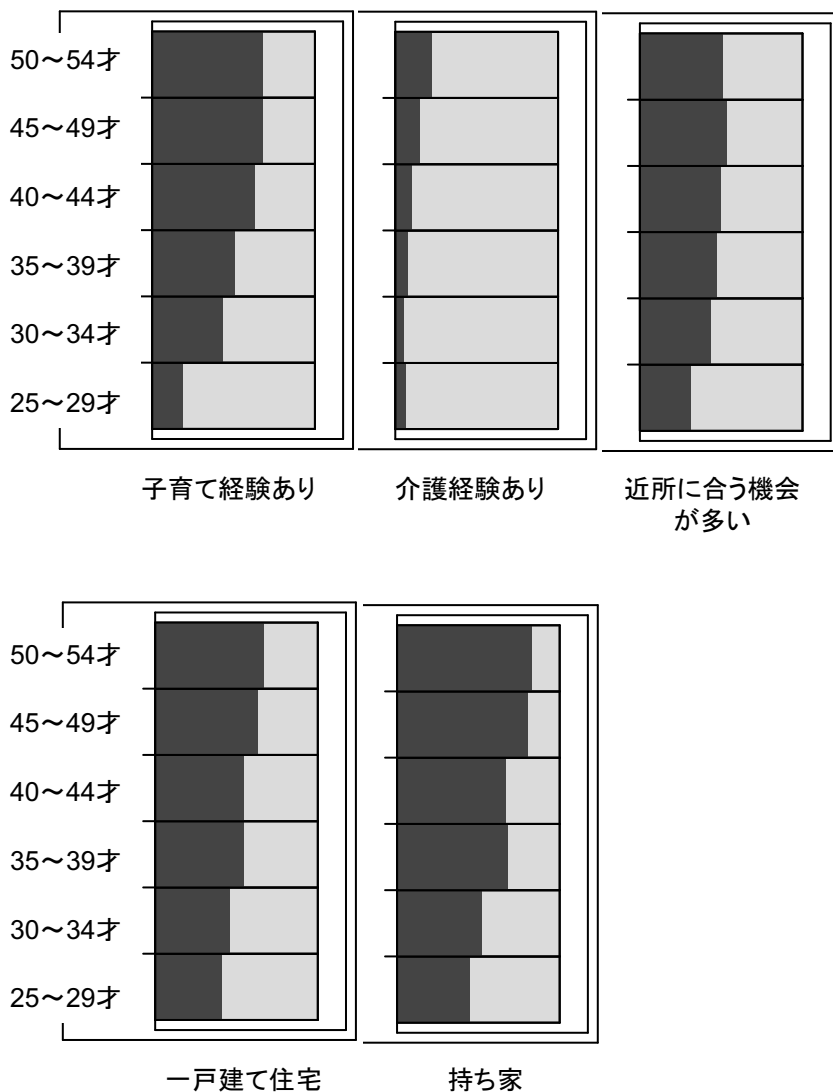


図2-3 年齢

性別で大きな差があるのは、前述の職業およびその関連（平日日中の居場所等）だが、子育て経験・介護経験ともに女性の方が多いという若干の差が見られた。

意外だったのは、近所の人に合う機会の多さに性差がなかったことである。通常、「近所づきあいの程度」は女性の方が深い。今回の調査では「近所づきあいの程度」は項目数の関係で聞けなかったのだが、「近所づきあいが良好な地域である」という認識には男女差があった（下記）ことから、今回も「近所づきあいの程度」は同じ傾向であったのではないかと推測できる。

- ◆ 「近所づきあいが良好な地域である」という認識では、女性に「どちらともいえない」が多く、男性に「そう思う」「そう思わない」のどちらも多いという結果であった。

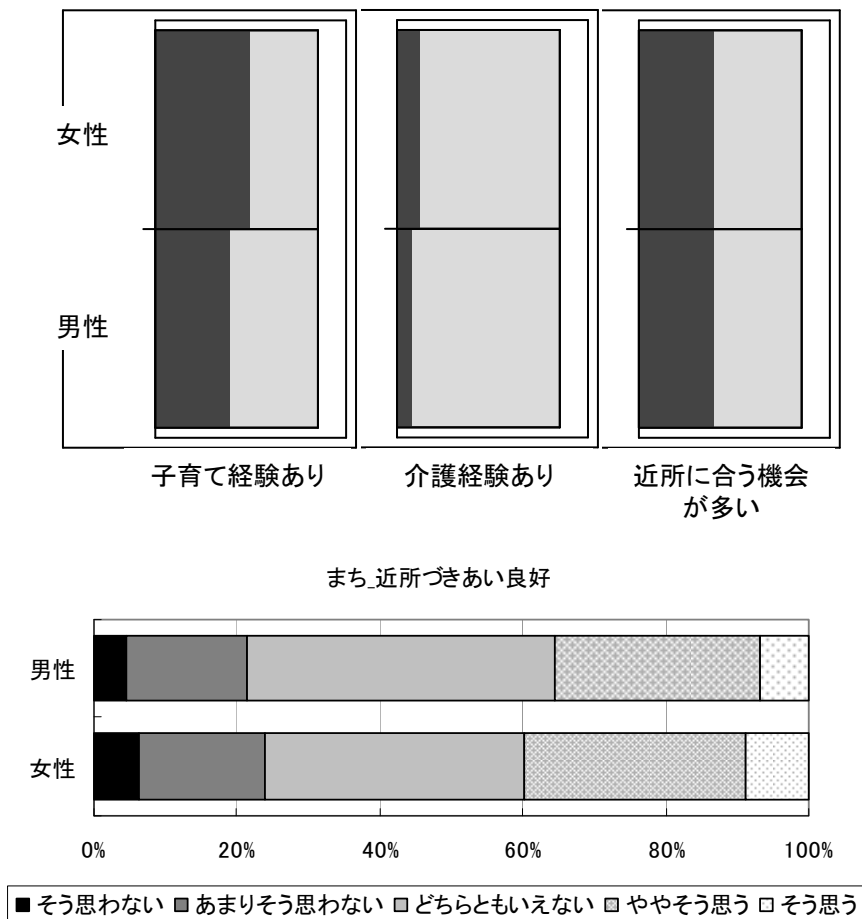
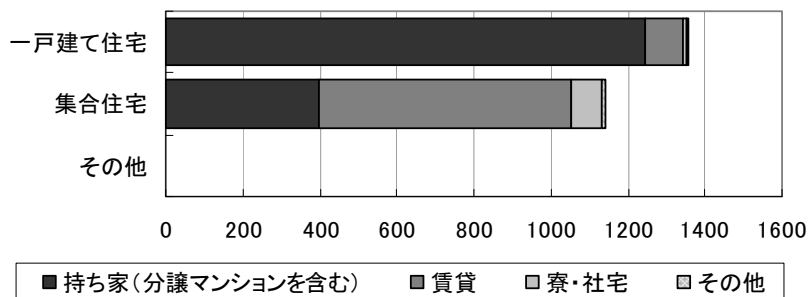


図2-4 性別

2) 住居・居住地域

住居は、集合住宅より一戸建てが多い。両者で所有形態に差があり、一戸建ての多くは持ち家で、集合住宅は半数以上が賃貸という結果であった。

なお、集合住宅のうち、オートロックがあるところは34.9%（モニターつきは18.1%）、防犯カメラを設置してあるところは35.4%であった。これらの割合が高いのは、「賃貸」よりも断然「持ち家」であった。



オートロック

防犯カメラ

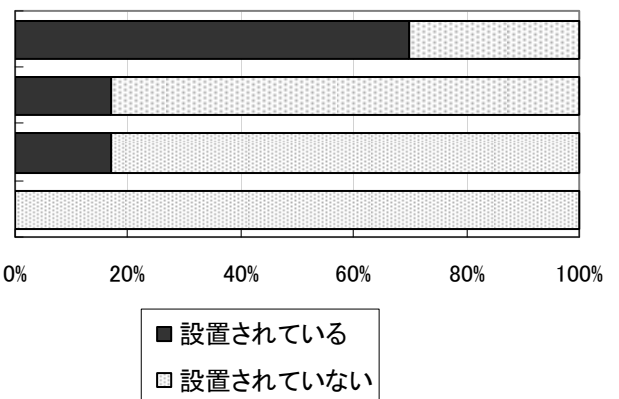
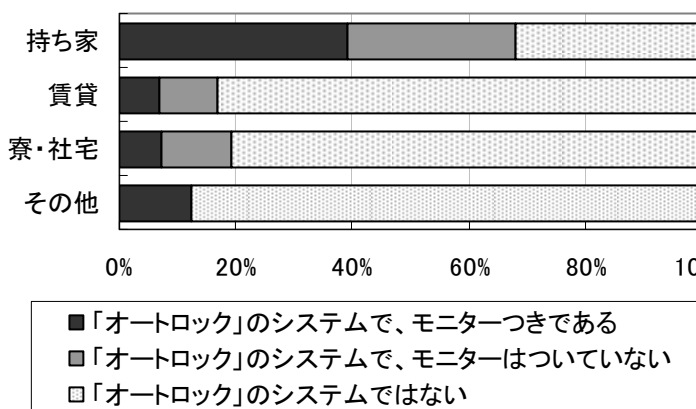


図2-5 住居

居住地域のタイプは、「郊外」が 52%、「都市」が 32%、「田舎」が 16%という結果であった（設問は「ご自宅周辺の地域は、以下のどれに近いですか。」 S A）。首都圏・近畿圏・その他とのクロス集計を見ると、首都圏が一番「都市」より、その他が「田舎」より、関西圏が中間であることが分かる（図 2-6）。

この居住地域の 3 タイプと、自宅周辺地域の環境評価（MA、0-1 データ）および首都圏・近畿圏・その他の対応分析を行った結果（2次元布置図）を、図 2-7 に示す。図では、都市、郊外、田舎が馬蹄形上に並んでおり、ほぼ一次元と解釈できる（ $c1=92.3\%$ ）。

「都市」は高層建物や店舗・飲食店、人が多く、建物が密集しており、風俗営業チラシが多く、交通量や路上駐車などが多い、「田舎」は農地が多く、山や川や海があり、人気（ひとけ）はなく夜道が暗い、等の特徴が明確に現れている。

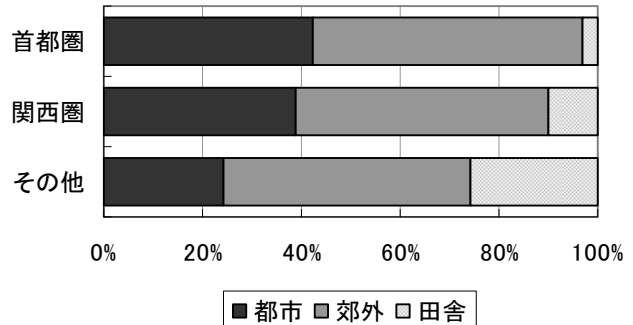


図 2-6 居住地域の 3 タイプ × 居住地域

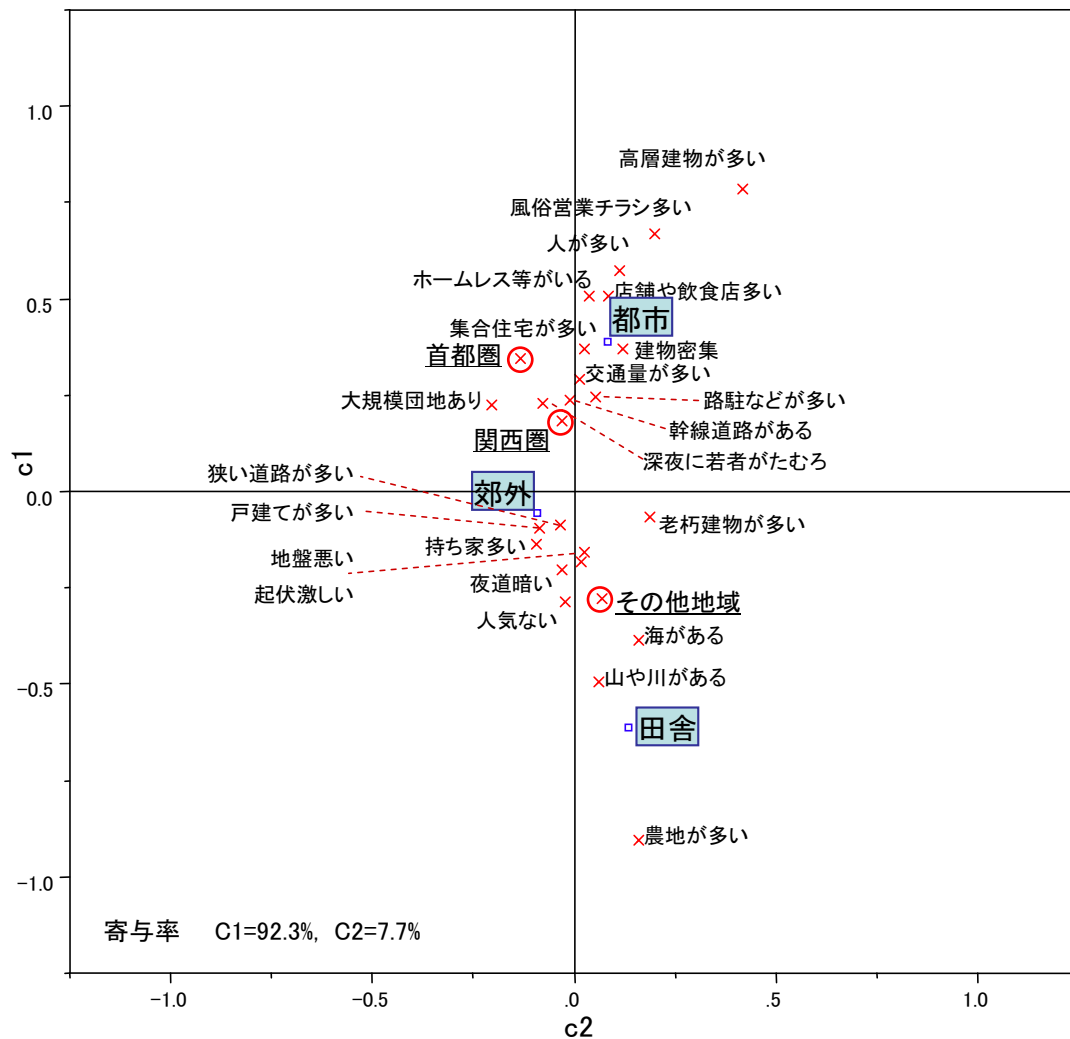


図 2-7 居住地域の 3 タイプ × (自宅周辺地域の環境評価 + 首都圏・関西圏・その他地域) の対応分析結果

3) 事故や災害にあった経験

全体的に事故や災害にあった経験自体が少ないという結果であった。とくに、火災をはじめ、地震や地盤災害などの被害を受けた人はごく少数である。

そのような中で、「近隣トラブル」の経験者が多いことは注目に値する(なかでも「自分も家族も」が多数)。全20項目をひっくるめて、とくに重大だった被害について具体的な記述を求めたところ(未必須)、やはり近隣トラブルに関するものが目立っていた。以下が、その例である。

- ◆ ちょっと変わった住人が近所にいて、すぐに刃物を持ってきたり、「殺してやる」と言う・・・
- ◆ 隣家に精神状態の悪い婆がいて、被害を受けた
- ◆ 直接被害はないが、近所に常識のない人が多くよく警察が来たりするので不安
- ◆ 4年間毎日の様に裏の家から嫌がらせを受け、悪口を言われたり、庭の木やフェンスを壊された
- ◆ 隣の地主に脅された
- ◆ 近所で騒音問題が起こった際に加害者と思われた

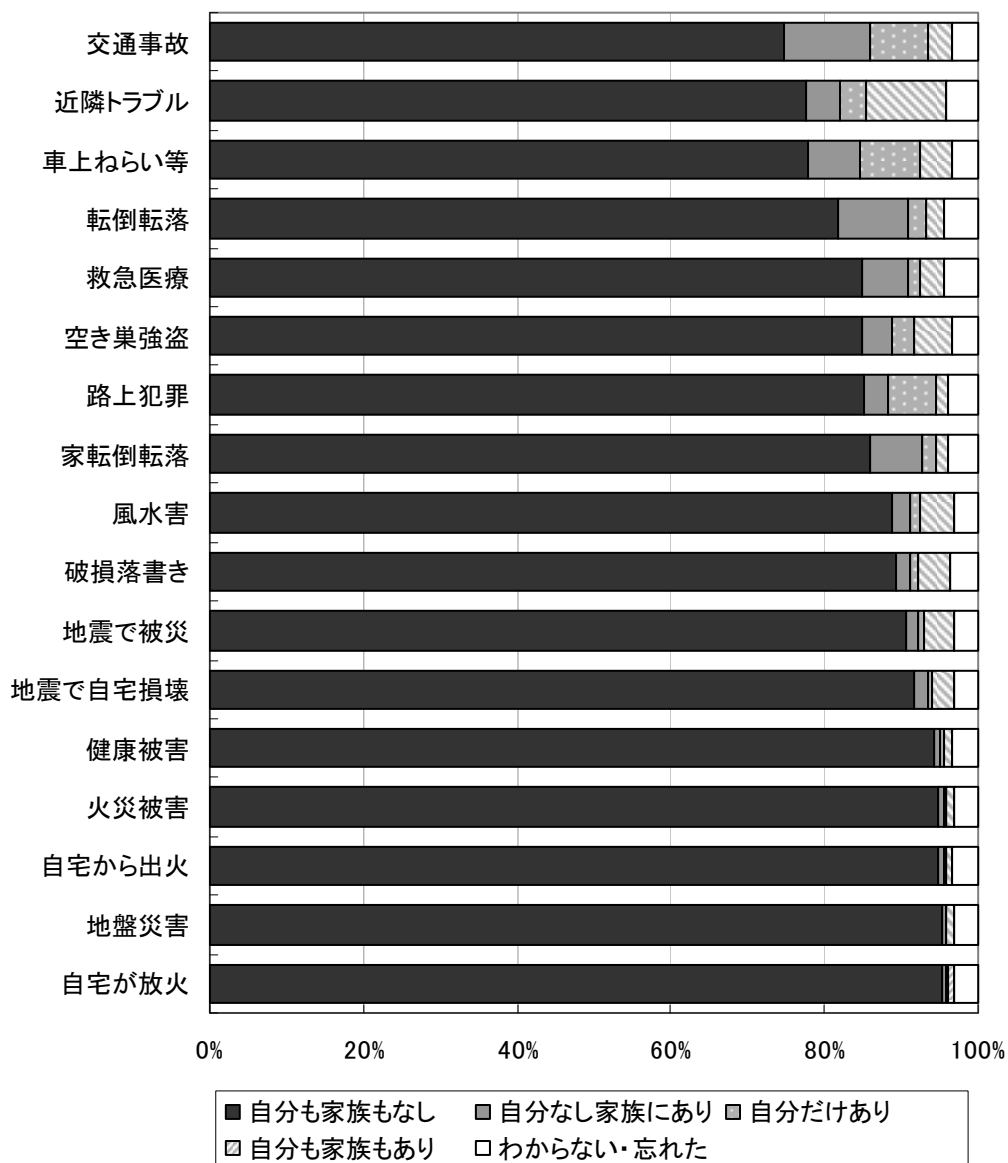


図2-8 事故や災害にあった経験 (Q14)

2-1-2. 「認識・評価」

1) 事件事故の多さの認識

最近、自宅周辺について事件や事故はどの程度起きていると感じているかを「多い」から「少ない」までの4段階で聞いた設問(Q13)であり、当然、同じ設問内、また「不安度」「安全・危険度」など、同じような内容の設問との相関は大きい。

ただし、「不安度」等とは異なる傾向も見られる。たとえば、「不安度」等は、ただの「交通事故」ではなく、「子どもの交通事故」というように、「子ども」や「高

齢者」に限定すると上昇する傾向があるが、「事件事故の多さの認識」では、この傾向が現れていない。

なお、子どもと同居している世帯では、「子どもへの犯罪」「子どもの交通事故」を通常より多いと認識している。ただし、転倒転落事故については差がない。

高齢者と同居している世帯は、子どもの場合のような傾向は見られない。むしろ「高齢者への犯罪」については通常より少ないと認識している。

これは、年齢が上の方が地域を安全と認識しているせいではないかと考えたが、必ずしもそうはいえなかった。今後検討したい。

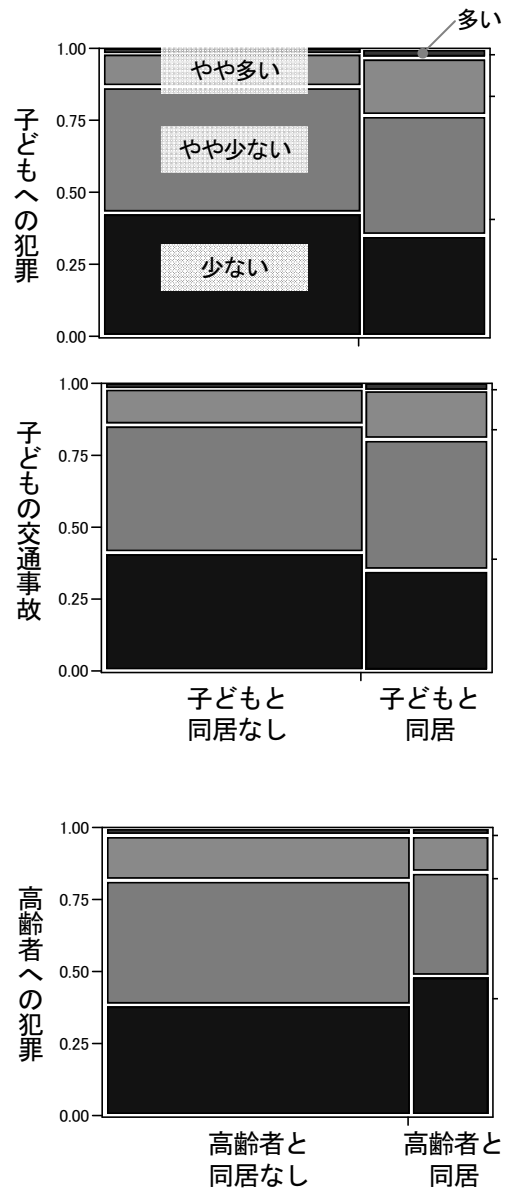
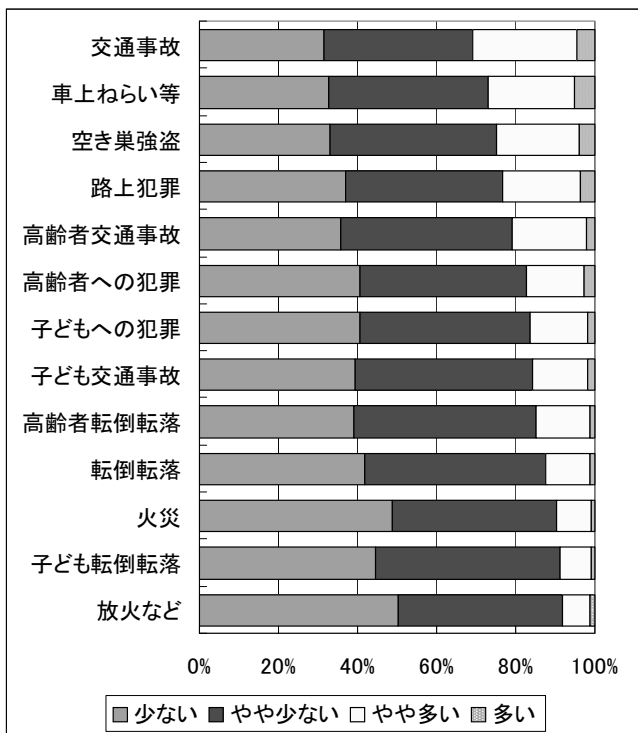


図 2-9 事件事故の多さの認識 (Q13)

2) 不安度

現在の生活で感じる不安感や心配の程度を、5段階で聞いたところ（個別20項目：Q7）、不安度の高さは項目ごとに大きく異なっていた。

不安度が高い項目には、居住地域や対策の如何によらず発生可能性があるもの（地震、交通事故等）、万一発生したら深刻な事態が想定される非日常的な犯罪や事故（空き巣強盗、路上犯罪、火災）が多い。

不安度が低い項目に「風水害」「地盤災害」があるが、これは常襲地域がほぼ限定されていること等の影響が考えられる。

ただし、全ての項目で「まったく感じない」「大いに感じる」という極端な意見は常に少数派だという特徴があった。

図2-10の下側の2行は、居住地域と自宅に関する総合不安度（Q6）の結果だが、ここでも「まったく感じない」「大いに感じる」は非常に少ない。この総合不安度で、不安がある側を選択した人に対し、不安内容の具体的な記述を求めたが、「なんとなく不安」「どこであろうと不安」といった曖昧な記述も少なくなかった。

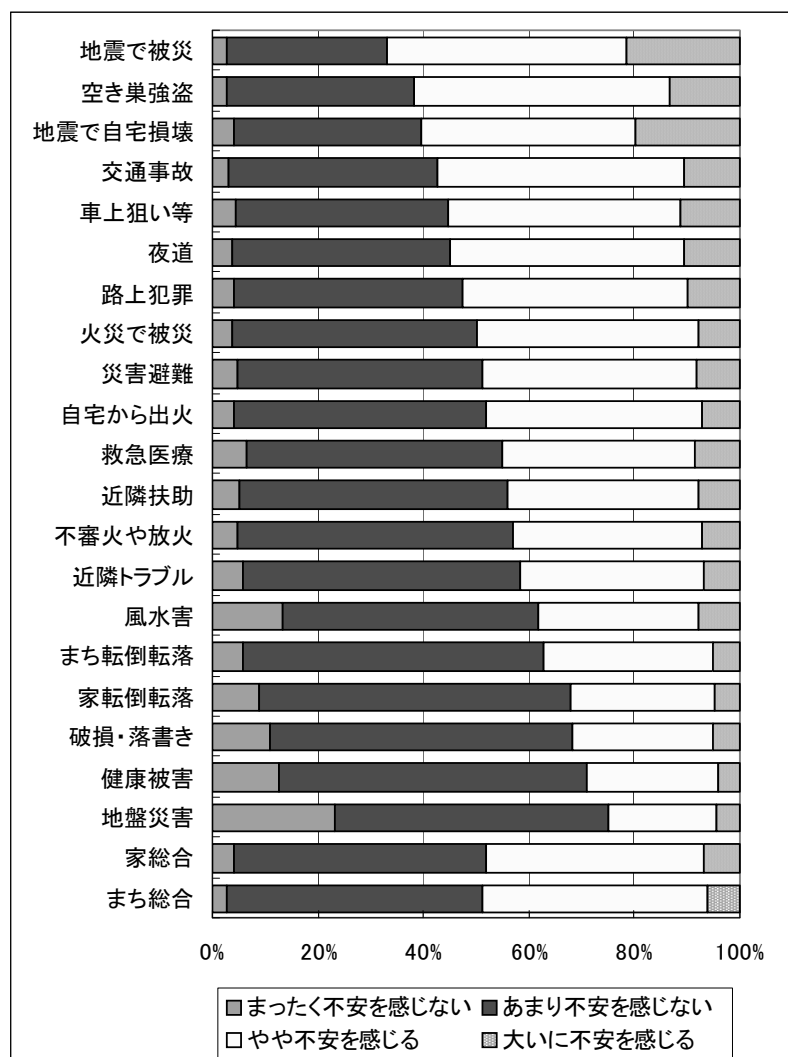


図2-10 不安度（個別20項目：Q7、総合2項目：Q6）

「小学生以下の子ども」「高齢者」に限定して聞くと(Q8)、各項目に対する不安度は、限定していない場合に比べ高くなる傾向が見られた。

また、どちらかに限定したかで、不安度が高くなる項目が異なっていた。たとえば、「交通事故」や「犯罪」はとくに子どもで、「転倒転落」はとくに高齢者で不安視されている。

ただし、総合的な不安度については、「子ども」「高齢者」に限定しても、限定しなくてもほぼ変わらない。

たとえば子どもについては、限定した方がむしろ不安度が低くなっており、ワーディング*の影響等も考えられる。

*「現在の住まい（自宅および地域）で、子どもが生活することへの総合的な不安」を、「大いに不安を感じる」～「まったく不安を感じない」

子どもや高齢者と同居しているか否か等、関連する属性による不安度の違いも見られた。

「子ども」に限定した場合の不安度は、全て、現在小学生以下と同居している人、および子育て経験がある人（子育て中を含む）で顕著に高かった(図 2-12。全てで有意差あり)。現役子育て中（同居者）だけでなく、すでに現役でない人でも、子どもに対し敏感であり続けていることは興味深い。

「高齢者」に限定した場合の不安度は、子どもの場合とは異なる。現在 65 歳以上と同居している人で顕著に高いのは「転倒転落」のみである。一口に「65 歳以上」といっても多様なので、子どもと異なる結果になったと思われる。なお、介護経験がある人（介護中を含む）では、「高齢者」に限定した場合の不安度全てが顕著に高いという結果であった。

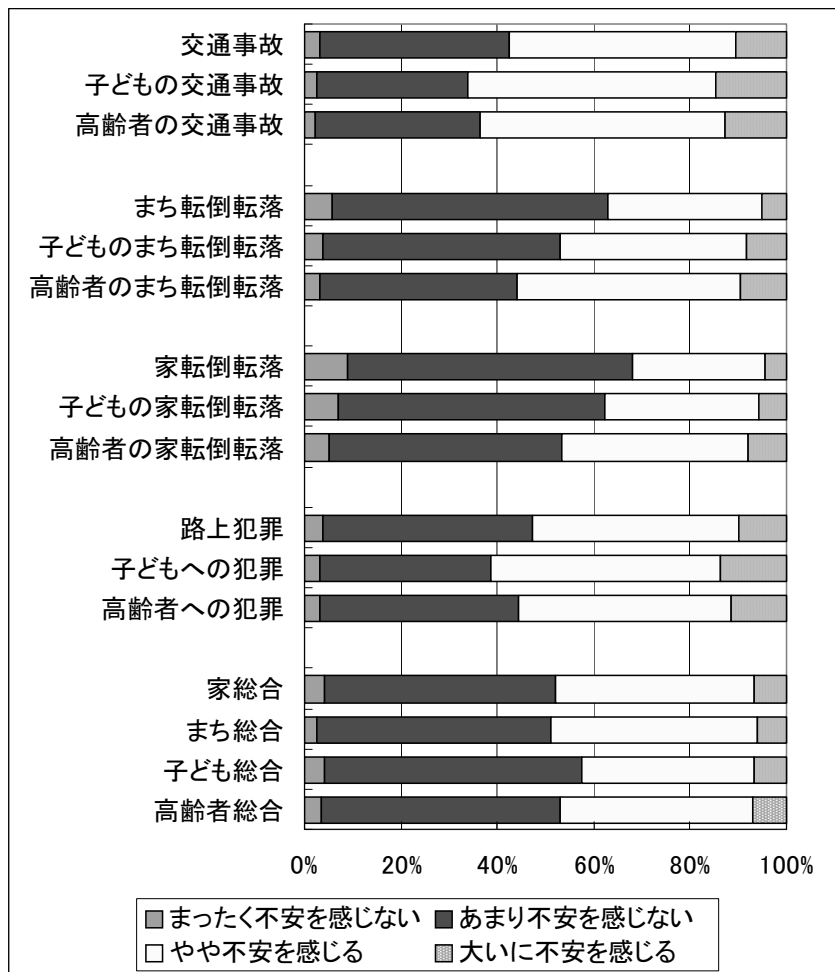


図 2-11 「子ども」「高齢者」に限定した場合の不安度 (Q7,Q8)

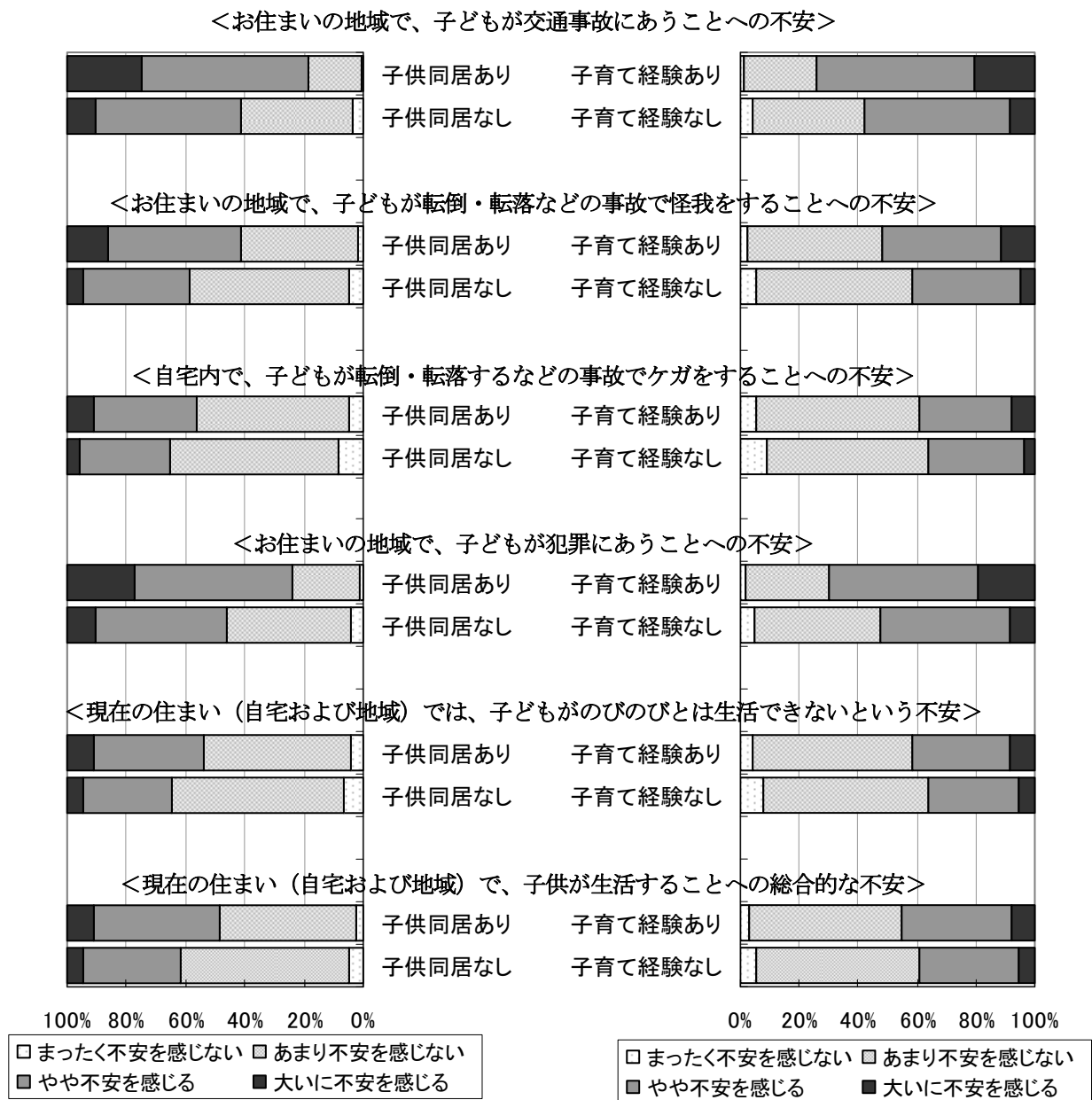


図2-12 「子ども」に限定した場合の不安度 × 子供と同居中、子育て経験あり

＜お住まいの地域で、高齢者が交通事故にあうことへの不安＞



＜お住まいの地域で、高齢者が転倒・転落などの事故で怪我をすることへの不安＞



＜自宅内で、高齢者が転倒・転落するなどの事故でケガをすることへの不安＞



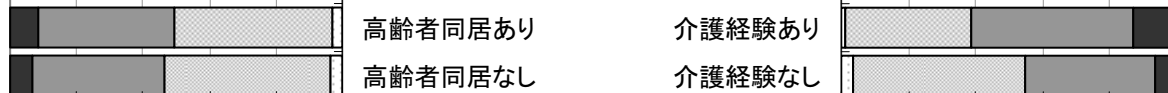
＜お住まいの地域で、高齢者が犯罪にあうことへの不安＞



＜現在の住まい（自宅および地域）では、高齢者がいきいきとは生活できないという不安＞



＜現在の住まい（自宅および地域）で、高齢者が生活することへの総合的な不安＞



100% 80% 60% 40% 20% 0%

□ まったく不安を感じない □ あまり不安を感じない
■ やや不安を感じる ■ 大いに不安を感じる

0% 20% 40% 60% 80% 100%

□ まったく不安を感じない □ あまり不安を感じない
■ やや不安を感じる ■ 大いに不安を感じる

図 2-13 「高齢者」に限定した場合の不安度 × 高齢者と同居中、介護経験あり

3) 危険-安全度

居住地域や自宅がどのくらい安全または危険だと思うかを聞いた。(個別は17項目、両側5段階、Q9 / 3項目はQ1)。

不安度の場合は片側4段階、今回は両側5段階であり、その違いはあるものの、不安度のランキングと大まかには同じ傾向であった。たとえば、以下の点があげられる。

- ◆ いずれの項目でも「どちらともいえない」が多く、「安全」「危険」の両極は少数派。
- ◆ 「風水害」「地盤災害」に「安全」側が多いという傾向。

不安度の傾向と異なるのは、主に以下の点である。

- ◆ 「車上ねらい等」「夜道」が地震や交通事故を抑えてもっとも危険だと考えられていること。主観的にそれほど不安ではないが、客観的には危険という判断と思われる(→2-21参照)。
- ◆ 地震関係。もともとワーディングも異なるので、その影響も考えられる。(p.5参照)
- ◆ 火災関係と災害避難。不安ではあるが、頻度は低いと思われ、危険度が低くなっているのでは。

なお、「頼りになる(不安度では「近隣扶助」)」「救急医療」「近所づきあい良好(不安度では「近隣トラブル」)」は、危険-安全度(Q9)ではなく客観評価(Q1)なので、元々参考程度である(p.4参照)。不安度と傾向が違うのは、おそらくはこの関係であろう。

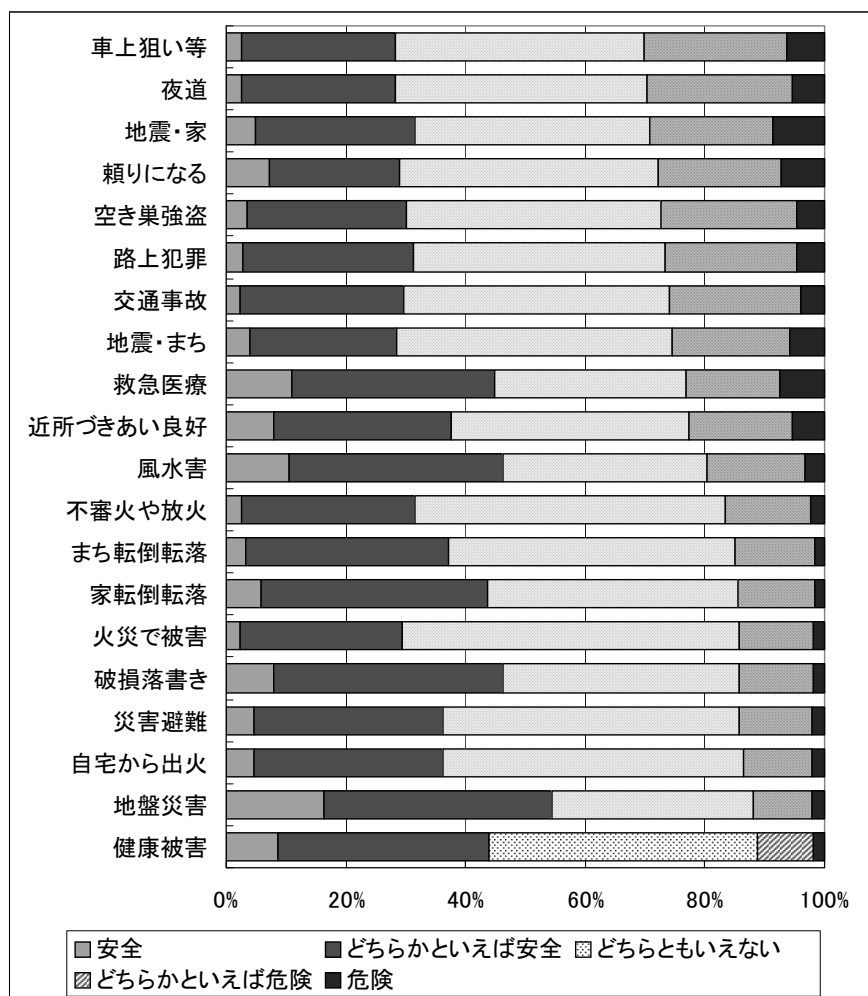


図2-14 安全-危険度 (Q9、一部はQ1)

不安度と同様、一部の項目を「小学生以下の子ども」「高齢者」に限定して聞いた (Q10)。

結果も不安度と同様に、限定することによって安全-危険度が高くなる傾向が見られた。しかしその様相は異なっており、限定することによって危険側が多くなるのは、「子ども」よりむしろ「高齢者」という結果であった。

- ◆ 「高齢者」に限定しても、不安度で不安の度合いが高くなる項目は「転倒転落」のみだったが、安全-危険度では「高齢者への犯罪」を除き、ほぼ危険側の認識が大きくなっている。
- ◆ 「子ども」に限定すると、不安度では全項目で不安の度合いが高くなったが、安全-危険度で、危険側が多くなる項目は「交通事故」だけである。
- ◆ 不安度でもっとも顕著だったのは「子どもへの犯罪」だが、安全-危険度ではまるでその傾向がない。また、全項目のうち、一番危険側の認識が高くなったのは「子ども」「高齢者」ともに「交通事故」だが、

これも不安度とは異なる結果である。

なお、子どもや高齢者と同居しているか否か等、関連する属性による安全-危険度の違いは、不安度同様に見られた。

- ◆ 不安度同様、現在、子どもと同居している人および子育て経験がある人は、地域に関する項目全てで危険側が多かった。ただし、自宅の転倒転落と総合判断 (子ども家総合) は、安全側が有意に多かった。
- ◆ 現在、65歳以上 (図中の高齢者) と同居している人では、「転倒転落」を除く全ての項目で、むしろ安全側の認識が多かった。しかし、介護経験がある人 (介護中を含む) ではまったく逆で、全ての項目で危険側が多いという結果である。
- ◆ 「高齢者」と年齢で一括りにするよりも、「介護が必要」等の属性で括った方が、分かりやすい結果となるようだ。

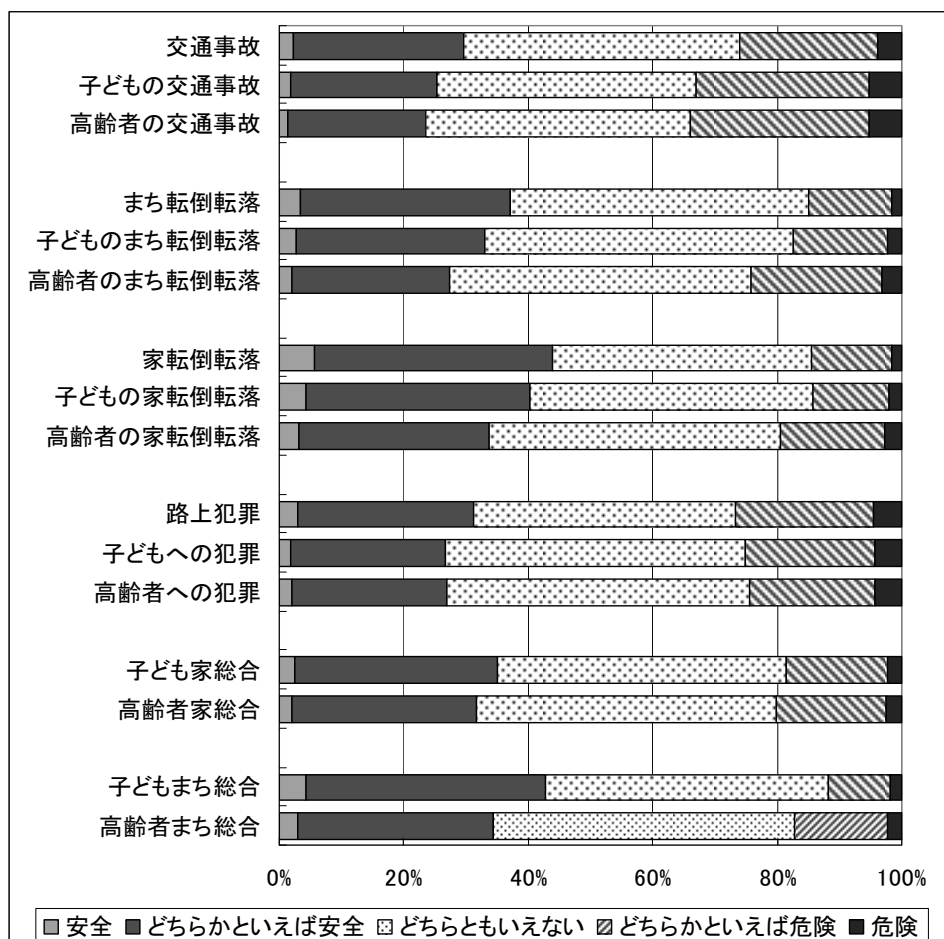


図 2-15 「子ども」「高齢者」に限定した場合の安全-危険度 (Q10)

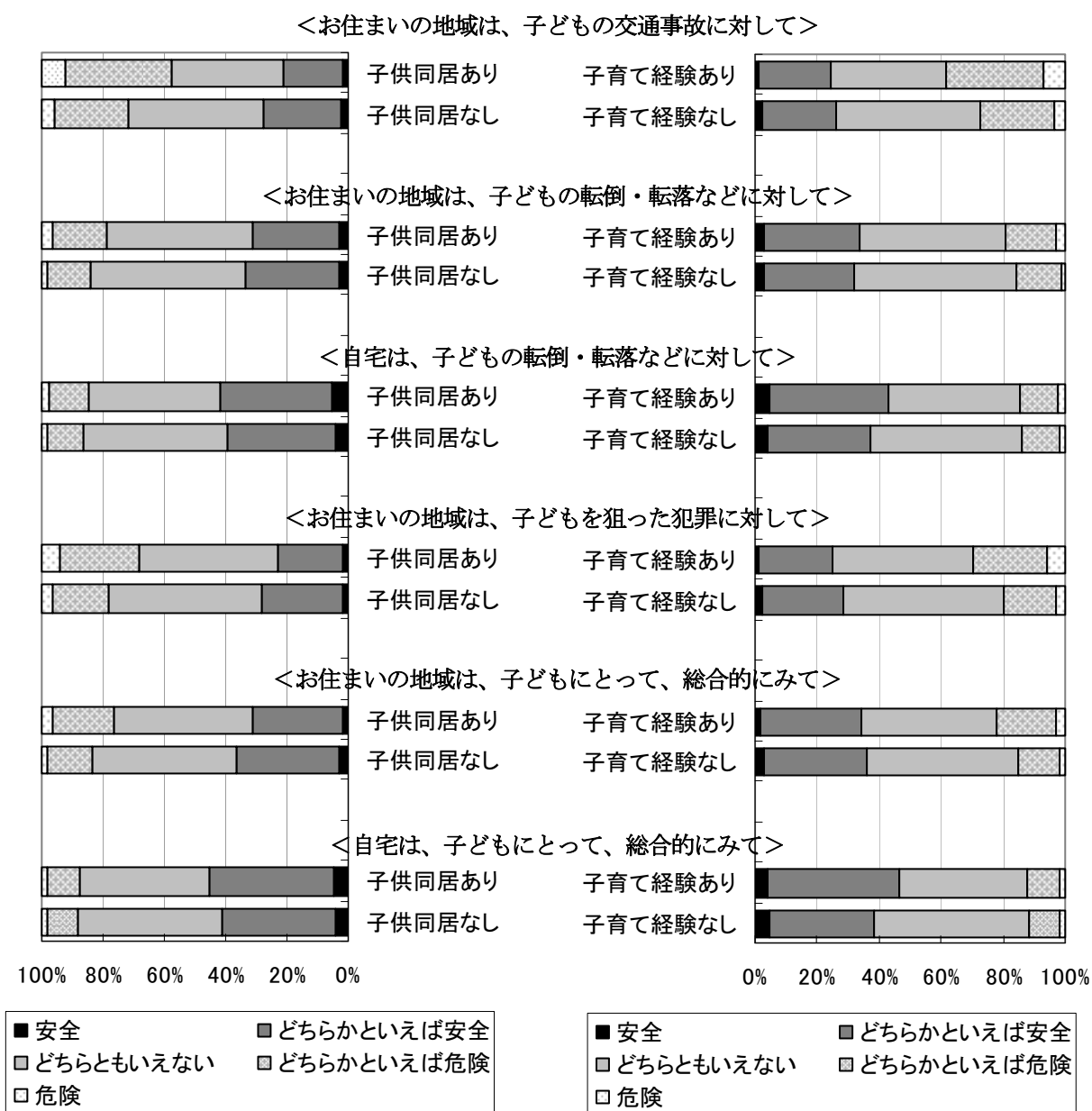


図2-16 「子ども」に限定した場合の安全-危険度 × 子供と同居中、子育て経験あり

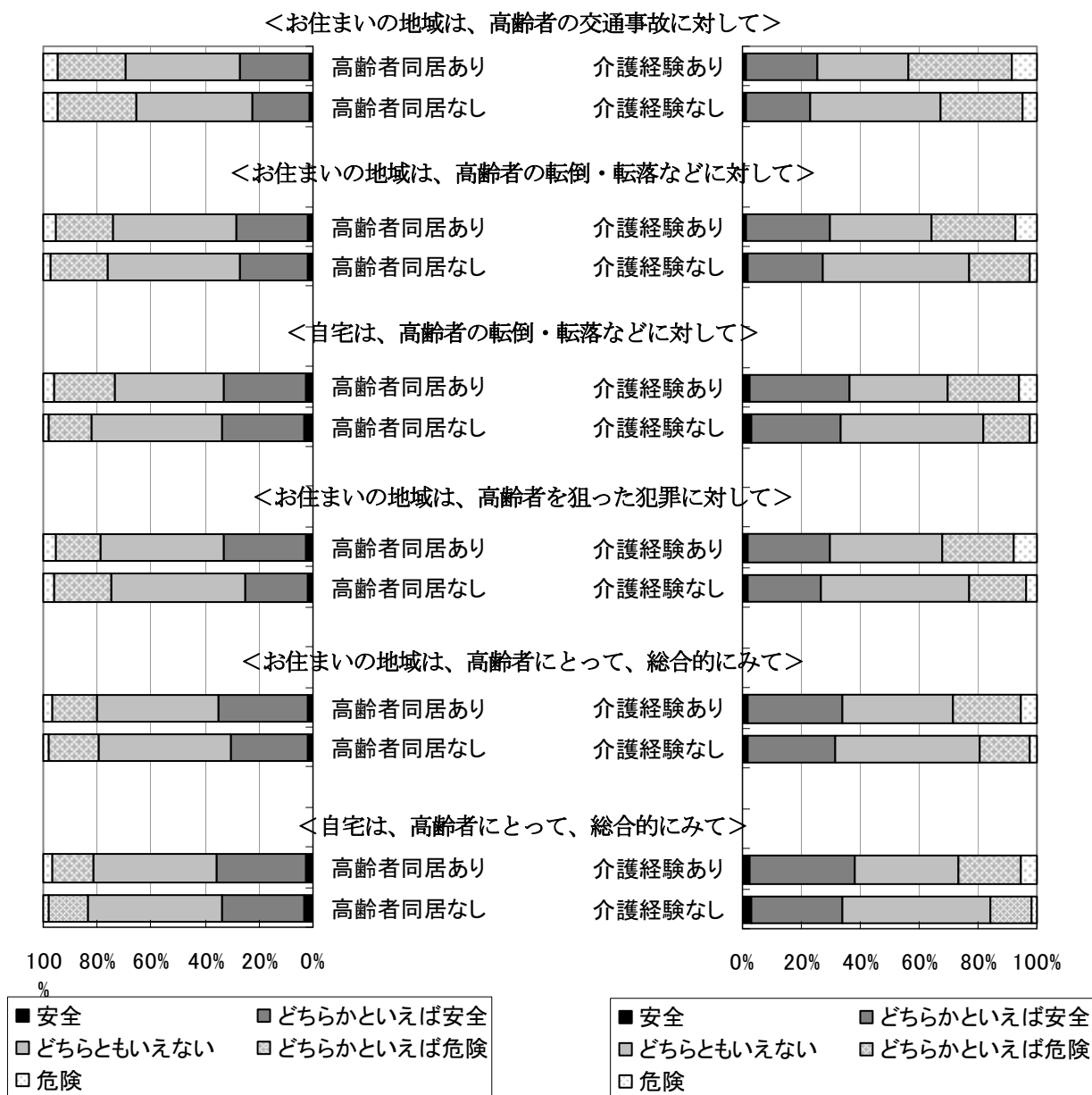


図2-17 「高齢者」に限定した場合の安全-危険度 × 高齢者と同居中、介護経験あり

4) 総合評価

居住地域と住居の各々について、「安全である」「安心できる」を含むさまざまな面に関する総合評価（両側5段階）を調べた（Q1,Q2の一部）。また、総合不満足度、総合魅力度、総合関心度、総合不安度についても各4段階で聞いた（Q3～Q6）。

単純集計を比較すると、居住地域より住居で、「くつろぎ」や「生活観」など、「主観度」の高い尺度が項目で「そう思う」度が高くなっているようである。

安全と安心は、当然のことながら、各々非常に相関が高い。

安全と安心は、当然のことながら、各々非常に相関が高い。

総合不安度と総合不満足度も顕著に相関が高い。この2つと安全、安心の4者間の相関も非常に高い。もちろん、その他の総合評価間の相関も高い。

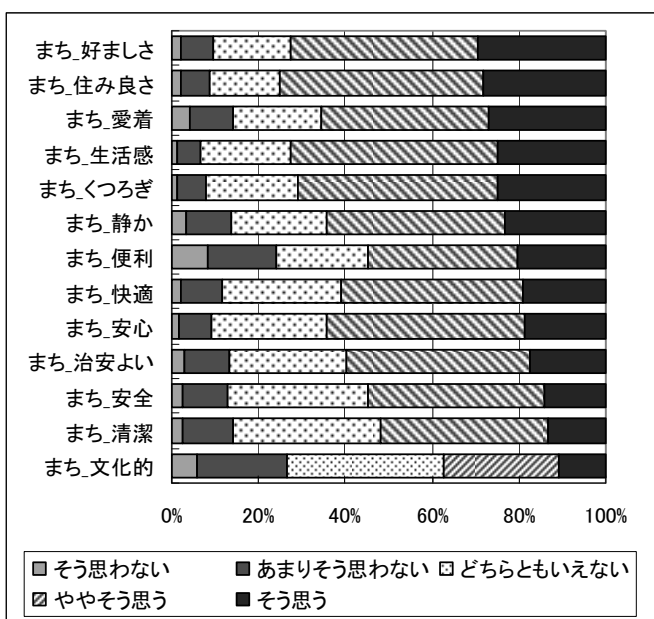


図 2-18 居住地域の総合評価

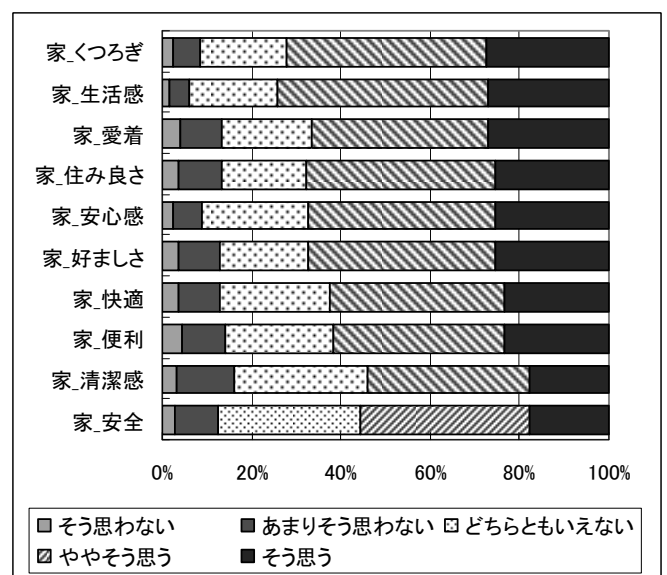


図 2-19 住居の総合評価

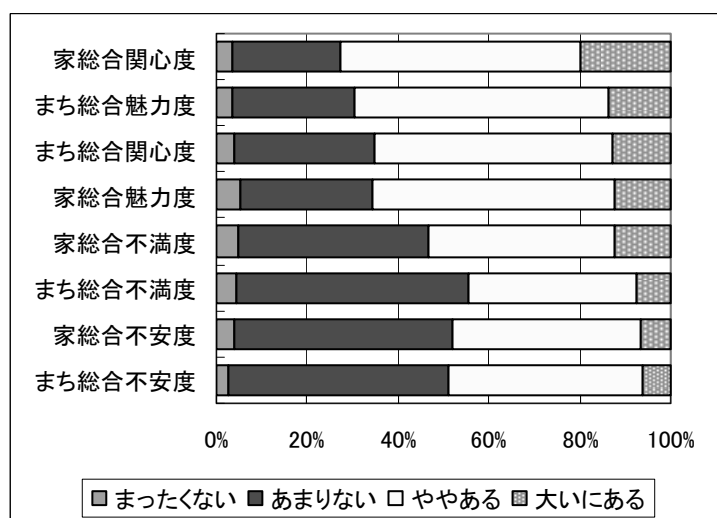


図 2-20 居住地域と自宅に関する総合評価 : 「関心度」「魅力度」「不満足度」「不安度」

2-1-3. 「意見・態度・行動」

1) 参加意向・参加経験

安全、安心に関わる活動を含む、さまざまな地域活動への参加意向（Q20）と参加経験（Q18）を聞いた。

意向・経験率ともに高いのは「地域行事」だが、これはいわば当然である。この項目を除くと、もっとも

高いのは「清掃活動」、もっとも低いのは「バリアフリー点検活動」などになる。その活動の一般性、普及率などが影響していると考えられる。

なお、参加意向が高い人はほぼ全てに関して意向が高く、実際に参加した経験がある率が高かった。当然ながら、同じ項目の参加意向と参加経験は顕著に相関が高い。図2-22にその一例を示す。

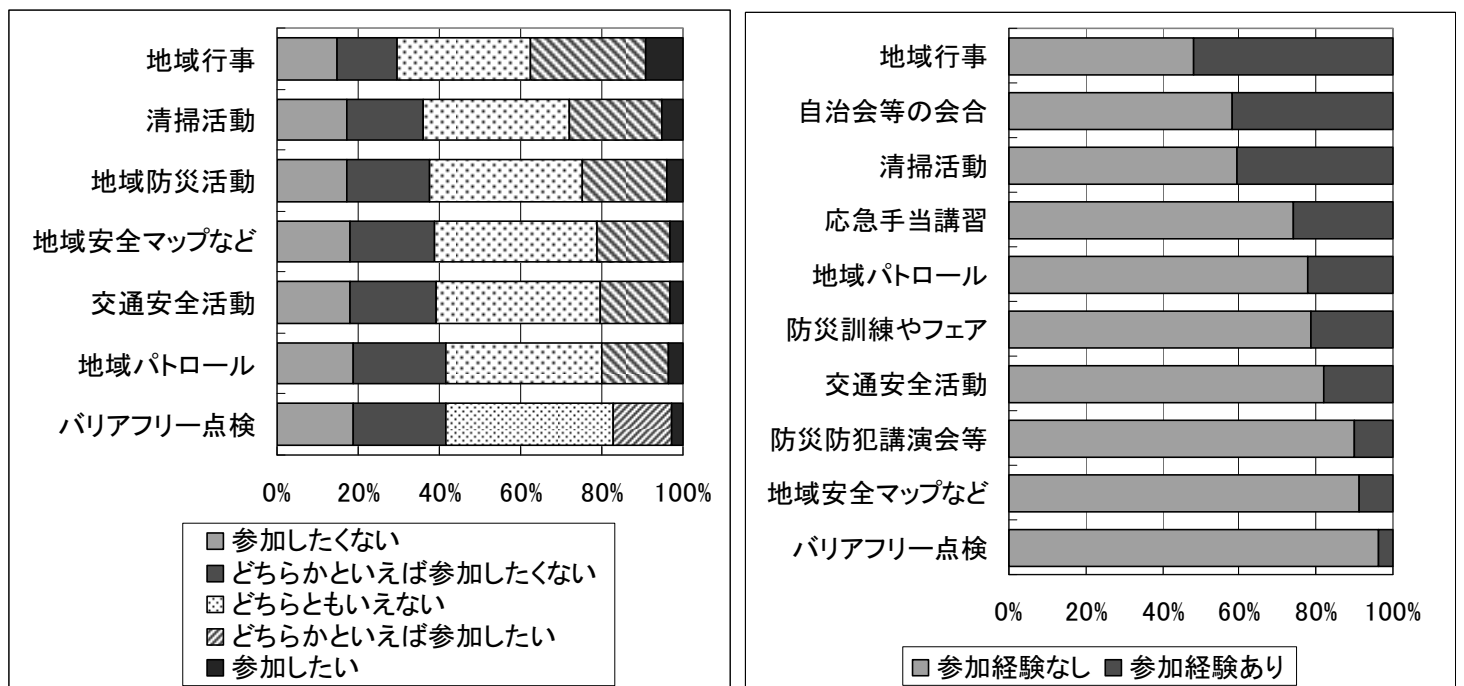


図2-21 地域活動

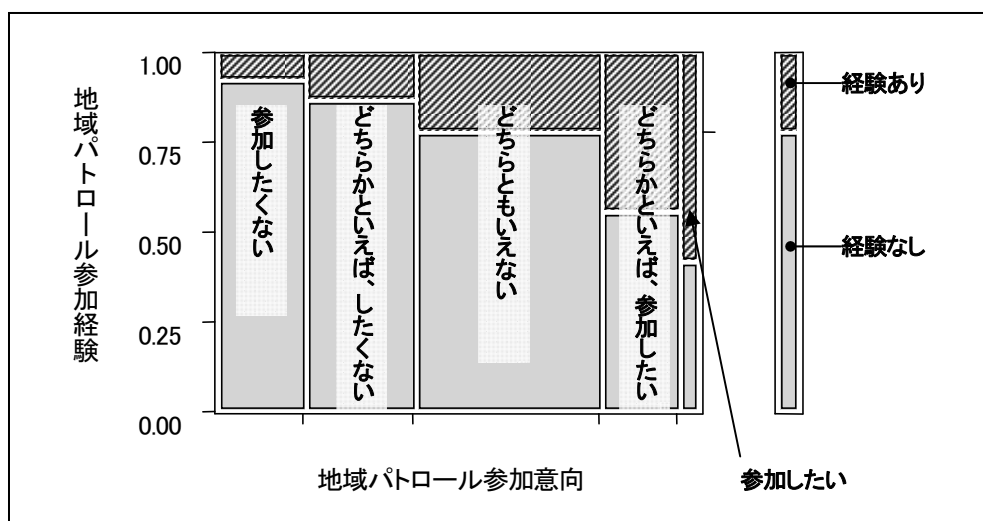


図2-22 参加意向と参加経験との関連：「地域パトロール」の例

既往の調査研究結果*と同様に、不安度が高い人で、参加意向が高い人は少数である。地域に対する評価が高く、むしろ安心・安全だと思っていて、関心度が高い人が、参加意向が高く、経験も高い。

* 若林直子ほか：「住民の防災意識に関する研究」日本建築学会大会梗概集 D-1 分冊，1997,1998,2000
 * 若林直子・小島隆矢「住民意識調査による防災意識の構造に関する研究」日本行動計量学会第 29 回大会発表論文抄録集，2001

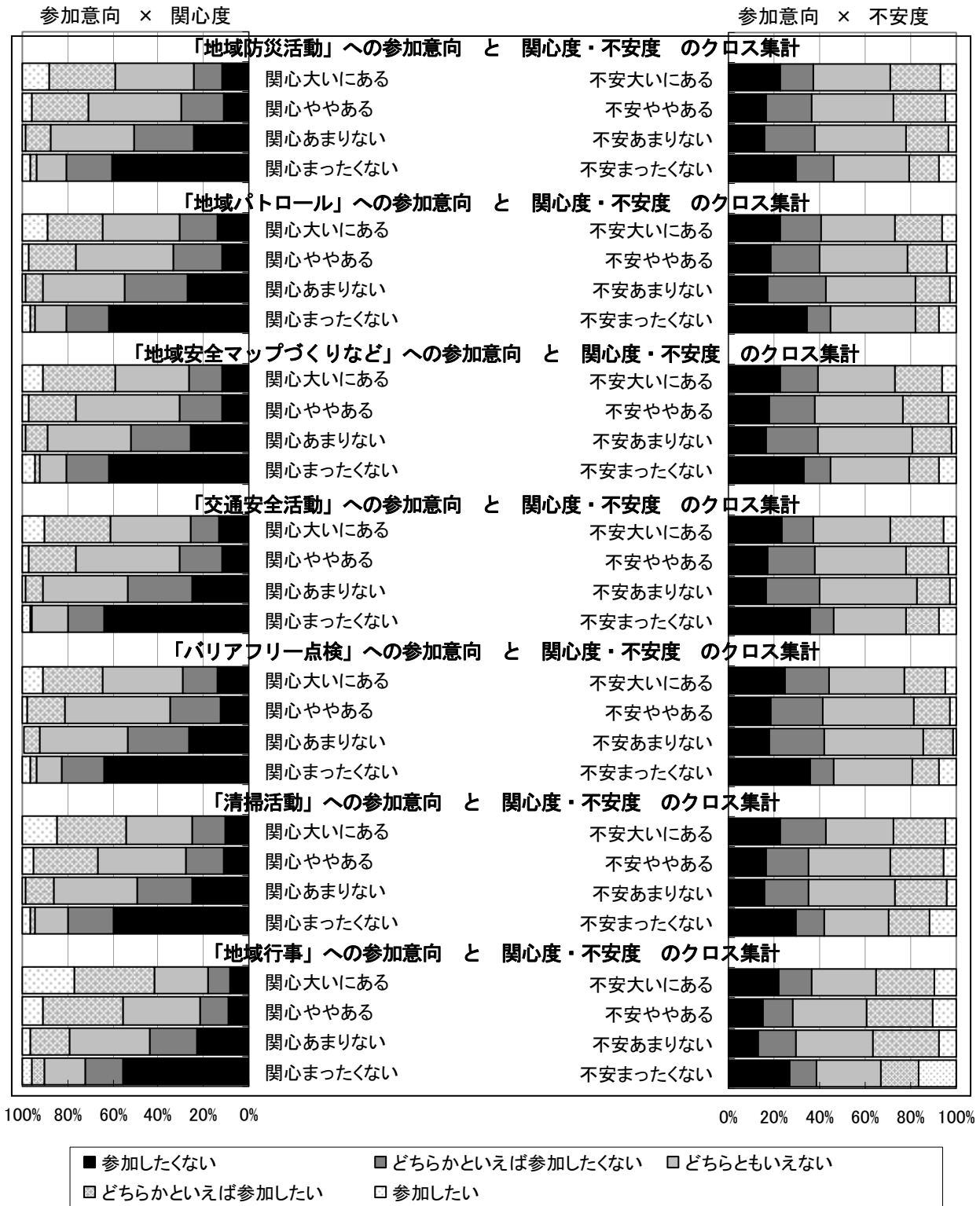


図 2-23 「参加意向」と「関心度」および「不安度」との関連

2) 交通安全や防犯への取組みに対する意見

交通安全や防犯への取組みについて、「効果があると思うか」などの意見を聞いた (Q20)。

各項目間の相関は高い。

たとえば、「子どもを見守る活動はよい」とする人は、「子どもは道路で遊ばせない」「ハンブなどの設置はよい」としている。また、「防犯カメラに効果がある」とする人は、オートロックにも、地域パトロールにも効果があるとする傾向がある。

他の設問と同様に、属性による差もある。子どもと同居している人では、当然、子ども関連の項目、ハンブなどの設置で「そう思う」率が高い。興味深いのは、子どもと同居している人は、子ども関連だけではなく、防犯カメラ等の効果、参加意向等、全てで「そう思う」率が若干高かったことである。

なお、防犯カメラ、オートロックは集合住宅の対策だが、集合住宅だと「効果あり」が増えるといった関連はなかった。

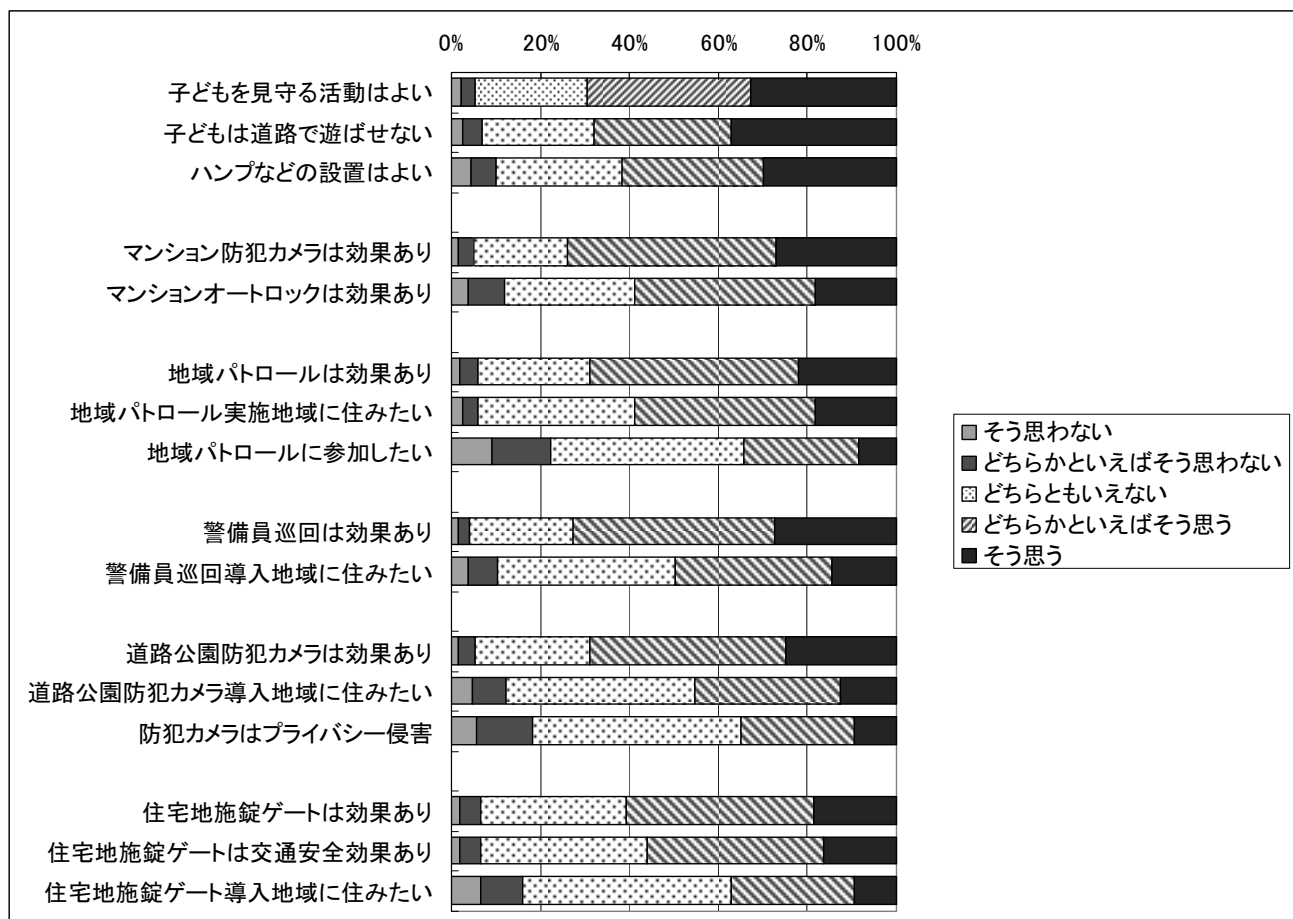


図 2-24 交通安全や防犯への取組みに対する意見 (Q20)

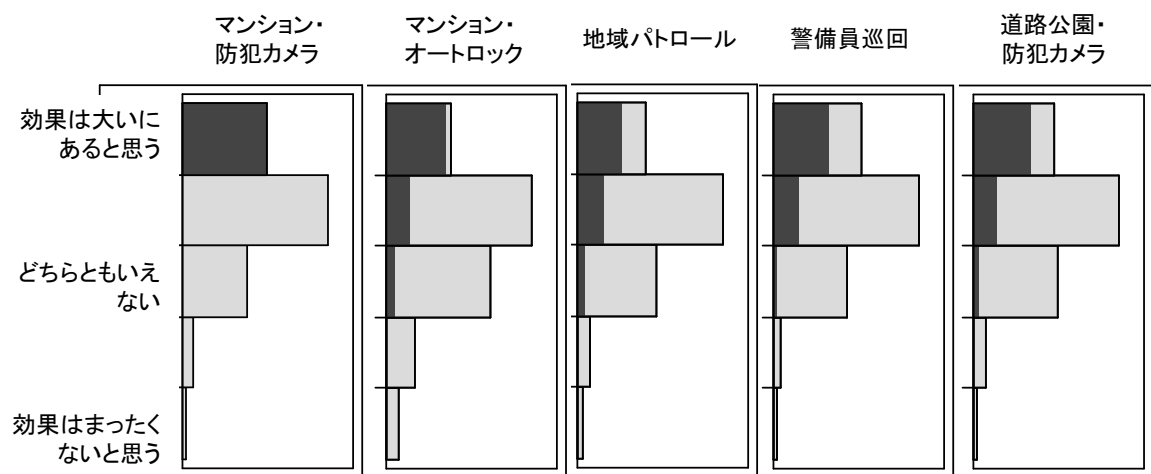


図2-25 各取組みの効果に対する意見
(濃い色は、マンションの防犯カメラは「大いに効果あり」とした人)

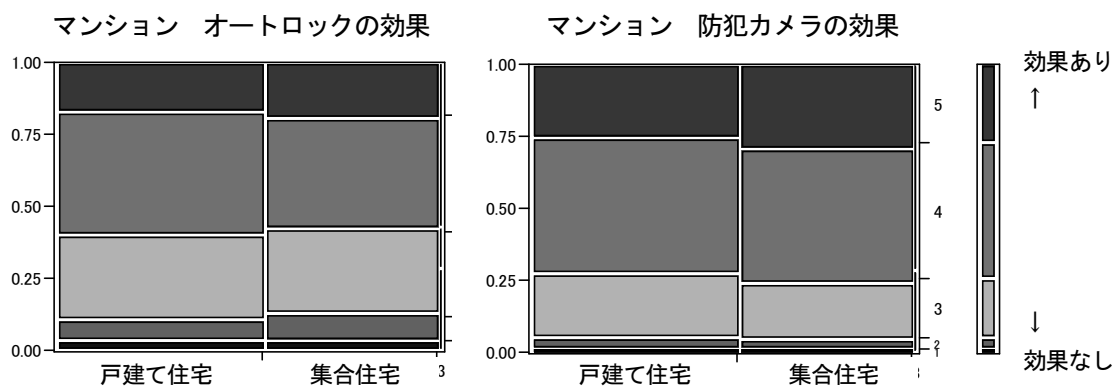


図2-26 住居形態別のオートロック・防犯カメラに関する意見

3) 防犯まちづくりに関する意見

雨宮らのまとめた「日本における防犯まちづくりへの批判論」の各論点*を質問項目にし、「そう思う」から「そう思わない」までの5段階で聞いた (Q22)。

*雨宮護・横張真・渡辺貴史「日本における防犯まちづくりへの批判論の構造：1998年以降に現れた言説を対象に」都市計画報告集, 4・4, pp.124-131, 2006

賛成する人(防犯まちづくりを批判する人)が4割程度と少なくなかったのは、以下の項目である。

- ◆「防犯への市民の自己責任を強調され、富裕層しか防犯対策をできず、安全の格差が拡大する」 賛成側：40.2%
- ◆「ある地域で対策を講じても、犯罪が転移するだけで、犯罪の総数は減らない」 賛成側：37.4%

賛成する人が2割にも満たなかったのは以下である。

- ◆「防犯まちづくりは、快適性やプライバシーなどを損ない、全体として良い住環境を作ることにつながらない」 賛成側：18.1%

- ◆「防犯まちづくりは、特定の価値観に偏った、排他的な社会を生む」 賛成側：19.6%
- ◆「防犯まちづくりは、隔絶された住環境の形成を促し、外部との接触が分断される」 賛成側：19.9%

ただし、全般的にどの論点でも「どちらともいえない」が多い。とくに、以下の2つで顕著であり、反対側の意見が少ない(否定しにくい意見といえる)。

- ◆「防犯効果について根拠があいまいな対策が行われている」 中間：57.9%
- ◆「防犯まちづくりは対症療法であり、貧困・差別の解消、福祉の充実等の社会構造の改善のほうが重要だ」 中間：56.3%

このようななかでは「対策しても犯罪総数は減らない」では、比較的「どちらともいえない」が少なく、白黒はっきりしているといえる。

なお、フェイス項目と顕著な相関がある項目は見当たらなかった。

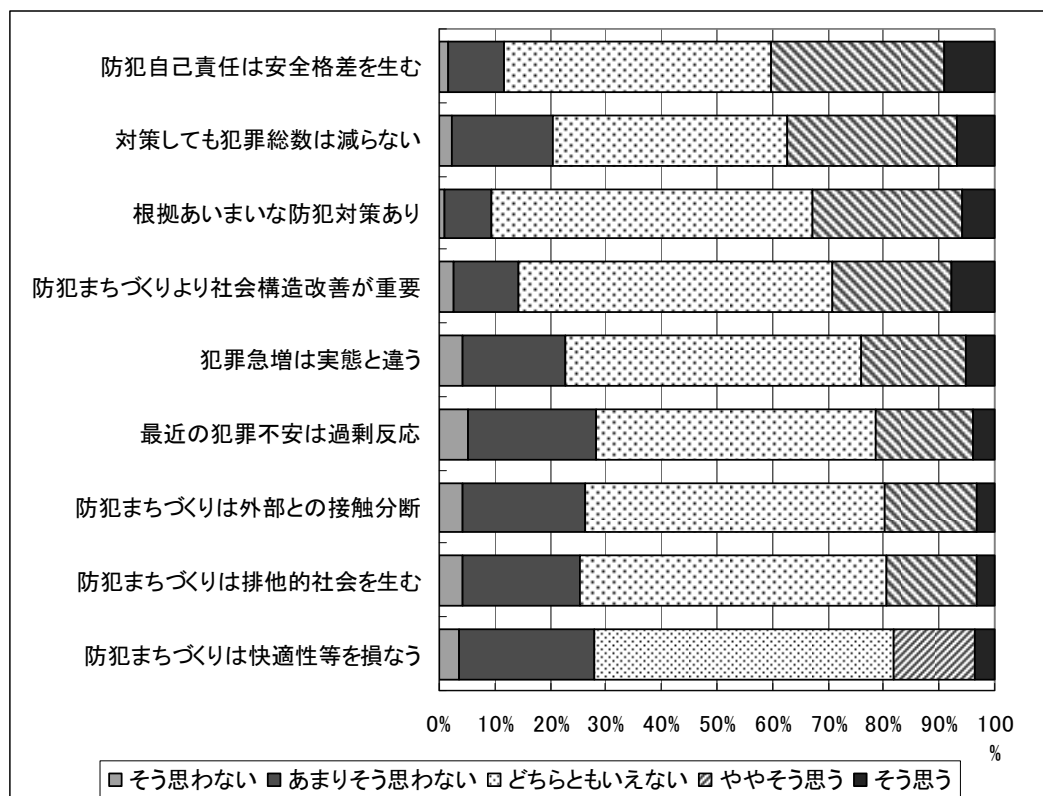


図2-27 交通安全や防犯への取組みに対する意見 (Q20)

4) 対策

安全に関する経験や知識の有無 (Q18)、日ごろの安全対策の実行の有無 (Q19) を聞いた。

最寄の交番の場所、災害時の避難所・避難場所に関しては、7割前後が「知っている」と回答しており、認知率が高いといえる。ただし、その知識が正確かはこのアンケートだけでは判断できない。とくに災害時の避難所・避難場所については誤答率も高いので、注意が必要である。

全般的に、既往の調査結果と比較して、安全に関する対策実行率は決して高いとはいえない結果である。

たとえば、近所との話し合いを伴う対策や、まだ一般的でない活動（地域安全チェック・マップづくり、地域バリアフリー点検など）の経験者は1割前後と非常に少ない。

家族で行う防災防犯対策の実行率（1人暮らしを除く 2,434 人が回答）も、高いとはいえない。話し合ったことがある人は過半数だが、災害時の家族での連絡方法や集合場所を決めた人は約3割と少ない。

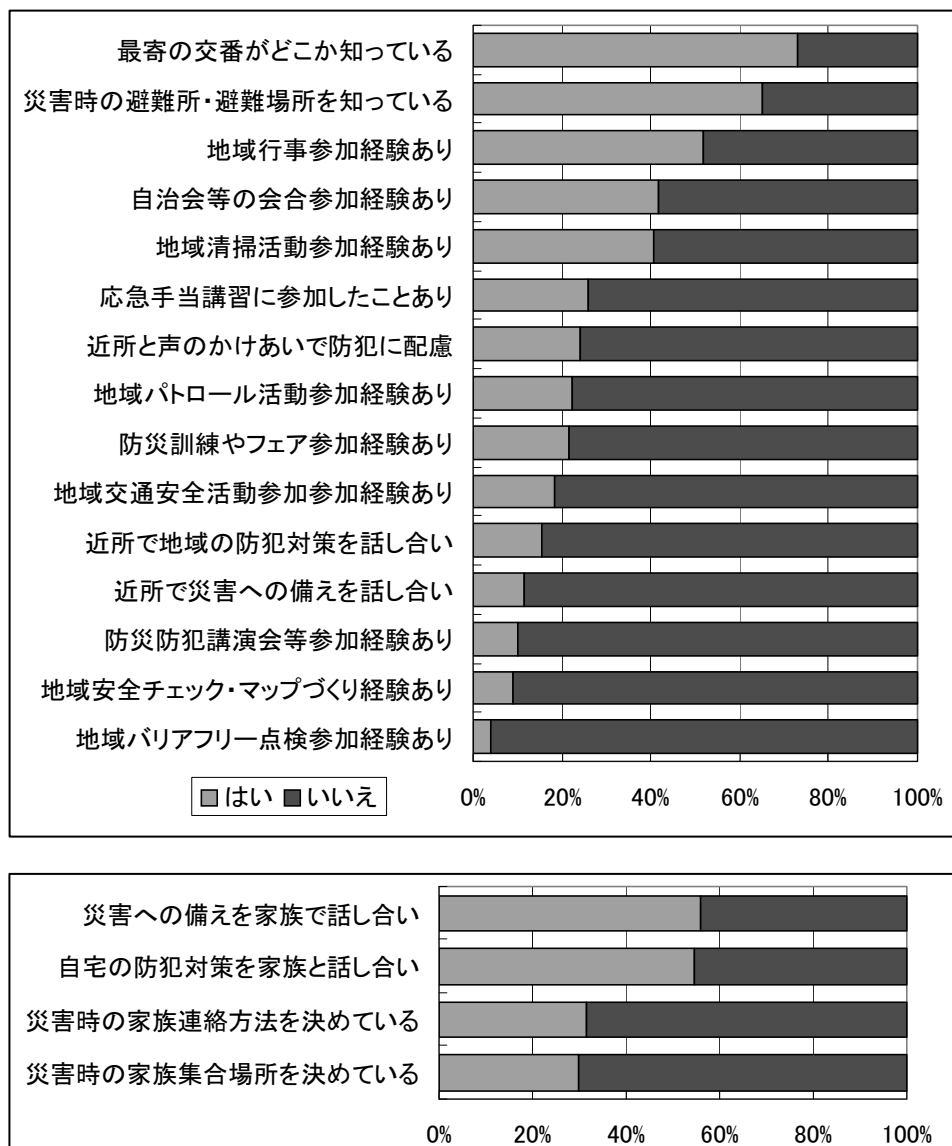


図 2-28 安全に関する経験、知識 (Q18)

日ごろの安全対策実行率も、過半数を超える人が実行している対策はわずかであった。

なお、対策実行率が高い人は、地域や自宅に愛着や関心があり、地域に対して安心、安全等、肯定的な評価をしている人が多いという傾向があった。

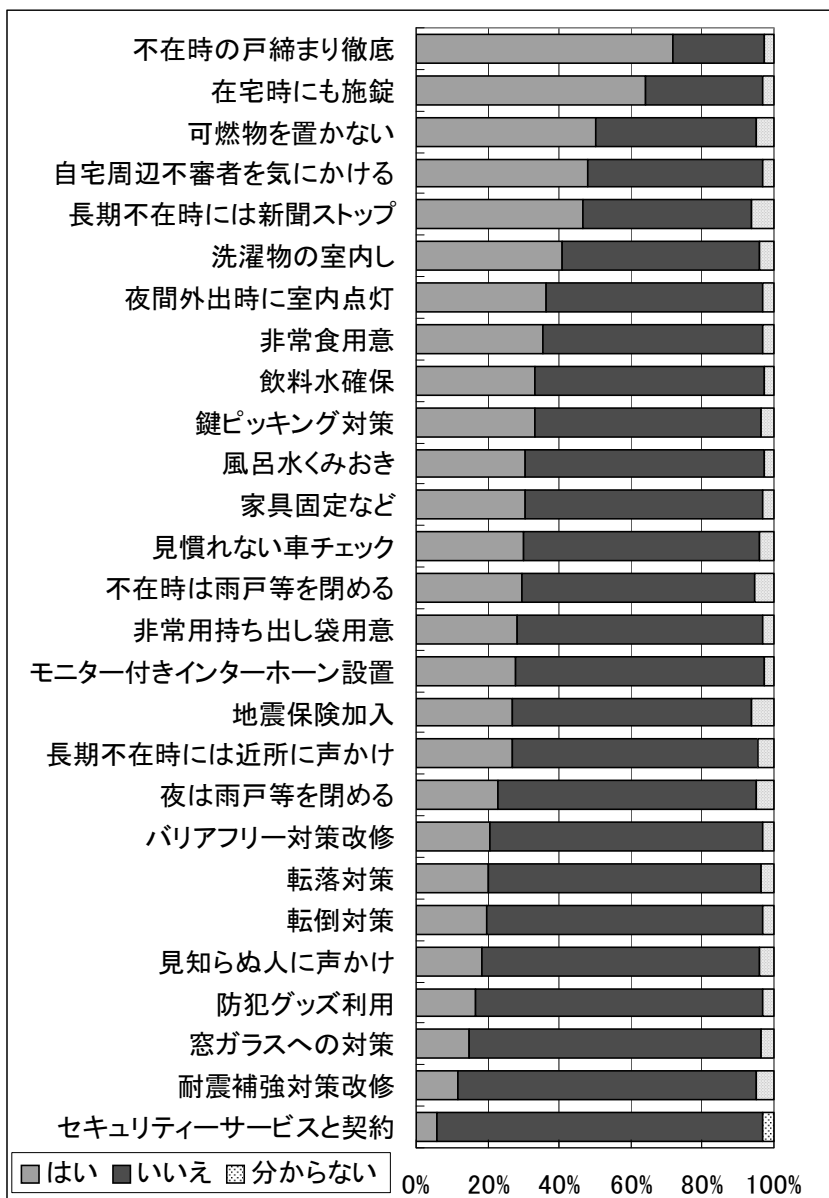


図2-29 日ごろの安全対策 (Q19)

2-2. 「不安」「安心」「安全-危険」の違いに関する検討

2-2-1. 「不安度」と「安全-危険度」

1) 「不安」は主観、「安全-危険」は客観評価

「不安度」と「安全-危険度」の違いは、「車上ねらい等（自家用車やオートバイを狙った犯罪、自動車盗・車上ねらいなど）」の不安度と安全-危険度の差に端的に現れている。

自家用車もオートバイもない人（11.7%、294人）は、ある人に比べて不安度は有意に低いですが、安全-危険度はまったく変わらないのである。さらに自転車も所有していない人（83人）の不安度はさらに若干低いですが、安全-危険度評価はやはり変わらない。持っていないので被害の不安はないとしながらも、「地域は客観的に危険」とした人が少なくないと解釈できる。

また、現在所有している人の方が、その被害に遭った経験があり、最近「車上ねらいなど」が多いと感じているという傾向もみえる。

しかし、車もバイクも自転車さえもなくとも「不安」を感じている人が半数近くもいる。「客観評価と主観評価の違い」と言い切るほど、話は単純ではなさそうである。

たとえば、すでにみてきたように、「小学生以下の子ども」に限定すると個別の「不安度」は高くなるが、個別の「危険度」および総合不安度等はほぼ変わらない。この傾向は、子育て経験者（進行形を含む）で顕著である。しかし、「65歳以上の高齢者」に限定しても「転倒転落」以外の不安度は変わらない。一方で危険度は高くなる傾向がある。

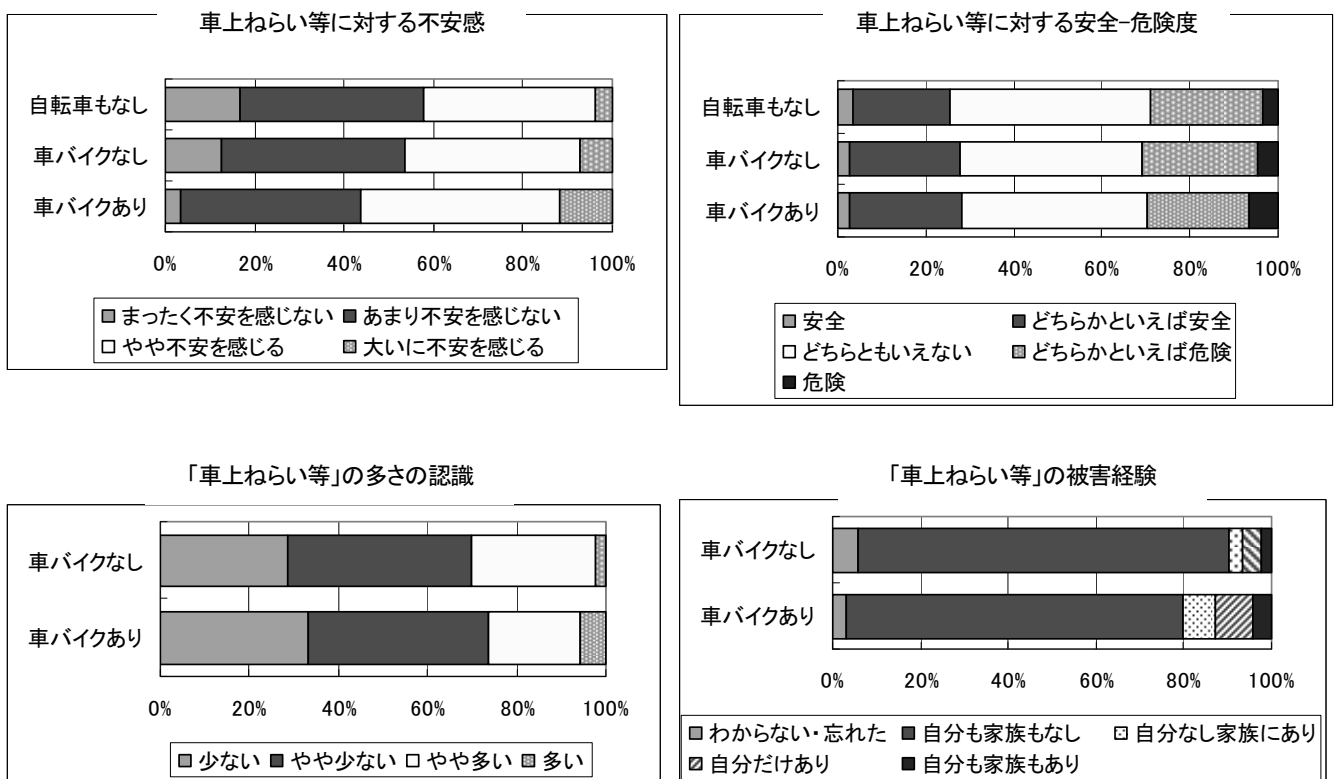


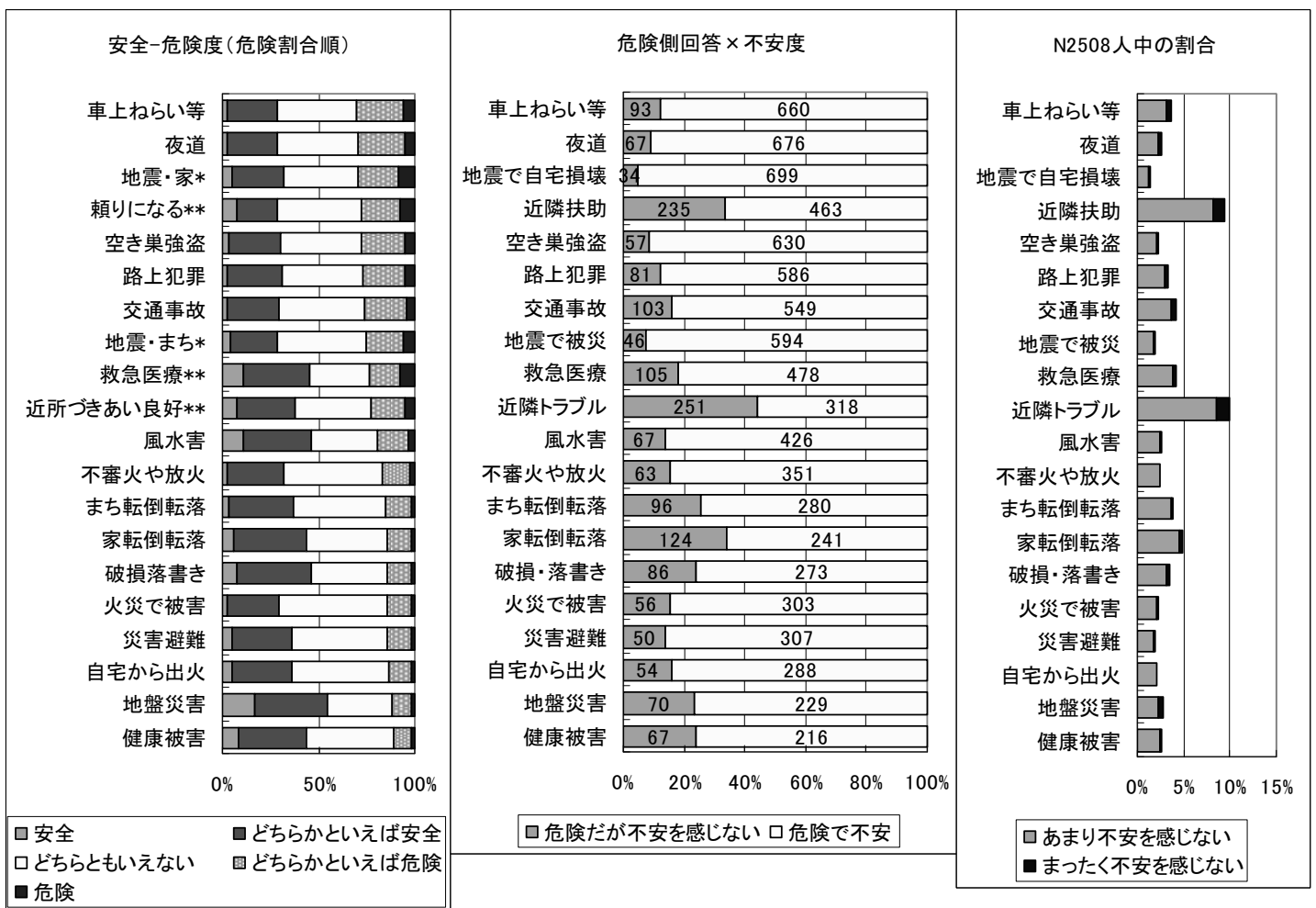
図2-30 「車上ねらい等」に対する不安感、安全-危険度、多さの認識、被害経験

2) 「危険」なのに「不安を感じない」、 「安全」なのに「不安」

項目によって、不安度と安全-危険度の割合は異なるのかをみるために、「危険」なのに「不安を感じない」（危険側回答×不安度）、および、「安全」なのに「不安を感じる」（安全側回答×不安度）のグラフを作成した（図2-31、32）。

「危険」なのに「不安を感じない」のは、近隣トラブル（近所づきあいが良好ではないが、近隣トラブルの不安は感じない）、近隣扶助（いざというとき頼りになる人が多い地域ではないが、助け合える人が近所にいないという不安は感じない）、自宅内の転倒転落、車上ねらい等が多い。

そういう可能性は客観的にはある、そういう環境ではあるが自分には関係がない、または、そうなったところでそれほど深刻ではない、と思える項目と考えられる。



* : 「不安度」とはワーディングを若干変えた項目
 ** : 「不安度」とは設問自体を変えた項目 (p. 4 参照)

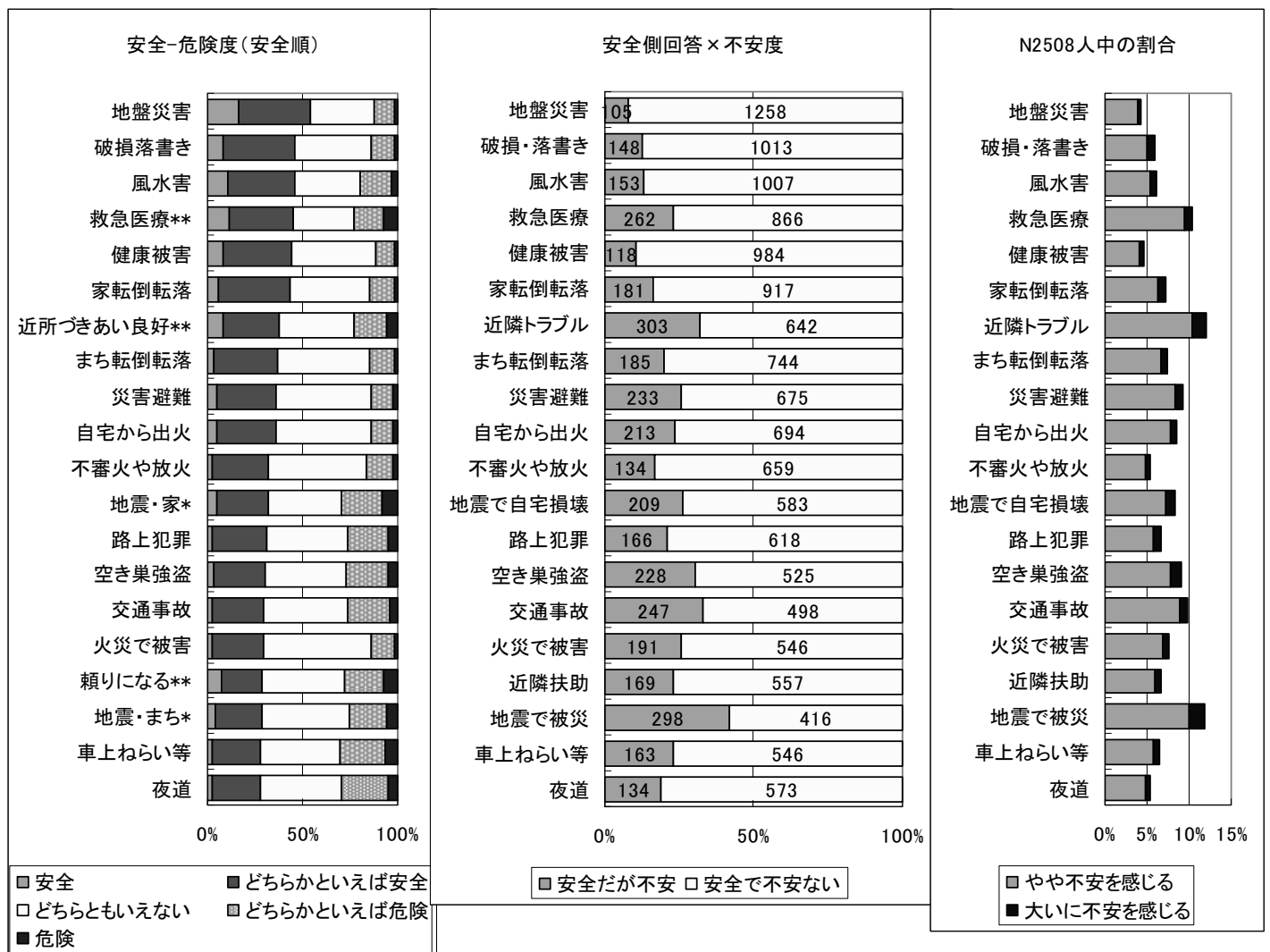
図2-31 項目別、「危険」なのに「不安を感じない」割合（危険側回答×不安度）

「安全」なのに「不安を感じる」のは、救急医療（急病やケガ、夜間の診療に対応する病院や体制が整っているが、いざというときの不安はある）、近隣トラブル（近所づきあいが良好な地域だが、近所づきあいなどで不快なトラブルにまきこまれることへの不安はある）、地震で被災（地震に対し安全な地域ではあるが、大きな地震で被災することへの不安はある）、交通事故等が多い。

そうなる可能性は客観的には（環境的には）低いものの、可能性はゼロではないし、そうなった場合の深刻度、または心理的ダメージが大きい、と思える項目と考えられる。

「近隣トラブル」については、「危険」なのに「不安を感じない」人も、「安全」なのに「不安を感じる」人も多い。ワーディングの影響もあろうが、以下の両方も自然な意見とも見える。近所づきあいの実態や考え方の違いによる影響もあろう。

- ◆ 近所づきあいが良好ではないが、近隣トラブルの不安は感じない
- ◆ 近所づきあいが良好な地域だが、近所づきあいなどで不快なトラブルにまきこまれることへの不安はある



* : 「不安度」とはワーディングを若干変えた項目
 ** : 「不安度」とは設問自体を変えた項目 (p. 4 参照)

図 2-32 項目別、「安全」なのに「不安を感じる」割合 (安全側回答×不安度)

図2-33は、「子ども」「高齢者」に限定した場合の、「危険」なのに「不安を感じない」、「安全」なのに「不安」をグラフ化したものである。

これまで見てきたように、限定した場合の方がしない場合よりも不安度が高い。これを反映して、「危険」なのに「不安を感じない」割合は、限定しない場合よりもずっと少ない。

とくに「子ども」で不安感が大きい（安全でも不安等）。とくに交通事故や犯罪など、起こってしまったら取り返しがつかないことになるかもしれない項目が「安全でも不安を感じる」の上位で、転倒転落などの日常事故よりも不安感が高いようだ。

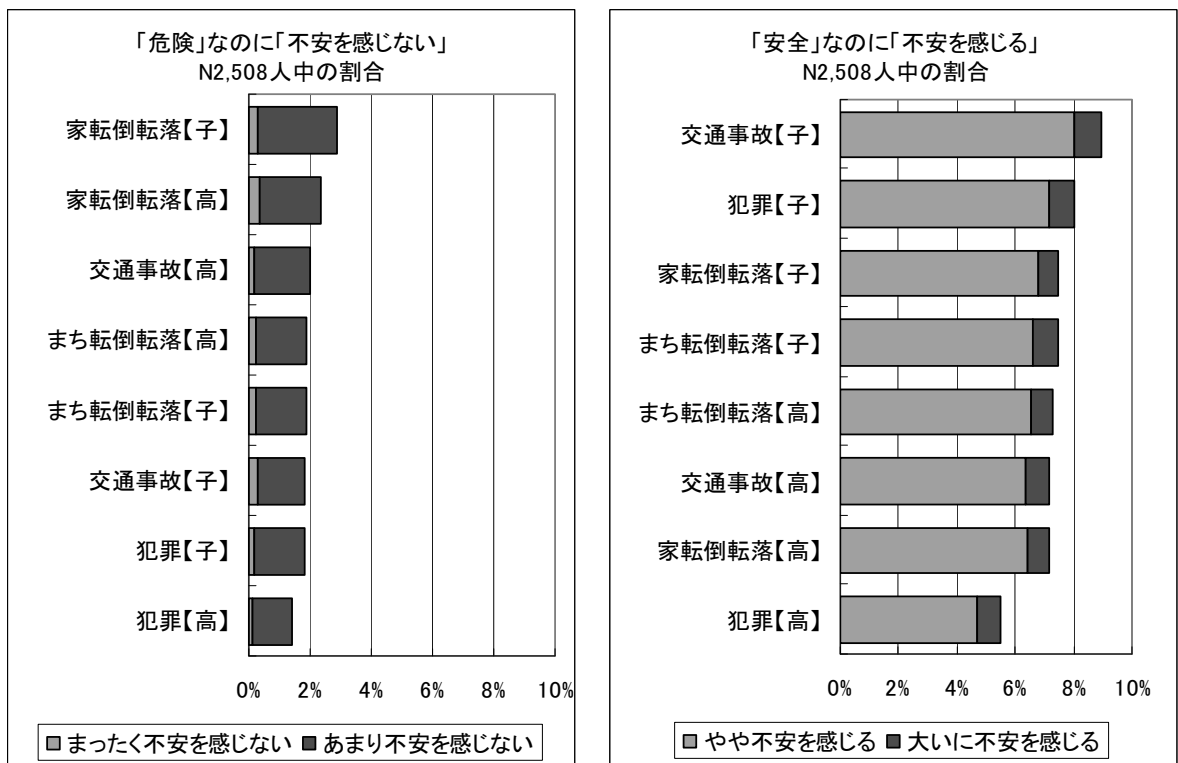


図2-33 子どもまたは高齢者に限定した場合
「危険」なのに「不安を感じない」割合（危険側回答×不安度）
「安全」なのに「不安を感じる」割合（安全側回答×不安度）

2-2-2. 「不安」「安心」「安全」に関する分析

～地域の「不安度」「安心度」「安全度」に関する対応分析結果の比較～

1) 分析方針

これまで検討してきた個別の「不安度」「危険-安全度」とは別に、居住地域および自宅に関する総合的な不安度、安心度、安全度をそれぞれ聞いている。過去の調査結果等からは以下のような違いが推測され、その検討もできるようにと、別々に調査項目に入れたという経緯である。

- ◆ 「危険」の反対は「安全」だが、「不安」の反対が「安心」というわけではない。
- ◆ 「安心」は、「安全」に比べて総合評価に近い。
- ◆ 「安全」は、衛生・快適といった価値観に近い。

該当する調査項目は、以下のとおりである。

- ◆ お住まいの地域は、安全である
→ そう思う-思わない 5段階 (Q1)
- ◆ お住まいの地域は、安心できる
→ そう思う-思わない 5段階 (Q1)
- ◆ ご自宅は、安全である
→ そう思う-思わない 5段階 (Q2)
- ◆ ご自宅は、安心できる
→ そう思う-思わない 5段階 (Q2)
- ◆ お住まいの地域には、不安が
→ 大いにある-まったくない 4段階 (Q6)
- ◆ ご自宅には、不安が
→ 大いにある-まったくない 4段階 (Q6)

分析は地域と自宅で別々に行う必要があるが、今回は地域のみで行った。

具体的には、上記の不安度、安心度、安全度の各々と、それ以外の総合評価（住みよい、愛着がある、魅力度等）と個別評価（自然に親しめる、よい人が多い、治安がよい等）の対応分析を行い、3者の結果を比較するという方法にした。

なお、分析にあたり、不安度、安心度、安全度以外の評価項目は、4段階または5段階尺度のところ、0-1の2段階に情報を圧縮した。たとえば「総合魅力度（4段階）」は「大いにある」「ややある」を1、それ以外を0に、「くつろげる（5段階）」は「そう思う」「ややそう思う」のみを1、それ以外を0にしている。

また、関連がありそうなフェイス項目も0-1データにして加えた。以下である。

- ◆ 性別、年齢（5歳階級）
- ◆ 世帯属性（単身、夫婦、親子、二世帯以上）
- ◆ 子ども同居、高齢者同居
- ◆ 居住地域タイプ（都会、田舎、郊外）
- ◆ 地域居住5年未満、自宅築年数20年以上
- ◆ 戸建て/集合、持ち家/賃貸、木造/コンクリ造

2) 「総合不安度」 × 「個別評価など」の対応分析

まず、「総合不安度（片側 4 段階）」と以下の項目とのクロス集計に基づき、対応分析を行った。

- ◆ 不安度・安心度・安全度以外の総合評価（住みよ
い、愛着がある、魅力度等）
- ◆ 個別評価（自然に親しめる、よい人が多い、治安
がよい等）
- ◆ フェイス項目（性別、年齢、世帯属性など）

分析の過程で、「総合不安度」と非常に相関が高い「総合不満」が外れ値となったので削除した。

結果の二次元布置図を図 2-34 に示す。

結果はほぼ一次元だったので（ $c1=84.3\%$ ）、各項目を見やすくするため、第一軸の対応分析スコア（C1）順に個別評価・フェイス項目等を並べ替え、地域の総合不安度とのクロス集計結果を帯グラフにして示した（図 2-35）。

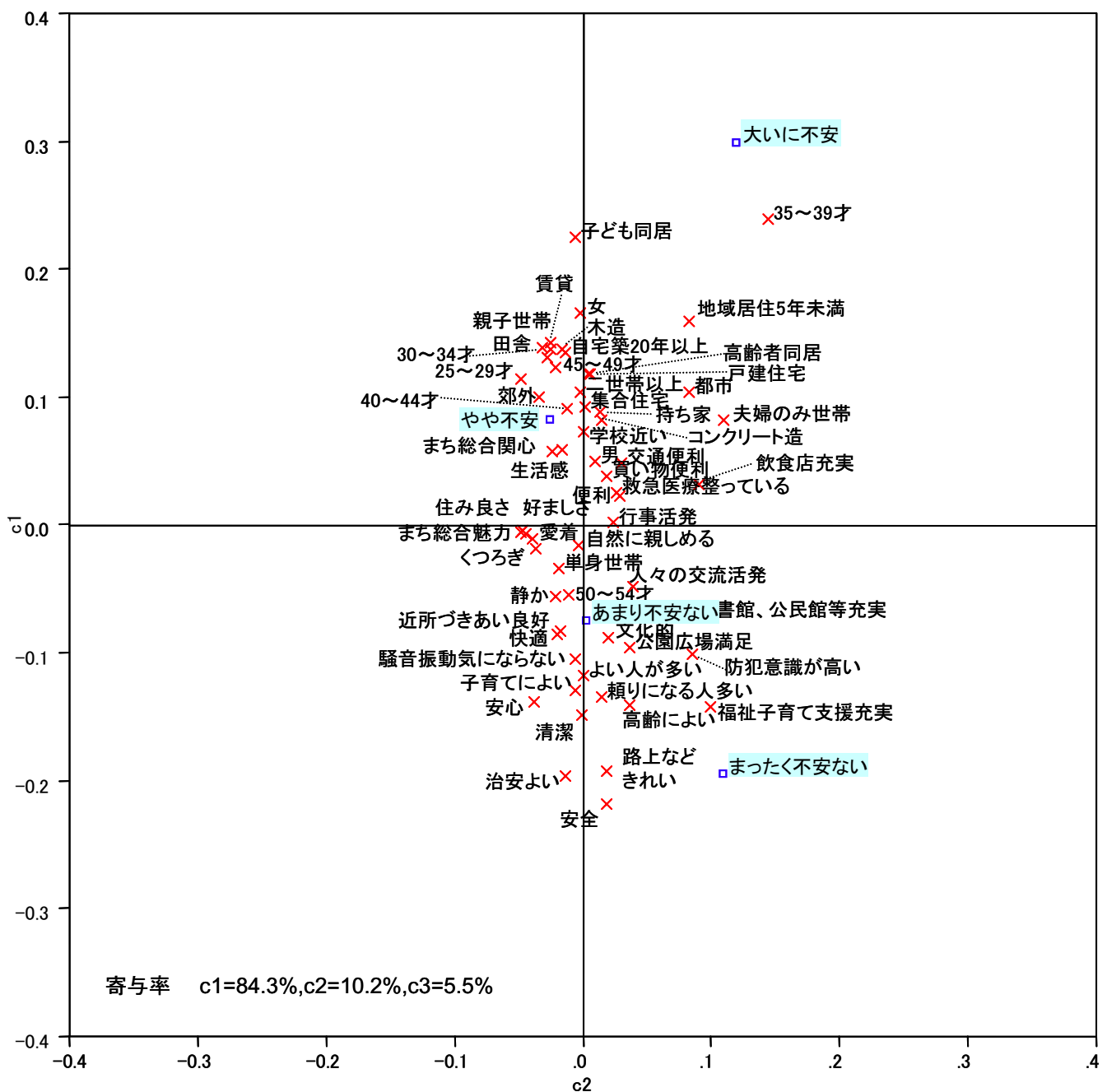


図 2-34 「総合不安度」 × 「個別評価など」の対応分析結果

大いに不安

地域 総合不安度×個別評価・フェイス項目など

やや不安

あまり不安ない

まったく不安ない

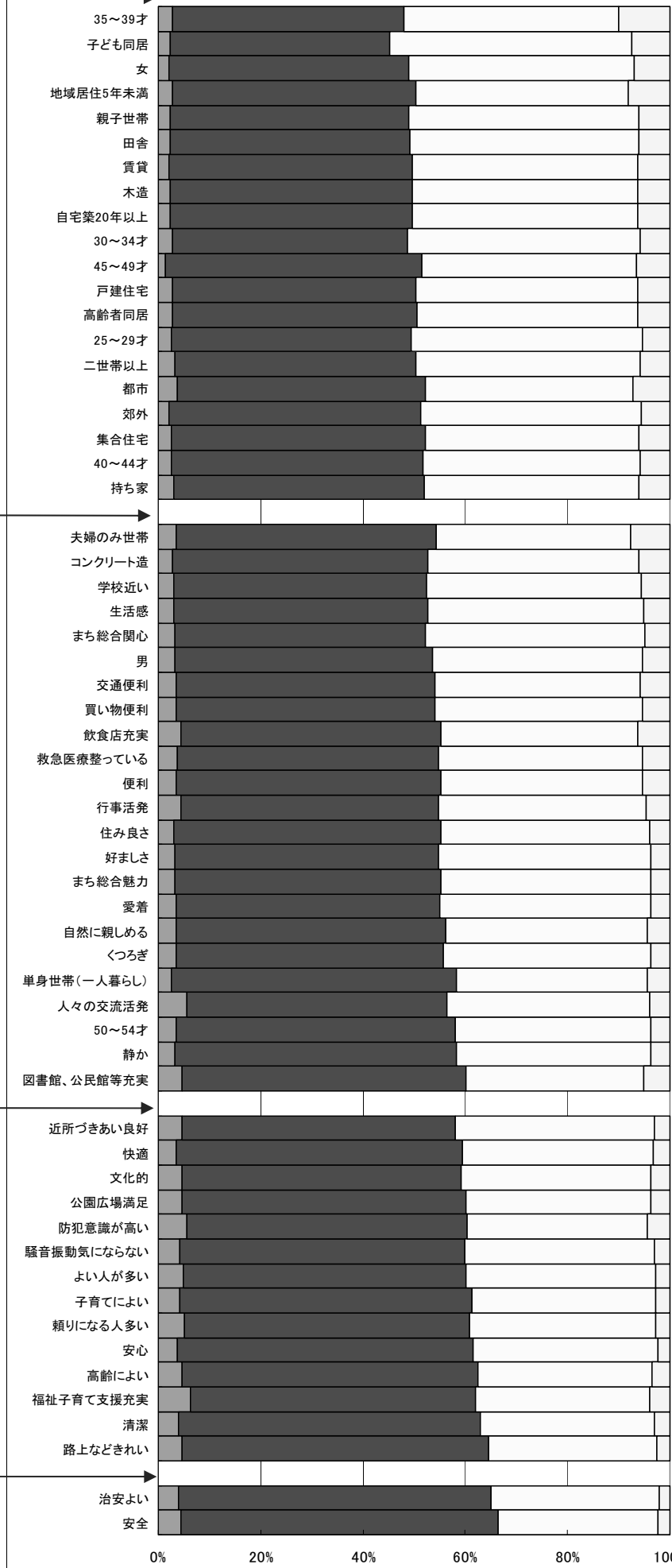


図2-35 「総合不安度」×「個別評価など」のクロス集計結果 (対応分析スコア順)

帯グラフはそれほどクリアではなかった。「大いに不安」側の項目にも「あまり不安ではない」が一定以上あり、「まったく不安がない」側にも「やや不安」が少なくない。

ただ、両極に関しては大体次のような解釈をすることができる。

- ◆ 「不安がある」のは、
 - ・とくに 30 歳代後半で、子ども同居世帯（とくに女性）。
 - ・居住年数が浅く、どちらかといえば「田舎」に住んでいることが多い。
 - ・賃貸や、木造、築年数が古い建物に住んでいることが多い。
- ◆ 「不安がない」のは、
 - ・1人暮らし、または 50 歳代。
 - ・防犯意識が高く、よい人、頼りになる人も少なくない地域と認識している。
 - ・清潔で、治安がよく、安全な地域と認識している。
- ◆ 両極に振り分けられないのは、
 - ・好ましさ、住みよさ、総合魅力度などの総合評価
 - ・利便性に関する評価

3) 地域の「総合安心度」×「個別評価など」の対応分析

地域の「総合安心度（両側5段階）」と以下の項目とのクロス集計に基づき、対応分析を行った。

- ◆ 不安度・安心度・安全度以外の総合評価（住みよ
い、愛着がある、魅力度等）
- ◆ 個別評価（自然に親しめる、よい人が多い、治安
がよい等）
- ◆ フェイス項目（性別、年齢、世帯属性など）

結果の二次元布置図を図2-36に示す。

結果はほぼ一次元だったので（ $c1=93.6\%$ ）、不安度と同様、第一軸の対応分析スコア（C1）順に個別評価・フェイス項目等を並べ替え、地域の総合不安度とのクロス集計結果を帯グラフにして示した（図2-37）。

なお、「まち総合不満」「まち総合不安」は外れているようにも見えるが、カットしても他の項目の布置等がほぼ変わらないので、このまま採用とした。

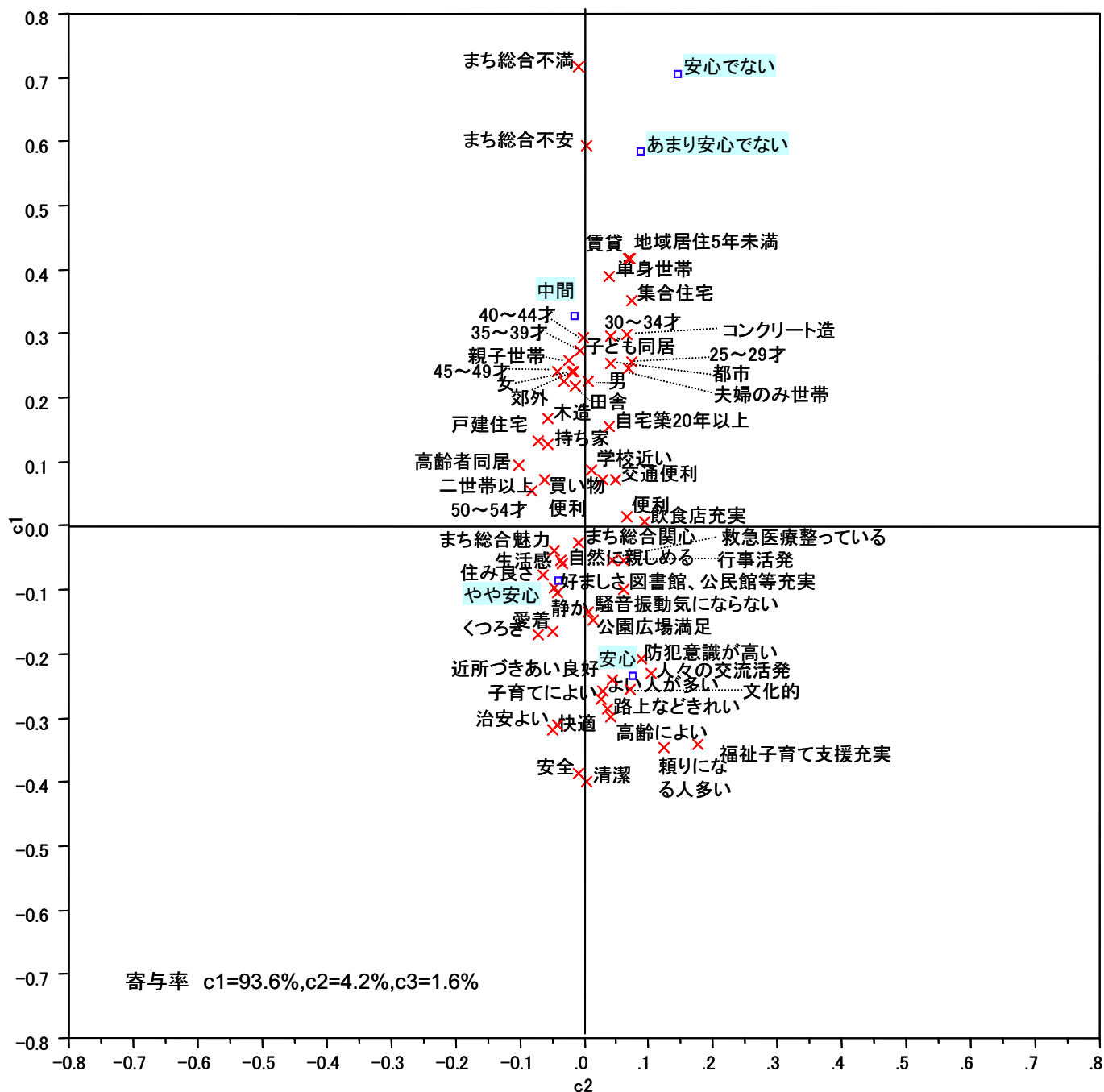


図2-36 「総合安心度」×「個別評価など」の対応分析結果

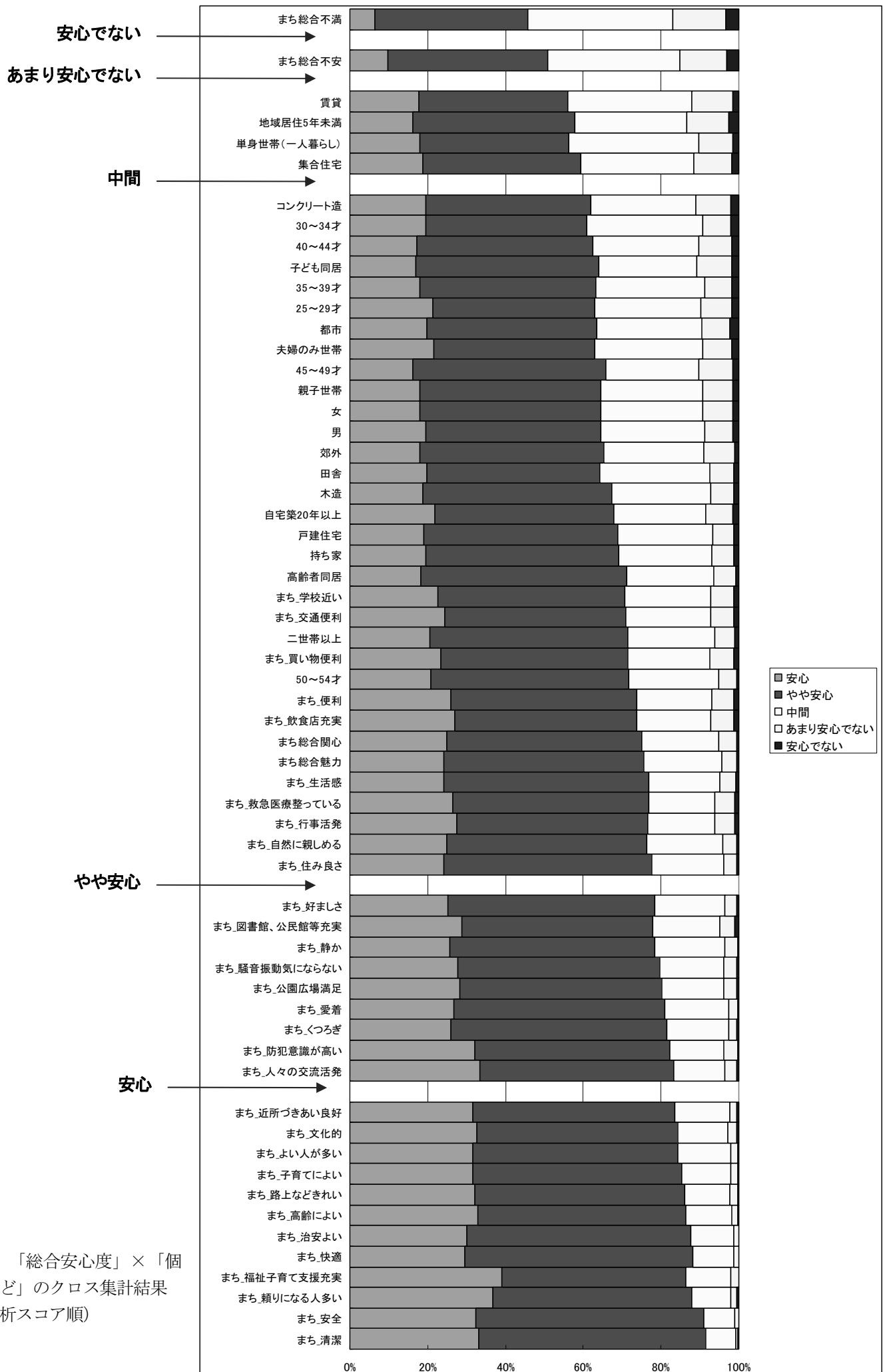


図 2-37 「総合安心度」×「個別評価など」のクロス集計結果
(対応分析スコア順)

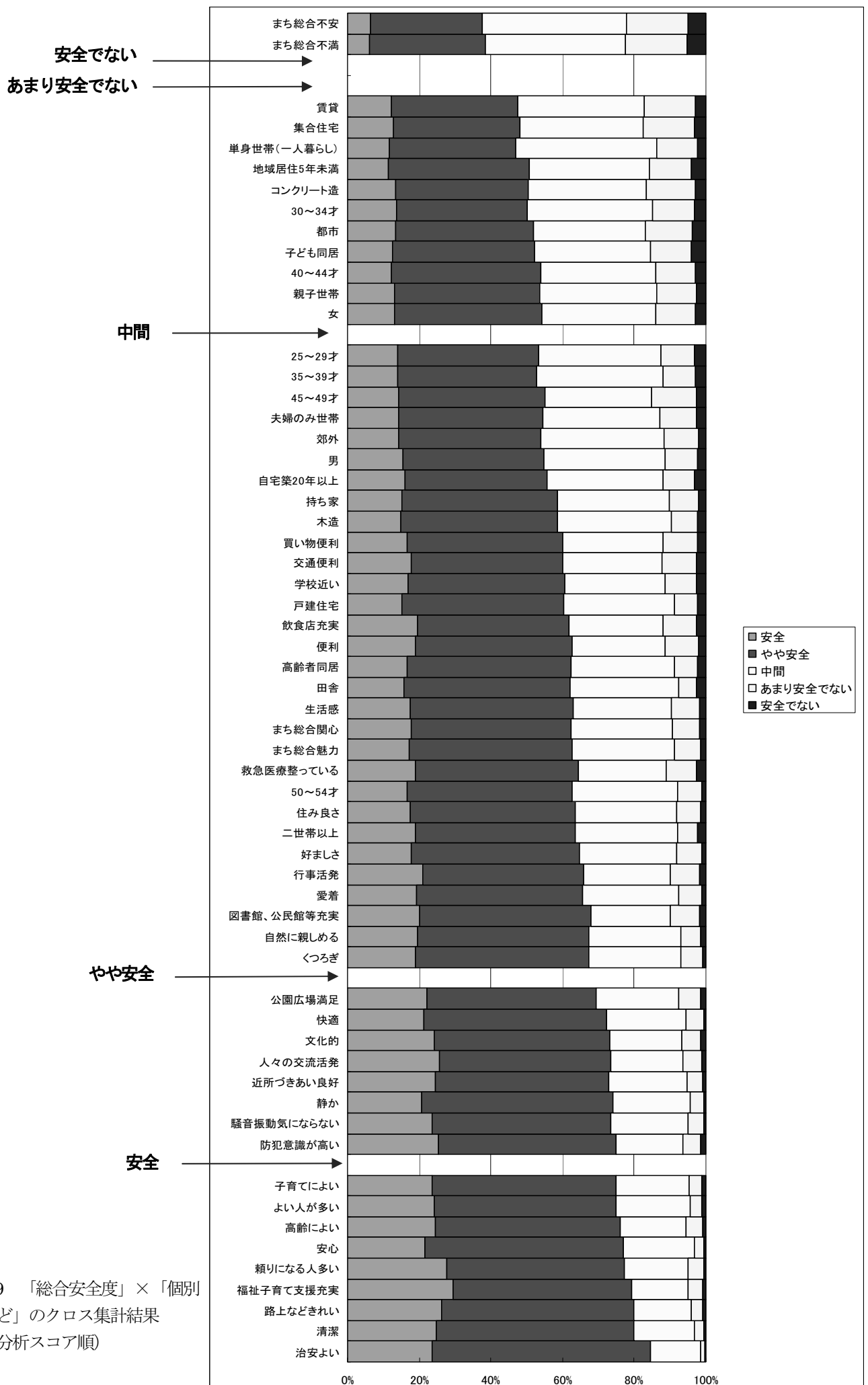


図2-39 「総合安全度」×「個別評価など」のクロス集計結果
(対応分析スコア順)

5) 「不安度」「安心度」「安全度」の比較

今回の分析では、「安心は、安全に比べて総合評価に近い」といった当初想定した関連は明らかにはならなかった。

安心と安全、不安との間に顕著な違いが見られたのは全てフェイス項目であった。認識・評価の項目ではまったく異なる傾向がみられるものはなかった（同じ傾向だが、その顕著さが安心と安全、不安によって異なることはあった）。

三者の結果を比較すると、安心度と安全度が近く、不安度が若干異なっていたが、これは、前者は同じ設間で選択肢も同じ5段階であるのに対し、「不安度」は別の設間で4段階の選択肢であることも影響している。

以下、安心と安全、不安との違いが見られた項目を列記する。

◇個人属性：性別

- ◆居住地域への安心感、安全性の認識にほぼ性差はないが、「不安感」は女性に若干強い（図2-40）。

◇世帯属性：1人暮らし、子どもと同居

- ◆1人暮らしは、居住地域に安心していないし、安全だとも思っていないが、不安はない（図2-41）。
 - ・1人暮らしには若い層が多い。25～29才が36.7%で最多、30歳代前半18.5%、30歳代後半12.5%、40歳代前半14.7%、40歳代後半9.0%、50歳代前半8.5%である。
- ◆子どもと同居していても、地域に対する安心感に有意差はないが、不安感には差がある。また、地域を危険だと感じる人も増える（図2-42）。

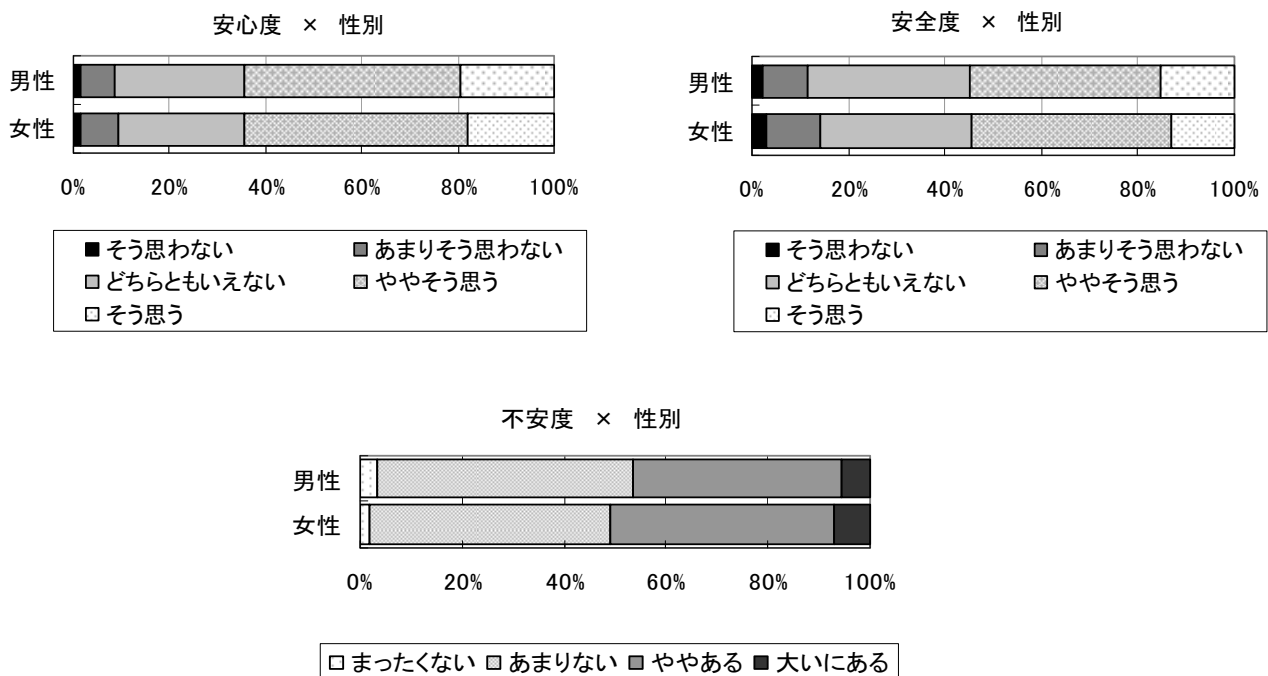


図2-40 「性別」 × 「安心度」「安全度」「不安度」のクロス集計

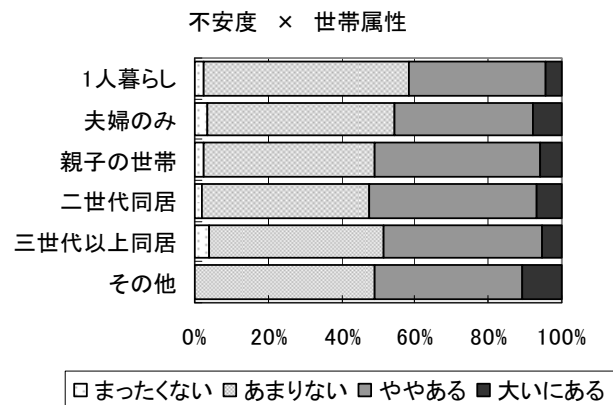
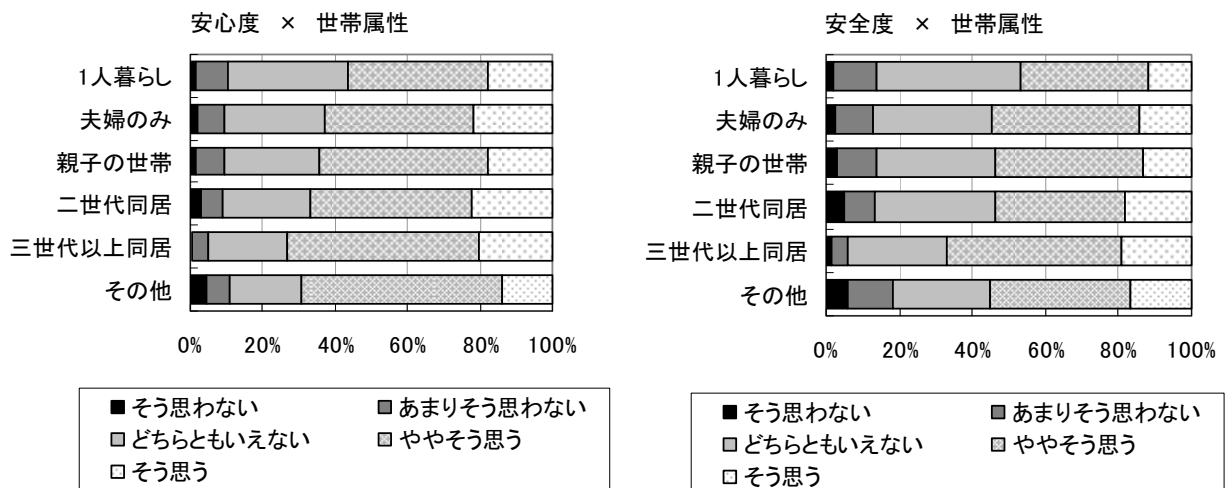


図2-41 「世帯属性」×「安心度」「安全度」「不安度」のクロス集計

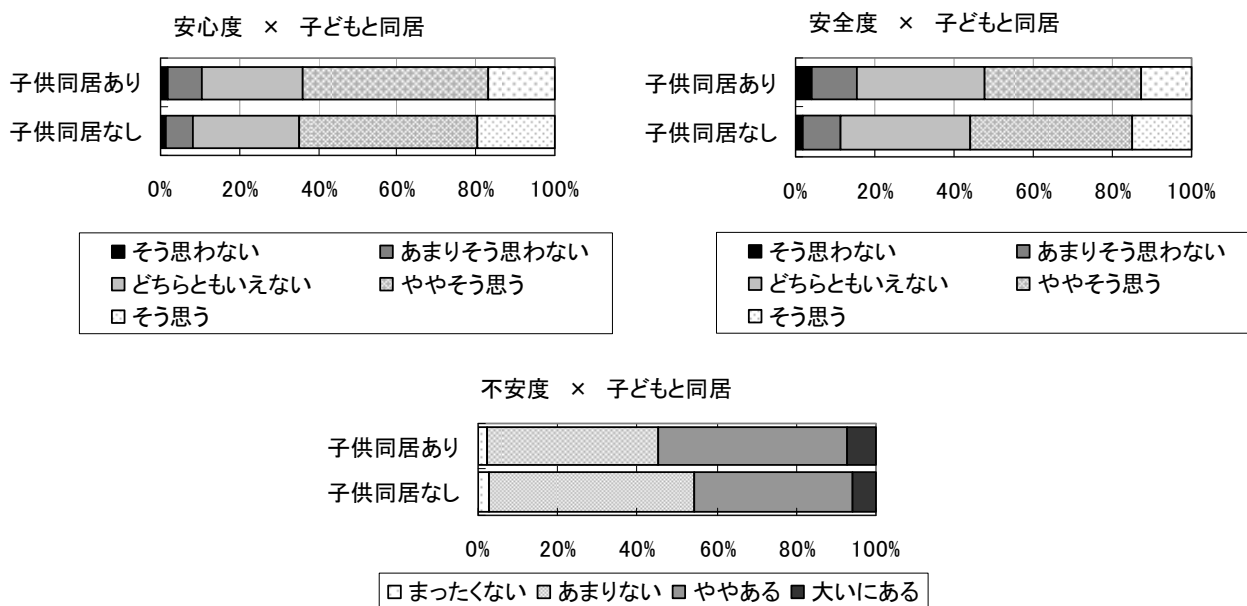


図2-42 「子どもと同居」×「安心度」「安全度」「不安度」のクロス集計

◇ 住居属性：所有形態（住居形態）、地域居住年数
 ◆ 持ち家の方が賃貸よりも、地域に対する安心感、安全性の認識は高いが、不安感は平等である。同じことが一戸建て・集合住宅でもいえるが、もともと賃貸は集合住宅が主なので、同じ関連と考えら

れる（図2-43）。

◆ 地域居住年数が長いと、地域に対する安心感、安全性の認識は高まるが、かといって不安感が減るわけではない（図2-44）。

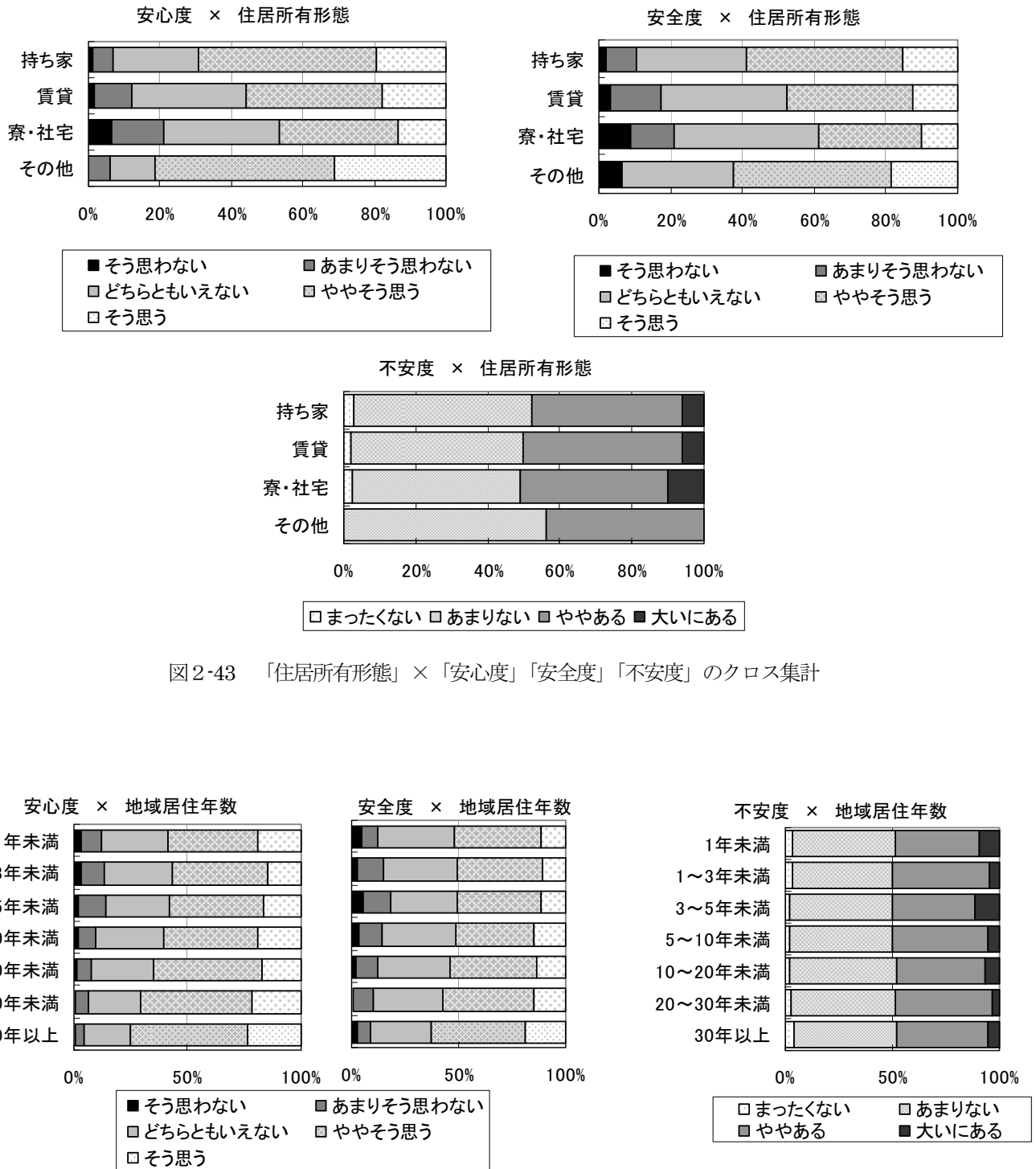


図2-43 「住居所有形態」×「安心度」「安全度」「不安度」のクロス集計

図2-44 「地域居住年数」×「安心度」「安全度」「不安度」のクロス集計

2-2-3. 不安、安心、安全に関する因果関係の検討

1) 分析方針

以上の検討結果と過去の研究成果をふまえ、不安、安全、安心に関する因果関係を、地域、自宅の各々についてグラフィカルモデリング（以下、GM）によって検討した。

●グラフィカルモデリングとは

GMとは、グラフ理論および変数間の条件付き独立性から因果関係を探索する手法である。ここでは、GMのバリエーションの中でも、もっともベーシックな「独立グラフ」のモデリングを行う。独立グラフとは、変数を向きのない線で結んだグラフであり、条件付き独立性の有無、すなわち他の変数が一定という条件のもとで独立か否か（関連があるかないか）を変数間の線の有無に対応させたものである。独立グラフで直接的に線で結ばれた変数間には直接的な因果関係がある可能性がある。直接的な線がない変数間の相関関係は、両変数の間に介在する他の変数によって生じた間接的な因果関係あるいは疑似相関であり、直接的な因果関係はないことが保証される。

なお、分析対象変数が量的変数の場合、条件付き独

立性は偏相関係数（他の変数の影響を除去した相関係数）として表せるため、母集団において偏相関係数が0とみなせるかどうかをモデリングすることになる。

【GMに関する参考文献、既往研究】

*小島隆矢「Excelで学ぶ分散構造分析とグラフィカルモデリング」オーム社

*小島隆矢・若林直子・平手小太郎「グラフィカルモデリングによる評価の階層性の検討 -環境心理評価構造における統計的因果分析 その1-」日本建築学会計画系論文集, No.535, pp.47-52, 2000.9

*小島隆矢・若林直子・平手小太郎「階層的评价構造における因果関係の探索的モデリング -環境心理評価構造における統計的因果分析 その2-」, 日本建築学会計画系論文集, No.556, pp.77-82, 2002.6

●分析対象項目

用いた調査項目は、不安、安全、安心（p.36 参照）に加えて、「住みよい」「くつろげる」「不満がある」「魅力がある」という総合評価であり、具体的には以下の設問になる。

- ◆ お住まいの地域は、住みよい
→ そう思う・思わない 5段階（Q1）
- ◆ ご自宅は、住みよい
→ そう思う・思わない 5段階（Q2）
- ◆ お住まいの地域は、くつろげる

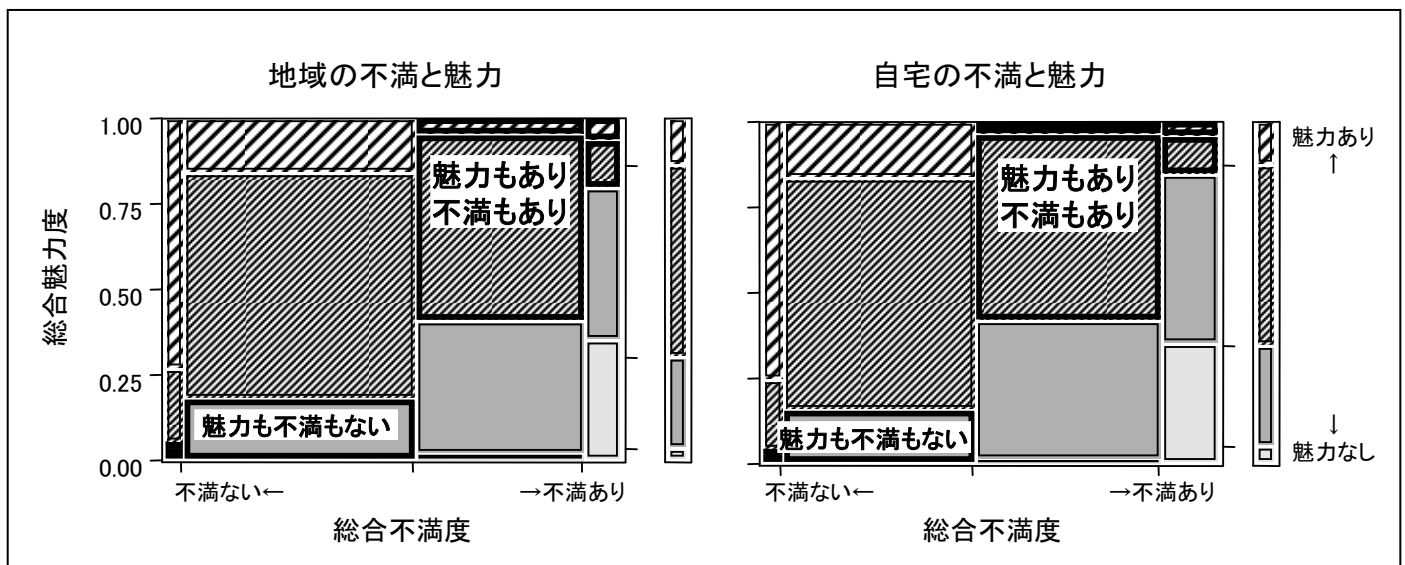


図2-45 地域と自宅の「不満」と「魅力」

→そう思う-思わない 5段階 (Q1)

- ◆ ご自宅は、くつろげる

→そう思う-思わない 5段階 (Q2)

- ◆ お住まいの地域には、不満が、

→大いにある-まったくない 4段階 (Q3)

- ◆ ご自宅には、不満が、

→大いにある-まったくない 4段階 (Q3)

- ◆ お住まいの地域には、魅力が、

→大いにある-まったくない 4段階 (Q4)

- ◆ ご自宅には、魅力が、

→大いにある-まったくない 4段階 (Q4)

なお、「不満がある」「魅力がある」については、各々以下のような教示をしている。

- ◆ あなたが現在お住まいの地域やご自宅に対して感じる「不満」はどの程度ですか。よいところはさておき、不満に感じている点だけを考え、その大きさを評価してください。
- ◆ あなたが現在お住まいの地域やご自宅に対して感じる「魅力」はどの程度ですか。不満な点には目をつぶって、魅力に感じている点だけを考え、その大きさを評価してください。

これは、不満と魅力を別々に評価してもらうための工夫である（小島、若林「地域環境に関する意識調査手法の研究」日本建築学会大会梗概集 D-1 分冊，2004 参照）。結果は、両項目の相関係数は地域で-0.47、自宅で-0.55 と高かったが、図 2-45 に示すとおり、不満もあるが魅力も感じている人や、不満も魅力も感じている人は少なからず存在する。

2) 結果と考察

得られた独立グラフを図2-46に示す。各種適合度の指標は、いずれも良好な値である。

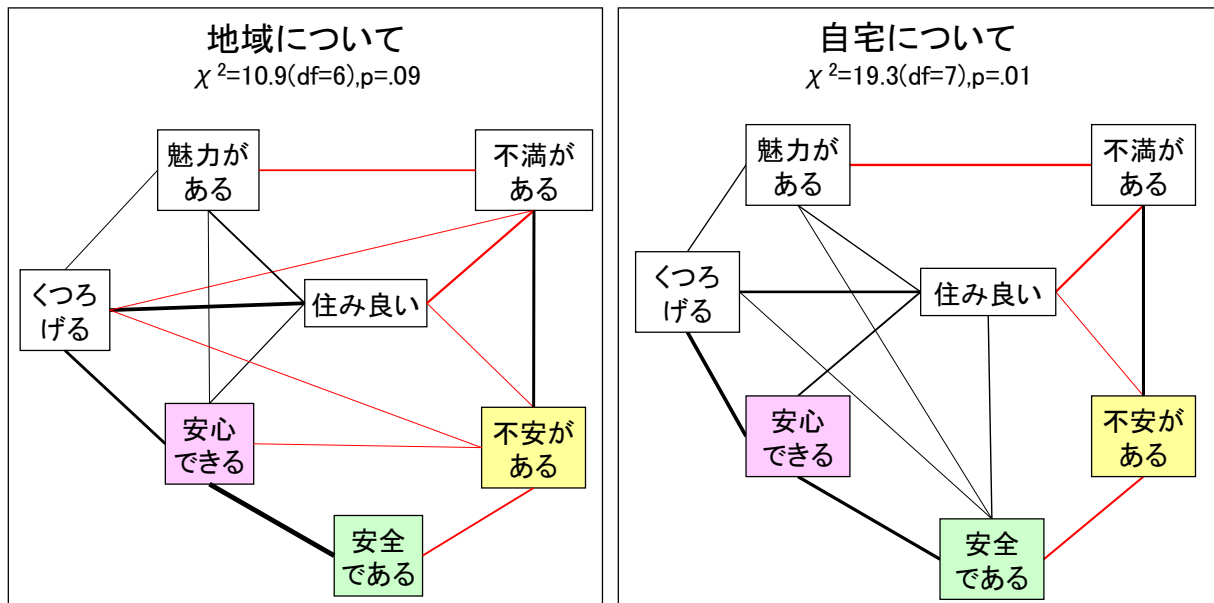
この図から読み取れる主な関連を以下に示す。

- 「不安」について
 - ◆ 「不安」がある地域や自宅は「不満」である。住み良くなり、安全でない。
 - ◆ とくに地域の場合、不安があると、くつろげないし安心できない。
- 「安全」について
 - ◆ 「安全な」地域や自宅は「安心」でき、「不安」がない。
 - ◆ とくに自宅の安全は、住みよさ、くつろぎ、魅力に直接つながっている。
- 「安心」について
 - ◆ 「安心できる」地域や自宅は、「安全」で、くつろぐことができ、住みよい。
 - ◆ とくに地域への安心感は、地域の魅力に直接つながっている。

不安、安全、安心の違いに着目すると、次のように考察することができる。

- ◆ 「不安」の反対は、「安心」とはいいいにくい（地域のみに関連）。むしろ、「安全」の方が近いかもしれない（地域でも自宅でも関連）。
- ◆ 「安心」は「くつろぎ」「住みよさ」に通じる。「くつろぎ」「住みよさ」は、魅力に直接つながる。
- ◆ 自宅の「安全」では、上記の「安心」と同じことがいえる。つまり、自宅の「安全」は「くつろぎ」「住みよさ」「魅力」につながる。地域の「安全」は、「安心」や「不安」を介さないと、魅力などにはつながらない。
- ◆ 地域の「安心」は、「くつろぎ」や「住みよさ」を介さなくても直接「魅力」につながる。自宅の「安心」では、「くつろぎ」や「住みよさ」を介しての関連である。

なお、ここでは独立グラフに基づき、条件付き独立性のみを考察対象としたが、次のステップとしては、この結果をもとに、因果の向きを含めた検討・分析を行うことが想定される。これは今後の課題としたい。



*線の太さ：偏相関係数の大きさ
 *赤い線：マイナスの偏相関係数

図2-46 安全、安心、不安等に関する独立グラフ

2-3. 地域への不安内容（自由記述）に関する検討

2-3-1. アフターコーディングの実施

1) 自由記述の設問文

総合不安度は、具体的には以下のような設問である。

- ◆ あなたが現在お住まいの地域やご自宅における「生活上の安全・安心」に対して感じる「不安感」はどの程度ですか。(Q6)
 - ・「お住まいの地域には、不安が」大いにある～まったくない(4段階)
 - ・「ご自宅には、不安が」大いにある～まったくない(4段階)

この設問で「大いにある」「ややある」と回答した人(地域 1,223 人 48.8%、自宅 1,205 人 48.0%)に対してだけ、以下のようにその具体内容を聞き書いてもらった。

- ◆ 「お住まいの地域(ご自宅)には、不安がある」というご回答ですが、それはどのような不安ですか。具体的にお答えください。(Q6SQ1・2)

2) アフターコーディング

「地域に不安あり」とした 1,223 件の自由記述内容を事後的にコーディングし、0-1 データとした。

なお、Web アンケートの特徴を活かし、「不安あり」にチェックした人のみに自由記述設問が表示され、しかも何か記入をしなければ進めない仕組み(必須項目)とした。このため、「不安あり」にチェックしたものの記入すべき内容がない人は「とくになし」等の記入となった。これらは分析からカットすることとしたが、該当件数は 16 件とごく少数だった。

1,207 件 (=1,223 件-16 件) のアフターコーディングデータの集計を次ページに示す。

カテゴリーは「その他」を含め 74 項目、データ数は 1,895 となった。これらを内容別に分類し、適当な名称をつけたものが「ラベル」である。各ラベル内の度数は表中の【 】内に示した。

3) 不安内容の特徴 ～集計結果より～

「犯罪」に関する記述がもっとも多く、なかでも漠然と「治安」「防犯」等をあげる人が最多だった。具体的な内容では、空き巣や盗難、不審者・変質者などが非常に多かった。

「コミュニティ(近隣関係、地域性等)」「人(居住者、来訪者のマナー、人口構成等)」に関する記述の多さ、内容の多様さも注目に値するという結果である。

- ◆ コミュニティでは、近所づきあいの難しさ(希薄～うとうしい、仲良くやれるか不安)が目立った。
- ◆ 人では、迷惑な居住者、マナーなどが目立った。迷惑な人々は、具体的には、若者(不良やたむろ)、外国人、酔っ払い、暴走族や暴力団などである。マナーは、ゴミの不法投棄、放置自転車、路上駐車、運転マナーなどがあつた。

事前に設問を用意して個別の不安項目を聞いた結果(Q7、p.13)では、「地震で被災」「地震で自宅損壊」「交通事故」なども不安上位の項目だったが、自由記述では、自然災害や事故は多くはなかった。

設問のワーディングの影響もあろうが、転倒転落など、自発的なリスクに繋がりそうな内容はほとんど見当たらなかった。

表2-1 地域への不安内容（自由記述）

ラベル	カテゴリー	内容	度数	
市街地等の状況 【299】	暗い場所・道	(暗い道・人通りが少ない道・暗いところ)	57	
	街灯暗い	(街灯が少ない、街灯が暗い)	35	
	集合住宅	(集合住宅、大型マンション)	8	
	住宅密集・狭隘道路	(道路が狭い・複雑、建物密集)	24	
	道路未整備	(道路・歩道が未整備)	14	
	交通	(交通量が多い、大型車の出入りがある)	28	
	運転マナー	(運転マナー・車スピード出しすぎ・飲酒運転・路上駐車・生活道路の通り抜け)	15	
	建物性能	(建物老朽化、耐震性)	8	
	空家・空地	(空き地、空き家)	8	
	大通り	(大通り近い)	10	
	住宅地	(住宅地)	11	
	都市部	(都心・都市部・駅前)	14	
	繁華街	(繁華街、繁華街に近い)	11	
	閑静・田舎	(静か・田舎(駅が遠い、農業地域、家がまばらなど含む))	35	
	工業地帯	(工業地帯、工場などが近い)	8	
	環境悪い	(環境悪い、汚い、大気汚染)	8	
	騒音	(騒音・やかましい・うるさい)	22	
	集客施設	(集客施設(パチンコ・競輪・大型店等)、風俗店・ラブホテル等)	16	
	河川・山・海	(河川、山、海が近い)	9	
	地形	(坂・段差、低地、)	14	
	迷惑施設	(米軍基地、飛行場、新興宗教、産廃施設、高圧電線、原発など)	15	
	開発	(開発の進行、無秩序な開発)	9	
	犯罪 【515】	治安	(治安、治安が悪い、治安が良くない)	151
		防犯	(防犯上、防犯の問題、セキュリティ)	50
		犯罪	(犯罪、犯罪・事件が多い、パトロールを見かける)	50
		空き巣・盗難	(空き巣・泥棒・盗難事件・自販機あらし)	127
		ひったくり	(ひったくり)	41
		殺人・強盗等	(殺人・強盗事件・凶悪犯罪)	25
		誘拐	(誘拐、連れ去り)	10
不審者		(変質者・不審者)	89	
痴漢・路上犯罪		(痴漢・暴行、路上犯罪、通り魔)	18	
車両被害		(車上狙い、車両へのいたずら、自転車盗難)	39	
軽犯罪		(いたずらなどが多い・軽犯罪)	10	
放火		(放火)	5	
事故・火災 【43】		事故	(事故、事故が多い)	8
		交通事故	(交通事故、交通事故が多い)	25
	火災	(火災、焚き火・野焼きによる山林火災)	10	
自然災害 【61】	自然災害	(自然災害・防災)	13	
	地震・津波	(地震・大地震(避難場所・避難所含む)、津波)	32	
	風水害・土砂災害	(風水害、土砂災害)	19	
対策・取り組み 【30】	対策不十分	(対策不十分)	12	
	警察活動不十分	(警察の活動が不十分、警官少ない、事件未解決)	18	
人口・人口構成 【83】	少子高齢化	(少子高齢化、若者が少ない、高齢者が多い)	51	
	人口少ない	(過疎化の進行、人が少ない、人口密度が低い、昼間人口少、夜間人口少)	21	
	人口多い	(人が多い(不特定多数等)、出入りが激しい、人口増加)	16	
居住者の種類 【116】	迷惑な人	(ガラが悪い人、たむろ、酔っ払い、おかしな人、暴力団)	42	
	迷惑な若者	(不良少年、若者たむろ、暴走族)	35	
	外国人	(外国人が多い・外国人の犯罪)	33	
	単身者	(単身者)	3	
	子供	(子供が多い)	2	
	ホームレス	(ホームレス等)	8	
近隣コミュニティ 【110】	近所づきあい	(近所づきあい(そのもの)、母親同士のつきあい)	4	
	近所づきあい希薄	(近所づきあい希薄・災害時の助け合いが期待できない)	43	
	近所づきあい苦痛	(近所づきあいうとうしい、いや、うるさい、むずかしい、プライバシー侵害)	11	
	地域の団結なし	(住民が無関心・不親切・まとまりがない(自治会、協力し合う心…))	8	
	新住民	(新住民・知らない人)	10	
	旧住民VS新住民	(旧住民VS新住民、排他的、閉鎖的)	11	
	近所の人知らない	(近所の人を知らない、人の入れ替わりが多い)	24	
	地域を知らない	(地域を知らない、情報ない)	9	
地域性・日常生活 【206】	防犯意識低い	(防犯意識が浅い・薄い、鍵をかけない地域性・習慣)	9	
	マナー・モラル	(マナー・素行・モラル、民度・文化水準が低い、人に不満あり、ゴミ・放置自転車)	32	
	政治・経済	(政治・政策・行政・経済・景気)	46	
	地域振興	(活性化していない、地域振興、地域の発展)	17	
	不便	(不便・住みにくい)	21	
	医療	(病院・救急医療施設が近くにない)	21	
	教育	(教育)	8	
	福祉	(福祉、福祉施設、高齢者施設、子育て支援)	14	
	買い物	(買い物が不便)	28	
	交通の便	(交通が不便、車が必須)	43	
	その他 【190】	なんとなく不安	(なんとなく不安・どこであろうと不安・100%安全はあり得ない)	28
高齢化		(老後の不安・高齢化にともなう不安)	18	
子供のこと		(子供のこと)	68	
夜不安		(夜不安)	51	
その他		(その他)	29	

2-3-2. 個人属性との対応分析

どのような人がどのような不安を抱えているかの傾向を探るため、自由記述内容（74 カテゴリー）と個人属性とのクロス集計に基づき、対応分析を行った。

分析に使用する個人属性の項目は、これまでの検討結果から以下に絞った。

- ◆ 性別（2水準）
- ◆ 年齢（6水準）
- ◆ 子ども同居（同居しているか否か）
- ◆ 単身世帯（単身世帯か否か）

結果の3次元布置図は図2-47である。この図からは、いくつかの特徴的な傾向が読み取れる。

- ◆ 女性は、年代等を問わず、近所づきあい（知らない、希薄から苦痛まで）や住民などに関する不安が多い。街灯の暗さ、暗い場所や道、夜、路上犯罪、痴漢、ひったくりなどにも不安を持つ。
- ◆ 20代など、若い男性の不安要素は、住宅密集や狭隘道路、迷惑な若者、騒音、交通などである。また、地域振興（活性化していない、地域の発展等）を不安に思うのも、この層の特徴である。
- ◆ 子どもと同居していると、誘拐や不審者、交通事故や道路状況（大通りに近い、道路が未整備等）を不安視する傾向がある。環境の悪さ、繁華街、工場地帯なども不安要素である。
- ◆ 単身者は、「地域を知らない」また「自分の対策が不十分である」といった認識があり、放火・自然災害を不安視する傾向がある。

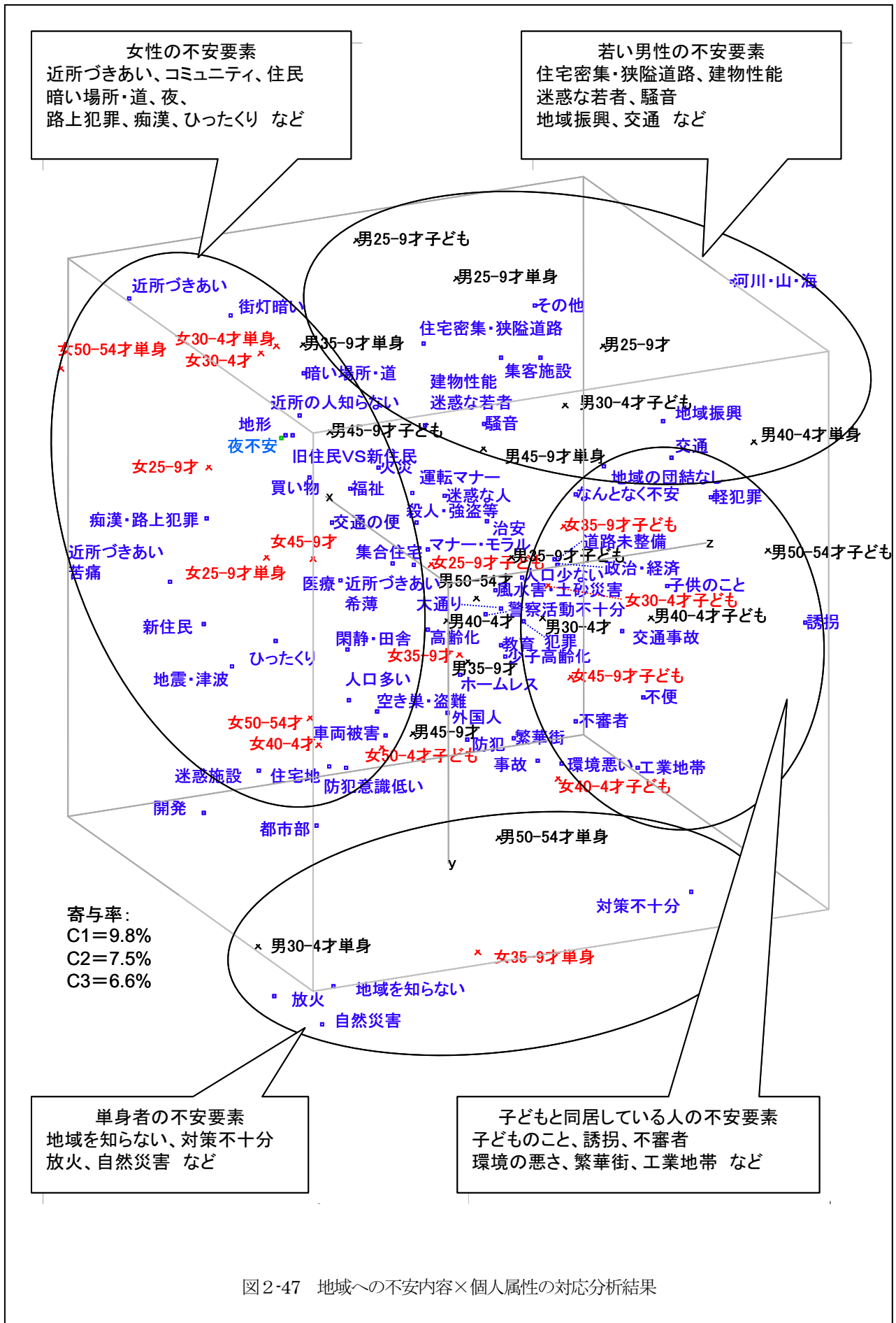


図2-47 地域への不安内容×個人属性の対応分析結果

3章 まとめと今後の課題

本調査は、(独)建築研究所における重点的研究課題「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発」の一環として、住宅・居住環境での安全性や不安度の評価の実態、また安心・安全に関する対策行動との関連性等について、総合的な内容の意識調査を全国規模で実施した。これまでの同テーマに関する意識においては、「居住地域」や「建物種別」ごとに、また「防災」「防犯」「事故」などの分野ごとに細分化して検討されるものがほとんどであった。今回ここで報告した調査は、先に挙げたような安心・安全に関わる意識調査を、分野横断的に、しかも全国規模で実施し、把握検討を行った点が大きな特徴となっている。

調査結果の概要として、日常生活の中で居住者が感じている「不安度」と「安心-危険度」に関する評価については、

- ①「不安度」が高い項目は、居住する地域や対策の如何にかかわらず発生の可能性がある「地震」や「交通事故」等、また発生した場合に深刻な被害等が想定される非日常的な「犯罪」や「事故」に多い
- ②「安心-危険度」については、「不安度」の項目と傾向は似ているが「発生時の深刻度」より「発生のしやすさ」あるいは「一般的な状況に比べて自分の生活環境ではどうであるか」

といった相対的な評価が影響しているということがわかった。

また、居住地域の総合的な安全・安心度と不安項目との関連について総合評価に一番影響するのは、

- ①「路上犯罪」「車上ねらい」「夜道」への不安
- ②「近隣扶助」「近隣トラブル」「破損・落書き」といった安心度に影響を及ぼす不安
- ③「空き巣強盗」「不審火や放火」「交通事故」といった安全度に影響を及ぼす不安

という結果であった。

一方、相対的に不安度が高かった「地震」および「その他の自然災害」や「火災」の影響は小さいという結果

となった。自宅の総合評価でも、「近隣扶助」、「近隣トラブル」といった人が関わる不安の影響が大きく、身近な人への日常的な不安感が無視できないことがわかった。

安全・安心に関する対策実行率との関連については、全般的に不安度などのマイナス評価より、安全・安心を含むプラス評価とより強く関連しているという結果が得られた。特に顕著なのは、住環境への総合的な「関心」と「防災訓練」、「講演会」「地域安全マップ作り」等の活動への参加、地域コミュニティとしての対策実行率との関連であるとの結果となった。

今後の課題としては、この住宅・住環境の安全・安心に関わる生活者のニーズ・意識の把握を目的とした全国規模のアンケート調査は、建築研究所重点研究課題として取り組まれている平成18年度から20年度の3カ年のプロジェクト期間中に毎年実施を予定しており、継続的な調査を行うことで、安心・安全に対する人々の意識や考え方をより多面的に明らかにするとともに、社会的な事件・事故が及ぼす人々の意識の変化等を把握していきたいと考えている。

特に以下に示す3項目については、継続的に調査を行うことで、生活者のニーズ・意識の変化を把握していく。

- ①住居・地域に関する評価としての環境評価
- ②住生活、住居や居住地域での災害、犯罪等に対する不安度、安全・危険度の評価、被害経験等に関する安心・安全について
- ③災害、犯罪等に対する対策や住宅地の安全性確保に関する対策等

上記の他に、必要に応じて安全・安心に関わるトピクな事件・事故、災害などが発生した時点で、それらが生活者の意識に及ぼす影響等についても調査することで、今まであまり顕在化されていないニーズや意識などを明らかにしていく予定である。

なお最後になるが、本建築研究資料が関連する研究課題の枠組みを超え、今後の安全・安心全般の向上にむけた取り組みの一助となれば幸いである。

付録1

平成 18 年度「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発」外部委員会名簿

(独) 建築研究所における重点的研究課題「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発」は平成 18 年度から 20 年度の 3 ヶ年の研究課題としてスタートし、下記に示す 5 つのサブテーマ毎に研究を進めている。本建築研究資料は、サブテーマ 1 「安心・安全に関わる国民ニーズ調査」分科会で実施した結果をとりまとめたものである。

サブテーマ	名前	所属
サブテーマ 1 「安全・安心に関わる国民ニーズ調査」分科会	立花 直美(主査)	武蔵野美術大学造形学部
	吉村 英祐	大阪大学大学院工学研究科
	寺内 義典	国士舘大学工学部
	島田 貴仁	警察庁 科学警察研究所 犯罪行動科学部
サブテーマ 2 「住宅・都市の防犯」分科会	小出 治(主査)	東京大学大学院工学系研究科
	山本 俊哉	明治大学理工学部
	島田 貴仁	警察庁 科学警察研究所 犯罪行動科学部
	小畑 晴治	財団法人日本開発構想研究所
	雨宮 護	筑波大学大学院博士課程
サブテーマ 3 「建築内事故の防止」分科会	吉村 英祐(主査)	大阪大学大学院工学研究科
	古瀬 敏	静岡文化芸術大学デザイン学部
	佐野 友紀	早稲田大学人間科学学術院
	後藤 義明	積水ハウス(株) 総合住宅研究所
	佐藤 克志	日本女子大学家政学部
サブテーマ 4 「住宅地道路の歩行時の安全性向上」分科会	寺内 義典(主査)	国士舘大学工学部
	渡 和由	筑波大学大学院人間科学研究科
	坂本 邦宏	埼玉大学大学院理工学研究科
	橋本 成仁	(財) 豊田都市交通研究所
サブテーマ 5 「ユニバーサルデザイン及び分野横断的課題への対応」分科会	建部 謙治(主査)	愛知工業大学工学部
	志田 弘二	名古屋市立大学 大学院芸術工学研究科
	佐野 友紀	早稲田大学人間科学学術院
	北後 明彦	神戸大学 都市安全研究センター

付録 2 調査画面（インターネット調査における調査票）

お住まいの地域や住宅に関するアンケート

【表示条件】全員

【プログラム制御】表側カテゴリー内ランダム(以下の表にしたがって)※カテゴリーの位置は固定

※「私にとって、好ましい(好き)」～「安全である」、「子育てによい」～「高齢者福祉や子育てに関する支援制度が整っている」は固定表示

カテゴリー1	路上などがきれい(清潔)
	騒音や振動などが気にならない
	地域の人々にはよい人が多いと思う
	公園や広場などに満足している
	緑や水などの自然に親しめる
	地域の人々は、防犯意識が高い
	いざというときに頼りになる人が多い地域だと思う
	近所づきあいが良好な地域である
	地域の人々の交流が活発である
	祭りなどやイベントなどが活発である
カテゴリー2	交通が便利である
	日常の買い物が便利である
	飲食店などが充実している
	図書館、美術館、公民館などが充実している
	幼稚園、小中学校などが近くにある
	急病やケガ、夜間の診療に対応する病院・体制が整っている

Q1. 現在お住まいの**地域**について、いろいろな観点から評価してください。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
私にとって、好ましい(好き)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
住みよい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
愛着がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生活感がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
くつろげる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
治安がよい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
きれい(清潔)である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
安心できる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
快適である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
文化的である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
便利である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
静かである	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
安全である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
路上などがきれい(清潔)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒音や振動などが気にならない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域の人々にはよい人が多いと思う	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
公園や広場などに満足している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
緑や水などの自然に親しめる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域の人々は、防犯意識が高い	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
いざというときに頼りになる人が多い地域だと思う	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
近所づきあいが良好な地域である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域の人々の交流が活発である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
祭りなどやイベントなどが活発である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
交通が便利である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日常の買い物が便利である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
飲食店などが充実している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
図書館、美術館、公民館などが充実している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
幼稚園、小中学校などが近くにある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
急病やケガ、夜間の診療に対応する病院・体制が整っている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子育てによい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高齢になっても住みよい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高齢者福祉や子育てに関する支援制度が整っている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q2. **ご自宅**について、いろいろな観点から評価してください。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
私にとって、好ましい(好き)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
住みよい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
愛着がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生活感がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
便利である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
安心できる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
快適である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
くつろげる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
清潔感がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
安全である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
広さ、間取りに満足している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
収納スペースは充実している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
いたみが少ない、いたみにくい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
維持・管理がしやすい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
断熱性や気密性は高い	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高齢者等への配慮がなされている(段差がないなど)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
換気のパフォーマンスはよい(においや煙りが残らない)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
室内の湿気や結露が気にならない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
窓の位置、数、大きさに満足している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日当たりや採光は良好である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外の騒音が気にならない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家の中の音が外に漏れることが気にならない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外からの視線が気にならない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
窓やベランダからの眺めは良好である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夏の暑さ、冬の寒さをしのぎやすい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
住宅設備が便利・高性能である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外装や内装のデザインがよい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地震や台風に対する強度が高い	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
----------------	------	--------	-----------	-----------	--------

Q3. あなたが現在お住まいの地域やご自宅に対して感じる「不満」はどの程度ですか。よいところはさておき、不満に感じている点だけを考え、その大きさを評価してください。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →		大いにある	ややある	あまりない	まったくない
お住まいの地域には、	不満が →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ご自宅には、	不満が →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q4. あなたが現在お住まいの地域やご自宅に対して感じる「魅力」はどの程度ですか。不満な点には目をつぶって、魅力に感じている点だけを考え、その大きさを評価してください。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →		大いにある	ややある	あまりない	まったくない
お住まいの地域には、	魅力が →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ご自宅には、	魅力が →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q5. あなたが現在お住まいの地域やご自宅に対してお持ちの「関心」はどの程度ですか。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →		大いにある	ややある	あまりない	まったくない
お住まいの地域には、	関心が →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ご自宅には、	関心が →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q6. あなたが現在お住まいの地域やご自宅における「生活上の安全・安心」に対して感じる「不安感」はどの程度ですか。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →		大いにある	ややある	あまりない	まったくない
お住まいの地域には、	不安が →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ご自宅には、	不安が →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q6-SQ1. 「お住まいの地域には、不安がある」というご回答ですが、それはどのような不安ですか。具体的にお答えください。

【必須】

Q6-SQ2. 「ご自宅には、不安がある」というご回答ですが、それはどのような不安ですか。具体的にお答えください。

【必須】

Q7. あなたは、現在の生活で、次のような不安や心配を感じますか。あなた自身が感じる不安感や心配の程度をお答えください。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →		大いに不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない
自分や家族が、お住まいの地域で交通事故にあうことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分や家族が、お住まいの地域を歩行時に転倒・転落などの事故でケガをすることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分や家族が、自宅内で転倒・転落などの事故にあってケガをすることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分や家族が、お住まいの地域で路上犯罪(ひったくり・恐喝・ちかんなど)にあうことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自家用車やオートバイを狙った犯罪(自動車盗、車上ねらいなど)にあうことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅が空き巣・強盗などの被害にあうことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅が破損や落書き、いたずらなどの被害にあうことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
急病やケガ、夜間の診療に対応する病院・体制についての不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大きな地震で、自宅が壊れることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大きな地震で、自分や家族が被害をうけることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →		大いに不安を感じる	やや不安を感じる	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない
自宅や自宅周辺でおこる不審火や放火についての不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅から出火して火災になることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅や自宅周辺の火災で自分や家族が被害をうけることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
台風・豪雨・河川氾濫などの風水害で被害をうけることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
がけくずれ、地滑り、地盤沈下などの地盤災害で被害をうけることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅で災害にあったとき、自分や家族が無事に避難できないことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空気、水、土壌、建材などに含まれる有害物質により、自分や家族の健康が損なわれることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
近所づきあいなどで、自分や家族が不快なトラブルにまきこまれることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
いざというときに助け合える人が近所にいないことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分や家族が、お住まいの地域で夜道を歩くときに感じる不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q8. 小学生以下の子ども、および高齢者の安全についてお聞きします。
 家族など、身近に子どもや高齢者がいる方は、現在感じている不安感や心配の程度をお答えください。
 そうでない方は、もし子どもがいたら、もし高齢のご家族が居たら、あるいは、自分が高齢になったときを
 想像してお答えください。(それぞれ1つだけ)
 ※前の設問で、小学生以下の子どもや高齢者を思い浮かべて回答した人は、まったく同じ答えで構いません。

横方向に回答してください →		大いに不安を 感じる	やや不安を 感じる	あまり不安を 感じない	まったく不安 を感じない
お住まいの地域で、子どもが交通事故にあうことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域で、子どもが転倒・転落などの事故でケガを することへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅内で、子どもが転倒・転落するなどの事故でケガをするこ とへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域で、子どもが犯罪(誘拐、暴行、性犯罪など) にあうことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在の住まい(自宅および地域)では、子どもがのびのびとは 生活できないという不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在の住まい(自宅および地域)で、子どもが生活することへ の総合的な不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →		大いに不安を 感じる	やや不安を 感じる	あまり不安を 感じない	まったく不安 を感じない
お住まいの地域で、高齢者が交通事故にあうことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域で、高齢者が歩行時に転倒・転落などの事故 でケガをすることへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅内で、高齢者が転倒・転落などの事故でケガをすることへ の不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域で、高齢者が犯罪(ひったくり、恐喝、暴行な ど)にあうことへの不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在の住まい(自宅および地域)では、高齢者がいきいきとは 生活できないという不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在の住まい(自宅および地域)で、高齢者が生活することへ の総合的な不安	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q9. 現在お住まいの地域やご自宅は、どのくらい安全(危険)だと思いますか。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →		安全	どちらかとい えば安全	どちらともい えない	どちらかとい えば危険	危険
お住まいの地域は、交通事故に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、歩行時の転倒・転落などに対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、転倒・転落などに対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、路上犯罪(ひったくり・恐喝・ちかんなど)に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、自家用車やオートバイを狙った犯罪(自動車盗、車上ねらいなど)に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、空き巣・強盗などに対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、破損や落書き、いたずらなどに対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、地震に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、地震に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
横方向に回答してください →		安全	どちらかとい えば安全	どちらともい えない	どちらかとい えば危険	危険
お住まいの地域は、不審火や放火による火災に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、出火による火災を起こしにくい、という点で	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅および周辺の地域は、火災に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、台風・豪雨・河川氾濫などの風水害に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、がけくずれ、地滑り、地盤沈下などの地盤災害に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、災害時の避難について	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたがお住まいの環境は、空気、水、土壌、建材などに有害物質が含まれない、という点で	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、夜道を歩く歩行者に対して	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q10. 小学生以下の子ども、および高齢者の安全についてお聞きします。
 現在お住まいの地域やご自宅は、子ども(小学生以下)や高齢者にとって、どのくらい安全(危険)だと思いますか。(それぞれ1つだけ)

※前の設問で、小学生以下の子どもや高齢者を思い浮かべて回答した人は、まったく同じ答えで構いません。

横方向に回答してください →	安全	どちらかといえば安全	どちらともいえない	どちらかといえば危険	危険
お住まいの地域は、子どもの交通事故に対して →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、子どもの転倒・転落などに対して →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、子どもの転倒・転落などに対して →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、子どもを狙った犯罪(誘拐、暴行、性犯罪など)に対して →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、子どもにとって、総合的にみて →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、子どもにとって、総合的にみて →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →	安全	どちらかといえば安全	どちらともいえない	どちらかといえば危険	危険
お住まいの地域は、高齢者の交通事故に対して →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、高齢者の歩行時の転倒・転落などに対して →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、高齢者の転倒・転落などの事故に対して →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、高齢者を狙った犯罪(ひったくり、恐喝、暴行など)に対して →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域は、高齢者にとって、総合的にみて →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたのご自宅は、高齢者にとって、総合的にみて →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q11. 現在お住まいの地域やご自宅では、どんな点が危険だ、安全だと思いますか。
 思いつくまま、なるべく具体的に(危険/安全だと思う場所、誰にとって危険/安全か、どんなことが危険/
 安全か、等)ご記入ください。特に思いつかない欄については、無記入で構いません。

	危険だと思うこと	安全だと思うこと
交通事故について:	【無必須】	【無必須】
地域を歩行時の転倒・転落:	【無必須】	【無必須】
自宅内の転倒・転落:	【無必須】	【無必須】
犯罪について:	【無必須】	【無必須】
	危険だと思うこと	安全だと思うこと
災害について:	【無必須】	【無必須】
高齢者の生活安全:	【無必須】	【無必須】
子どもの生活安全:	【無必須】	【無必須】
その他:	【無必須】	【無必須】

Q12. 安全・安心のために、次のような対策をしていますか。している場合は、対策の内容をなるべく具体的にご記入ください。

ご自宅における、転倒・転落事故への対策

【必須】

している →

していない

ご自宅における、防犯対策

【必須】

している →

していない

ご自宅における、防災対策

【必須】

している →

していない

高齢者の生活安全対策

【必須】

している →

していない

子どもの生活安全対策

している →

【必須】

していない

その他の安全対策

【必須】

している →

していない

Q13. 最近、ご自宅周辺で、次のような事件や事故はどの程度起こっていると感じていますか。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →		多い	やや多い	やや少ない	少ない
交通事故	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
歩行者の転倒・転落事故	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
路上犯罪(ひったくり・恐喝・ちかんなど)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自家用車やオートバイを狙った犯罪(自動車盗、車上ねらいなど)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空き巣・強盗など	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
不審火や放火	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
火災	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
横方向に回答してください →		多い	やや多い	やや少ない	少ない
子どもの交通事故	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもの転倒・転落事故	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもを狙った犯罪(誘拐、暴行、性犯罪など)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高齢者の交通事故	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高齢者の転倒・転落事故	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高齢者を狙った犯罪(ひったくり、恐喝、暴行など)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q14. あなたやあなたの家族は、次のような被害にあった経験はありますか。あてはまるものそれぞれ1つずつお答えください。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →		自分だけ経験 がある	自分はない が、家族には 経験がある	自分も家族も 経験がある	自分も家族も 経験がない	わからない・ 忘れた
交通事故で大けがをした	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
歩行時の転倒・転落による大けがをした	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅内で、転倒・転落などの事故による大けがをした	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
路上犯罪(ひったくり・恐喝・ちかんなど)による被害にあった	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自家用車やオートバイを狙った犯罪被害(自動車盗、車上ねらいなど)にあった	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空き巣・強盗などの被害にあった	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅が破損や落書き、いたずらなどの被害にあった	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
急病やケガ、夜間などにすぐに診療が受けられなかった	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →		自分だけ経験 がある	自分はない が、家族には 経験がある	自分も家族も 経験がある	自分も家族も 経験がない	わからない・ 忘れた
大きな地震で自宅が壊れた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大きな地震で自分や家族が被災した	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅が不審火や放火の被害を受けた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅から出火して火災を起こした	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
火災により自分や家族が被害にあった	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
台風・豪雨・河川氾濫などの風水害で大きな被害を受けた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
がけくずれ、地滑り、地盤沈下などの地盤災害で被害を受けた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空気、水、土壌、建材などに含まれる有害物質により健康が損なわれた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
近所づきあいなどで、不快なトラブルにまきこまれた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q15. 上の設問で経験があるとお答えになった被害のうち、重大だったものについてその内容(いつ、誰が、どんな被害にあったか)を教えてください。特にない場合は、無記入で構いません。

【無必須】

Q16. あなたは、駅、公園、公共施設などで次のようなことを思ったことはありますか。ある場合は、その状況をなるべく具体的にご記入ください。

※現在お住まいの地域ではなくてもかまいません。

【駅、公園、公共施設などの危険箇所についてお聞きします】

危険だと感じる場所がある

具体的には、どこでどんな危険を感じるでしょうか。

*いくつも思いつく方は、特に気になる場所1つについてご記入ください。

どんな施設(施設の種類や名称)の 【必須】

どのような場所・部分が 【必須】

誰にとって(子ども・高齢者・一般的に、等) 【必須】

なぜ危険か 【必須】

危険だと感じる場所はない、思いつかない

【駅、公園、公共施設などのバリアフリー対策についてお聞きします】

※「思ったことがある」場合は、どんな状況だったかをなるべく具体的にご記入ください。

バリアフリー対策が少ないと
思ったことがある 具体的には 【必須】

バリアフリー対策が過剰だと
思ったことがある 具体的には 【必須】

使い方や設置意図が分からな
いと思ったことがある 具体的には 【必須】

いずれもない、思いつかない

【公園の遊具の安全性についてお聞きします】

※「思ったことがある」場合は、どんな状況だったかをなるべく具体的にご記入ください。

公園の遊具が壊れていて危な
いと思ったことがある 具体的には 【必須】

公園の遊具が壊れていて危ない
と思ったことはない、思いつかない

Q16-SQ1. 「公園の遊具が壊れていて危ないと思ったことがある」という回答ですが、そのとき、管理事務所や役所などに連絡しましたか。連絡された方は、その後どのような対応・対策がなされたかお教えてください。

対応は(改善されたか等)

公園の遊具が壊れているのをみて、管理事務所や役所
などに連絡したことがある 【必須】

連絡したことはない

Q17. あなたのご家族の世帯形態は次のどれになりますか。別居されている方、住み込みの方などは除いてお考えください。(1つだけ)

- 単身世帯(一人暮らし)
- 夫婦のみの世帯
- 夫婦またはひとり親と、未婚の子供の世帯
- 夫婦またはひとり親と、既婚の子供の世帯
- 三世代以上の同居世帯
- その他【必須】

Q18. 安全に関する経験や知識についてお伺いします。それぞれの項目に「はい」か「いいえ」でお答えください。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →	はい	いいえ
地震や台風などの災害への備えについて、家族などと話し合ったことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅の防犯対策について、家族などと話し合ったことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大地震のときの「家族などとの連絡方法」を決めている	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大地震で「家族などが離ればなれになったときにおちあう場所」について決めている	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地震や台風などの災害への備えについて、近所の人と話し合ったことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域の防犯対策について、近所の人と話し合ったことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日頃から、隣近所と声をかけあい、防犯に気を配っている	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防災訓練や防災フェアなどの行事に参加したことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
応急手当の講習会などに参加したことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防犯や防災に関する座談会、講演会などへ参加したことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
横方向に回答してください →	はい	いいえ
地域のパトロール活動に参加したことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域の交通安全活動に参加したことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域の清掃活動等に参加したことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域の危険箇所のチェックや、地域安全マップづくりなどを行ったことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域のバリアフリー点検などを行ったことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お祭りやイベントなど、地域の行事に参加したことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
町会・自治会やマンション管理組合などの会合に参加したことがある	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最寄の交番がどこかを知っている	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>
災害時の「避難所」や「避難場所」がどこかを知っている	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q19. 安全のために、ご自宅で日ごろから気をつけていること、心がけていることはありますか。それぞれの項目についてお答えください。どうしてもわからない場合は、「わからない」をお選びください。(それぞれ1つだけ)

	横方向に回答してください →	はい	いいえ	分からない
玄関マットに滑り止めテープを貼る、机の角に対策するなど、転倒に対して対策をしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
柵をつける、階段を滑りにくくするなど、転落に対して対策をしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
住宅にバリアフリーのための対策・改修をしている(段差解消、手すり設置、浴室やトイレの改修、階段昇降機、リフト設置など)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
鍵に対策をしている(ピッキングしにくい構造の鍵にする、鍵を増やす等)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
窓ガラスに対策をしている(強化ガラスにしている、飛散防止フィルムを貼っている等)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地震時に倒れないよう、家具を固定したり、テレビなどの置き方を工夫している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
住宅に耐震補強の対策・改修をしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地震保険に加入している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
モニター付きインターホーンにしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防犯ブザーなどの「防犯グッズ」を利用している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
セキュリティーサービスと契約している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	横方向に回答してください →	はい	いいえ	分からない
在宅時にも、必ず施錠している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
わずかの時間でも、家を空けるときには必ず戸締まりをしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夜間、風雨が強い日でも、雨戸やシャッターを閉めている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
数日間(2泊3日程度)、家を不在にするときは、雨戸やシャッターを閉めている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
長期、家を不在にする時には、隣近所に声をかけている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
長期、家を不在にする時には、新聞などの配達をとめている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夜間の外出時には、明かり(室内灯)をつけたままにしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
帰宅が遅くなる場合は、洗濯物を室内に干して外出するようにしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅周辺に不審者がいないか気にかけている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
見慣れない車が自宅近くに長時間駐車している場合、車種などを記憶する	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅周辺で見知らぬ人がいる場合、挨拶したり声をかけたりすることがある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家の周りに燃えやすいものなどを置かないようにしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
非常時のための飲料水を確保している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
缶詰などの非常食を用意している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
非常用持ち出し袋を用意している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
風呂水のくみおきをしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →

はい いいえ 分からない

Q20. あなたのお考えはどちらに近いですか。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →

		左に近い	どちらか といえ ば左に 近い	どちらとも いえ ない	どちらか といえ ば右に 近い	右に近い	
【地域の活動、行事への参加について】							
地域の防犯・防災の活動(訓練、座談会、講演会など)に	→ 参加したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	参加したくない
地域のパトロール活動に	→ 参加したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	参加したくない
地域の危険箇所のチェックや地域安全マップづくりなどに	→ 参加したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	参加したくない
地域の交通安全活動に、	→ 参加したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	参加したくない
地域のバリアフリー点検などに、	→ 参加したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	参加したくない
地域の清掃活動等に、	→ 参加したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	参加したくない
お祭りやイベントなど、地域の行事に	→ 参加したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	参加したくない

横方向に回答してください →

		左に近い	どちらか といえ ば左に 近い	どちらとも いえ ない	どちらか といえ ば右に 近い	右に近い	
【交通安全への取組みについて】							
住宅地内の生活道路で、車の速度を落とす工夫(ハンプ*や狭さく**等の設置)をすることは	→ よいと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よいと思わない
(ハンプ*:盛り上げ舗装、狭さく**:道路わきにポールを立てたり植栽を設けたりして、道幅を狭くすること)							
子どもへの交通安全教育を徹底し、生活道路で遊ばせないようにすることは	→ よいと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よいと思わない
事故防止と防犯のため、子どもの通学時間に親や住民が危険箇所での見守りの活動をするのは	→ よいと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よいと思わない

横方向に回答してください →

		左に近い	どちらか といえ ば左に 近い	どちらとも いえ ない	どちらか といえ ば右に 近い	右に近い	
【マンションのオートロックや防犯カメラについて】							
一般論として、マンションのオートロックは、防犯効果が	→ 大いにあると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	まったくないと思う
一般論として、マンションの共用部分に防犯カメラが設置されていることは、防犯効果が	→ 大いにあると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	まったくないと思う

横方向に回答してください →

		左に近い	どちらか といえ ば左に 近い	どちらとも いえ ない	どちらか といえ ば右に 近い	右に近い	
【住民による地域パトロールについて】							
一般論として、この取り組みは防犯効果が	→ 大いにあると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	まったくないと思う
このような取り組みを行っている地域に	→ 住みたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	住みたいとは思わない
このような取り組みに、	→ 参加したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	参加したくない

横方向に回答してください →

		左に近い	どちらか といえ ば左に 近い	どちらとも いえ ない	どちらか といえ ば右に 近い	右に近い	
【警備員(常駐)が住宅地内を巡回する対策について】							
一般論として、この取り組みは防犯効果が	→ 大いにあると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	まったくないと思う
相応の住民負担があるとし							住みたいとは思

て、この対策を導入した地域に、	→	住みたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	わない
【道路や公園への防犯カメラ設置について】									
一般論として、この取り組みは防犯効果が	→	大いにあると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	まったくないと思う
相応の住民負担があるとして、この対策を導入した地域に	→	住みたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	住みたいとは思わない
防犯カメラがあちこちにあると、プライバシーなどの	→	弊害が大きい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	弊害は小さい

横方向に回答してください →

	左に近い	どちらかといえば左に近い	どちらともいえない	どちらかといえば右に近い	右に近い
--	------	--------------	-----------	--------------	------

【住宅地の外部と通じる道路にゲート(門)を設けて施錠した住宅地について (最近、登場した対策です。マンションのオートロックと同様、人も車も非接触ICカードで解錠します。)]									
一般論として、この取り組みは防犯効果が	→	大いにあると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	まったくないと思う
一般論として、この対策は、交通安全の効果が	→	大いにあると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	まったくないと思う
相応の住民負担があるとして、この対策を導入した地域に	→	住みたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	住みたいとは思わない

Q21. Web上で、地域の安全・安心に関する情報を提供することについてお答えください。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →

	充実してほしい	どちらかといえば充実してほしい	どちらともいえない	どちらかといえば充実しなくてよい	充実しなくてよい
--	---------	-----------------	-----------	------------------	----------

【あなたは、Web上の情報が充実してほしいと思いますか。】					
地域の安全・安心に関するWeb上の情報が	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【具体的には、どんな情報がWeb上に充実してほしいですか。】					
地域のバリアフリーに関する情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
犯罪発生に関する情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
交通事故に関する情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
火災に関する情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもの安全に関する情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
住民などの有志により提供される情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門家により提供される情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
行政機関により提供される情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地図を使った具体的な情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅や地域の危険度を自分でチェックできる情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
リアルタイムに近い迅速な情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他、充実してほしい情報	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【必須】					

横方向に回答してください →

	充実してほしい	どちらかといえば充実してほしい	どちらともいえない	どちらかといえば充実しなくてよい	充実しなくてよい
--	---------	-----------------	-----------	------------------	----------

Q22. あなたは以下についてどのようにお考えですか。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
【自宅や近所で、異常や危険が発生したときの対応について】					
近所で異常(助けを呼ぶ声、警報など)があったら、すぐに対応する(現場に向かう、通報する等)と思う →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自宅で異常や危険が発生したら、大声・警報などで近所に助けを求めると思う →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【子どものけがについて】					
子どもが日常生活の中で多少のケガをするのは、当然のことだと思う →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【犯罪対策について】					
最近の市民の高い犯罪不安は過剰反応だ →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
犯罪が急増しているという統計上の傾向は、実態を必ずしも表わしていない →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防犯まちづくりは対症療法であり、貧困・差別の解消、福祉の充実等の社会構造の改善のほうがいい →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

横方向に回答してください →	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
ある地域で対策を講じても、犯罪が転移するだけで、犯罪の総数は減らない →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防犯効果について根拠があいまいな対策が行われている →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防犯への市民の自己責任を強調され、富裕層しか防犯対策をできず、安全の格差が拡大する →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防犯まちづくりは、快適性やプライバシーなどを損ない、全体として良い住環境を作ることにつながらない →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防犯まちづくりは、特定の価値観に偏った、排他的な社会を生む →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
防犯まちづくりは、隔絶された住環境の形成を促し、外部との接触が分断される →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q23. 居住年数、ご自宅の築年数を教えてください。(それぞれ1つだけ)

横方向に回答してください →	1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10~20年未満	20~30年未満	30年以上	
現在の 地域 にお住まいになって何年になりますか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
現在の ご自宅 にお住まいになって何年になりますか →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
横方向に回答してください →	1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10~20年未満	20~30年未満	30年以上	わからない
ご自宅の築年数を教えてください →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q24. ご自宅周辺の地域は、以下のどれに近いですか。(1つだけ)

- 都市
- 郊外
- 田舎

Q25. ご自宅周辺の地域はどのような環境ですか。あてはまるもの全てを選択してください。(いくつでも)

- 戸建て住宅が多い
- 集合住宅が多い
- 大規模な団地がある
- 持ち家(分譲を含む)が多い
- 店舗や飲食店が多い
- 人が多い
- 幹線道路がある
- 交通量が多い
- 路上駐車・駐輪が多い
- 狭い道路が多い
- 高層ビルや高層マンションが多い
- 老朽化した建物が多い
- 建物が密集している

- 風俗営業のチラシ等をよく目にする
- ガラが悪い人やホームレス等がいる
- 深夜に若者がたむろしている場所がある
- 夜道が暗い
- 人気(ひとけ)がない場所が多い
- 農地が多い
- 近くに山や川がある
- 地盤が悪い
- 近くに海がある
- 起伏が激しい
- あてはまるものはない

Q26. 「はい」か「いいえ」でお答えください。どうしてもわからない場合は、「わからない」をお選びください。
(それぞれ1つだけ)

	横方向に回答してください →	はい	いいえ	わからない
今の住まいで、大がかりなリフォームを行なったことがある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在のところ、引っ越す予定はない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
車をよく運転する	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
オートバイやスクーター、自転車などをよく運転する	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
同居している家族に、小学生以下の子どもがいる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
同居している家族に、65才以上の人がいる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
子育て経験がある、または現在子育て中である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
介護経験がある、または現在介護している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
自宅から最寄り駅までは近い	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
平日の日中、自宅近くにいることが多い	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

	横方向に回答してください →	はい	いいえ	わからない
町会・自治会などに加入している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
近所の人に会う機会は多い	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
子ども時代はこのまちで過ごした	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
このまちをよく散歩する	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
お住まいの地域では、住民パトロールが行われている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域の道路や公園には、防犯カメラが設置されているところがある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域の生活道路には、車の速度を落とす工夫(ハンプ*や狭さく**等の設置)がされているところがある (ハンプ*:盛り上げ舗装、狭さく*:道路わきにポールを立てたり植栽を設けたりして、道幅を狭くすること)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域では、子どもの通学時間帯に親や住民が危険箇所での見守りの活動をしている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お住まいの地域には警備員(常駐)がいて、住宅地内を巡回警備している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q27. ご自宅などについて教えてください。(それぞれ1つだけ)

ご自宅の建て方

- 一戸建て住宅
- 集合住宅
- その他【必須】

ご自宅の所有形態

- 持ち家(分譲マンションを含む)
- 賃貸
- 寮・社宅
- その他【必須】

ご自宅の構造

- 木造
- 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
- 鉄骨造
- その他【必須】

【半角整数でお答えください】

ご自宅がある建物は 【必須】 階建て

住んでいるのは 【必須】 階
※一戸建て住宅にお住まいの方、集合住宅で複数階にお住まいの方は、玄関のある階をお答えください。

何人でお住まいですか 【必須】 人
※自身を含めてお答えください。

自動車は何台お持ちですか 【必須】 台

オートバイは何台お持ちですか 【必須】 台

自転車は何台お持ちですか 【必須】 台

Q28-SQ1. 集合住宅にお住まいの方のみにお聞きします。各々の設問につき1つを選択してください。(それぞれ1つだけ)

共用玄関は、

- 「オートロック」のシステムで、モニターつきである
- 「オートロック」のシステムで、モニターはついていない
- 「オートロック」のシステムではない

共用部分に「防犯カメラ」が

- 設置されている
- 設置されていない

Q28-SQ2. お住まいの集合住宅で、「防犯カメラ」が設置されている場所はどこですか。あてはまるもの全てにお答えください。(いくつでも)

- 共用玄関の内側
- 共用玄関の外側
- 共用玄関以外の共用出入口(通用口)
- 共用メールコーナー
- 1階EVホール
- EV内
- 居住階EVホール
- 共用階段
- 共用廊下
- お住まいの住戸の前(住戸前)
- 自転車置場、オートバイ置場(駐輪場)
- 駐車場
- 屋上
- ゴミ置場

Q29. あなたは、旅行や出張でよく知らない場所に出かける場合、その場所の情報を得るためにどんなことをしますか。(それぞれいくつでも)

【現地では、どのようにしますか。あてはまるところ全てを選択してください。】

- 観光案内所に行く
- 書店で本を調べる(立ち読みあるいは購入)
- 携帯電話を使って調べる
- インターネットを使って調べる
- 人に聞く
- まずは歩いてみる
- その他【必須】

【事前には、どのようにしますか。あてはまるところ全てを選択してください。】

- 観光案内所に問い合わせる
- 本を調べる
- 携帯電話を使って調べる
- インターネットを使って調べる
- 人に聞く
- その他【必須】

【知りたい情報とは、どんな情報ですか。具体的にご記入ください】

現地では【無必須】

事前には【無必須】

© 建築研究資料 第 108 号

平成 20 年 1 月 15 日 印刷

平成 20 年 1 月 22 日 発行

編集
発行 独立行政法人建築研究所

〒305-0802 茨城県つくば市立原 1 番地

電話(029) 864-2151 (代)
